

近代漢語「呵」の時間義用法に関する覚え書き (1) *

— 『元朝秘史』におけるモンゴル語假定副動詞語尾の漢訳方法から考える —

川 澄 哲 也

1 序論

近代漢語では、假定の意味を表す従属節の末尾にしばしば「呵 (*x^o^{注1})」という要素が現れる。

- 1) 小姐這一遭若不來呵, 安排著害, 準備著抬。(『西廂記』第4本第2折)
- 2) 不棄嫌小人呵, 是必家裏來。(元刊本『老乞大』第13葉)
- 3) 這般取人呵, 國家後頭得人材去也。(『通制條格』卷5「科舉」)

一方、現代の青海省の漢語方言では、假定の意味を表す場合、従属節末に「噯 [x^o]」という要素が用いられる^{注2}。例文4～6は、以前筆者が調査した省都西寧市の方言データである^{注3}。

- 4) [t^hA⁴⁴ j^o21 s^l4 p^v21 l^e13 x^o2 n^o44 t^eju² p^v21 t^h3³³ l^{jo}2] (他要是來不噯, 我就不去了。)
「彼がもし来ないなら、私は行かないことにする。」
- 5) [t^hA²¹ ʒ^w44 x^o3 p^ʒ44 s^e24 t^hjⁱ21 t^sl⁴⁴ l^{ja}21] (下雨噯, 比賽停止噯^{注4})
「雨が降ったら、試合は止める。」
- 6) [p^v24 t^equ²¹ ʒ³ x^o21 t^eju²⁴ j^o13 n^e21 m^A21 l^{ja}3] (不

学习噯, 就要挨骂噯。)

「勉強しないと、叱られるよ。」

同種の要素は、筆者が2014年8月に同省大通回族土族自治州で行った文法調査でも確認できた^{注5}。

- 7) [ni⁴⁴ p^v24 l^e21 x^o31 n^o44 t^ʂl²¹ k^o3 s^l21 t^hjⁱ31 p^v21 kw^ā44 n^A21] (你不來噯, 我这个事情不管噯。)
「君が来ないなら、私はこの事に関わらないぞ。」

機能および用法の類似性に基づき、多くの先行研究では青海方言「噯」は近代漢語「呵」に起源をもつ要素であると述べられてきた^{注6}。この考えに対し筆者は川澄 (forthcoming) において反対意見を提出した。その議論において依拠したのは以下3点の言語事実である。

- a. 西寧方言「噯」には時間義 (「～する／した時」) を表す用法もある^{注7}。
- b. 近代漢語「呵」が時間義を表す用法は一般的でない^{注8}。
- c. 多くの言語で「時間を表す要素 > 假定を表す要素」という文法化が見られる。一方「假定 > 時間」の文法化事例は報告されていない^{注9}。

* 本研究は JSPS 科研費 26770154 「接触到起因する言語変容原理の解明に向けた中国青海省大通県の漢語方言調査研究」の助成による研究成果の一部である。

^{注1} 『中原音韻』に基づいた楊 (1981: 147) の再構音。

^{注2} 当該要素を「呵」「哈」と漢字表記する先行研究もある。

^{注3} 調査協力者は西寧市城西区在住の漢族男性、趙宗洲氏 (1946年生まれ)。

^{注4} 都 (1995) によれば、西寧方言「噯」は未然語気等を表す語気詞である。

^{注5} 大通回族土族自治州は西寧市の北に隣接する。調査協力者は遜讓郷古谷家村在住の土族男性 (1953年生まれ)。

^{注6} 刘 (1991: 375)、都 (1998: 103)、余 (1999: 41)、李・祖・丁 (2009: 20) 等。

^{注7} 1) [n^o44 m^o24 t^equ²¹ ʒ³ x^o3 m^A44 m^A44 t^eji²⁴ l^e21 l^{jo}13] (我没学习噯, 妈妈进来了。)

「私が勉強していない時、母が入ってきた。」

なお川澄 (forthcoming) では触れていないが、大通県の「噯」にも時間義を表す用法を確認した。

2) [n^o44 l^e21 x^o3 ni⁴⁴ m^o21 ju³³] (我来噯, 你没有。)
「私が来た時、君はいなかった。」

^{注8} 太田 (1958: 373-374)、羅主編 (1997: 1550)、或いは李・黄・邵 (1998: 2) によれば、句中の「呵」は仮定の他に停頓を表す場合にも用いられるというが、いずれの文献にも時間義に対する言及はない。

これら言語事実の下で先行研究のいう「呵」と「噤」の継承関係を認めれば、時間義を表す「噤」の来歴に対し「(仮定を表す『呵』> 仮定を表す『噤』> 時間を表す『噤』)という、人間言語では未だ観察されていない変化プロセスを想定する必要が生じてしまう^{注10}。この点に基づいて川澄 (forthcoming) では、西寧方言で仮定を表す「噤」は近代漢語「呵」に由来するものではなく、時間義の「噤」から文法化を経て成立したものである、と主張した^{注11}。

但し川澄 (forthcoming) には、筆者自身、検討が十分ではないと感じる部分があった。それは上記b)に関するものである。実は近代漢語に関する先行研究の中には、ごく僅かながら、時間義用法の「呵」に言及しているものがある。例えば矢野・劉 (1994) は『孝経直解』から以下のような例を挙げる。例文8中の「呵」は「～する時」の意味で解釈できる^{注12}。

- 8) 孝順底孩兒在家侍奉父母呵, 敬重的心有着。(紀孝行章第十)

川澄 (forthcoming) では、このような「呵」は例外的な特殊用法と考えて議論を進めた。そのように判断した主な根拠は、近代漢語で「～する時」を表す場合に一般的に用いられるのは「呵」ではなく、以下の例文9～11中に見られる「時」「時分」等の要素だという事実である。

- 9) 你那小女兒出班子來, 俺來時都完痊痾了。(元刊本『老乞大』第21葉)
 10) 孝子沒了父母時分, 啼哭呵, 無做作的声氣。(『孝経直解』喪親章第十八)
 11) 成宗皇帝、武宗皇帝時分貢舉的法度也交行來。(『通制條格』卷5「科舉」)

その後、川澄 (forthcoming) を脱稿した段階で、李立成 (1998) にも「呵」の時間義用法に関する記述があることを知った。李立成 (1998: 305) は元曲に時間義(「～したあと」)を表す「呵」があることを指摘し、以下の2例を挙げる。

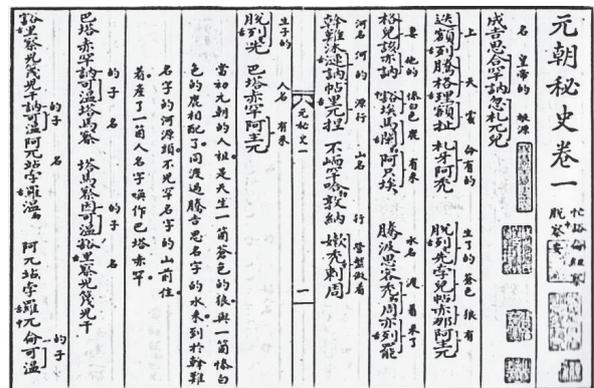
- 12) 等温的我这脚稍暖和呵, 再睡。(《裴度还带》三折)
 13) 你只在这里等着, 我对俺姐姐说了呵, 你进来。(《西廂記》五本一折)

筆者が把握している限りでは、近代漢語「呵」の時間義用法に明確に触れている先行研究は上述した2論文のみである^{注13}。この状況は時間義を表す「呵」が例外的存在であることを物語っているようにも思われるが、言語事実による論証がなければ結論を下すことはできない。小稿は『元朝秘史』^{注14}を資料とし、時間義表示は近代漢語「呵」の基本機能ではなかった可能性が高いことを示そうとするものである。

2 『元朝秘史』の構成

具体的な議論に先立ち、本節では『元朝秘史』について概説しておきたい。

『元朝秘史』は、モンゴル人の族祖伝説から説き起こし、チンギス・カンの生涯を中心に、後継者オゴデイの治世までを記述した、明代初期に成立したとされる歴史書である。本文は漢字音写されたモンゴル語で記されており、その右には、一般に「傍訳」と呼ばれる、漢語による逐語訳が施されている。これらは適当な段落に区切られ、段落ごとに、一般に「総訳」と称される、漢語による抄訳が付されている。



四部叢刊本『元朝秘史』の冒頭部分

^{注9} 文法化が原則的に単向性 (unidirectionality) の性質をもつ現象であることを考えると、今後新たに「仮定>時間」の文法化事例が報告される可能性は極めて低いと推断できる。

^{注10} 仮定義の「噤」は「呵」に由来するが時間義「噤」の来源は別にある、と想定することも可能ではあろうが、筆者はこの立場をとらない。なぜならそれは人間言語で広く認められる「仮定」「時間」という2範疇の隣接性を軽視した考え方だからである。

^{注11} 川澄 (forthcoming) ではまた、太田 (1995) の主張も傍証とした。太田 (1995) は『孝経直解』の「呵」に対し「読点 (、てん) に等しい機能しかもため」「表す語気はきわめて“虚”という見解を提出した。これに従うと、青海方言「噤」が近代漢語「呵」に由来すると見た場合、虚義の要素から実義の要素が生じたという、人間言語の変化としては起り難い過程を想定しなければならなくなる。なお川澄 (forthcoming) に太田 (1995) の見解を取り入れたのは神戸市外国語大学名誉教授佐藤晴彦先生のご教示によるところが大きい。

^{注12} 佐藤 (1995: 19) は当該部分を「親に孝を尽くす子供なら、家で父母に仕える時は、(父母を) 敬う気持ちを持って当然。」と訳している。

^{注13} 李小平 (2011: 35) には「讨论元代汉语中的“呵”时, 除李立成外, 学者们基本都未涉及表示时间的“呵”(元代汉语“呵”的議論を行う際、李立成を除いて、学者達は基本的に時間を表す「呵」に言及していない)」という記述があり、やはり「呵」の時間義用法に触れている先行研究が限られていることを指摘している。

^{注14} 底本は四部叢刊三編所収の12巻本『元朝秘史』を用いる。

続いて『元朝秘史』の言語資料としての側面を述べる。漢字音写によるモンゴル語本文部分は、中世モンゴル語研究上の重要資料であることは勿論のこと、近代漢語の音韻研究にも大きく寄与するものである。一方で漢語による傍訳、総訳それぞれの性格については山川 (1976) や佐藤 (2003) で述べられている。その論旨は以下の2点に要約できる。

- a. 傍訳は、翻訳というよりはモンゴル語に対する「解釈^{注15}」を示したものの^{注16}であり、そこに現れる漢語が当時実際に使われていたものとは限らない。
- b. 総訳は、一部に漢語として不自然な語法が混じるものの、基本的には当時の「自然な漢語」であり、近代漢語研究上の重要な一資料である。

また佐藤 (2003: 139) は、傍訳に現れた漢語が当時実際に使われていたかどうかを判断する方法は「問題の語が総訳でも使われているか否かを検討すること」だと述べる。

3 小稿の考察方法

続いて本節では小稿が用いる考察方法について述べる。

モンゴル語には仮定義表示機能と時間義表示機能をあわせ持つ要素がある^{注17}。所謂「仮定副動詞語尾 (conditional converbs)」である。『元朝秘史』のモンゴル語本文中には“-āsū (阿速) / -ēsū (額速)、“-bāsu (巴速) / -bēsū (別 [/ 別] 速)”という4形式が現れる^{注18}。漢語傍訳ではこれら4語尾に対し、その表す語義に関わりなく、原則「呵」が当てられている^{注19}。但し、前節で

述べた傍訳の性質上、この対応関係をもって「『呵』には時間義表示機能もあった」と論じることはできない。正しい結論を得るには、モンゴル語本文と漢語総訳部分の対応関係を検討する作業が不可欠である。次節では、各種の語義を表す仮定副動詞語尾が漢語総訳部分でどのように翻訳されているかを観察することにより、当時の漢語における「呵」の一般的な用法を探っていく。なお各用例に対する筆者の解釈を明示するために付録として【資料】『元朝秘史』に現れる仮定副動詞語尾の全用例、及びその漢訳状況を添えたので、そちらも参照されたい。

4 仮定副動詞語尾の翻訳状況

『元朝秘史』のモンゴル語本文中に仮定副動詞語尾は合計476例確認された。そのうち、仮定義を表すと考えられるものは256例、時間義を表すと解釈できるものは170例あった。残りの50例は譲歩を表すもの15例と仮定譲歩を表すもの35例であった^{注20}。以下、語義ごとに総訳での翻訳状況を示す。なお実例は付録の【資料】に列挙してあるため、以下の本文中では割愛する。

4.1 仮定義を表す仮定副動詞語尾の翻訳状況

まず、仮定義を表す仮定副動詞語尾の総訳での翻訳状況は表1の通りである。表中の「『呵』使用」とは、モンゴル語仮定副動詞語尾に対し漢語総訳部分で「呵」を用いて訳している事例の数である。ここには「若～呵」のように、連詞と併用されている「呵」も含めた。「『呵』不使用」とは、意識、或いは「呵」以外の類義語 (e.g. 「時^{注21}」) を用いてモンゴル語仮定副動詞語尾を翻訳している事例の数である。()内に示したのはそれ

注15 「解釈」という語は佐藤 (2003) が用いている。筆者の理解では、佐藤 (2003) は「解釈」という表現を「逐『形態素』訳」のような意味合いで用いている。

注16 この点を如実に表す例を示そう。モンゴル語には対格を標示する格語尾 (-yi 等) がある。一方近代漢語には (SOV 語順を用いる際に) 目的語に後置する「行」という要素があり、『元朝秘史』中では対格語尾に対する傍訳として用いられる。

例1) 訶額命 額客宜 不里周 阿₁塔来 (Hö¹ēlün eke-yi buriju abtalāi)

[傍訳] 婦人名 母行 奪着 被要了

「ホエルン母を奪い取られた」(巻三、第111節)

モンゴル語の対格語尾はまた、従属節における主格の標示にも用いられる。仮に傍訳が純粋な「翻訳」であればこの種の対格語尾にまで「行」を当てることはないはずである。しかし実際には、従属節で主格を標示する対格語尾の傍訳としてもやはり「行」が当てられる。

例2) 訶額命 額客宜 董^中豁都阿 兀都兀耶 孛^正兒帖兀真 鳴訥列^正論 (Hö¹ēlün eke-yi dungGodu²ā üdü²üy-e Börte-ūjin ügülerün)

[傍訳] 婦人名 母行 作聲 未 婦人名 説

「ホエルン母が何も言わないうちに、ボルテ・ウジンが言うには」(巻三、第118節)

このような事例は、傍訳が「翻訳」ではなく、モンゴル語原文に対する「解釈」であることを明示している。なお佐藤 (2003) には傍訳がモンゴル語の「解釈」であることを示す別の事例が挙げられている。あわせて参照されたい。

注17 Poppe (1954), pp. 95-96 参照。

注18 “/”で区切った2形式は母音調和に基づく異形態である。()内は漢字音写で使われる表記。なお -āsū 系と -bāsu 系について小沢 (1984: 57) は「その表す意味と職能の点で何等かの違いがあるのか否か、現在の処、不明である」と述べる。

注19 モンゴル語本文中に現れた仮定副動詞語尾の総数は476例で、そのうち傍訳で「呵」が当てられるものは467例に上る (巻七、第195節の誤記「可」も含む)。

注20 小沢 (1984: 236) は、『元朝秘史』モンゴル語では仮定副動詞語尾が譲歩の意味で用いられることも珍しくないと述べている。

注21 よく知られているように、近代漢語の「時」は、原義の時間義に加え、仮定義を表す機能も有している

表 1) 仮定義を表す假定副動詞語尾の総訳での翻訳状況

| 巻数 | 「呵」使用 | 「呵」不使用 | 対応部分なし |
|----------|-------|-----------|--------|
| 一 | 11 | 2 (1/1) | 0 |
| 二 | 3 | 1 (1/0) | 0 |
| 三 | 7 | 0 | 0 |
| 四 | 4 | 5 (1/4) | 2 |
| 五 | 7 | 14 (4/10) | 5 |
| 六 | 14 | 3 (3/0) | 12 |
| 七 | 15 | 11 (8/3) | 5 |
| 八 | 11 | 3 (2/1) | 3 |
| 九 | 3 | 28 (21/7) | 6 |
| 十 | 1 | 7 (1/6) | 5 |
| 十一 (続集一) | 2 | 16 (7/9) | 7 |
| 十二 (続集二) | 2 | 6 (2/4) | 26 |
| 計 | 80 | 96 | 71 |

表 2) 時間義を表す假定副動詞語尾の総訳での翻訳状況

| 巻数 | 「呵」使用 | 「呵」不使用 | 対応部分なし |
|----------|-------|-----------|--------|
| 一 | 1 | 8 (8/0) | 1 |
| 二 | 4 | 8 (7/1) | 0 |
| 三 | 1 | 3 (2/1) | 1 |
| 四 | 0 | 8 (8/0) | 2 |
| 五 | 0 | 13 (10/3) | 5 |
| 六 | 0 | 17 (13/4) | 6 |
| 七 | 1 | 6 (4/2) | 4 |
| 八 | 0 | 11 (8/3) | 4 |
| 九 | 0 | 9 (8/1) | 1 |
| 十 | 0 | 13 (12/1) | 3 |
| 十一 (続集一) | 0 | 10 (10/0) | 3 |
| 十二 (続集二) | 0 | 17 (16/1) | 9 |
| 計 | 7 | 123 | 39 |

その内訳で、“ / ”の左は意識で対応する例の数、右は類義語で対応する例の数である。また、漢語総訳は抄訳であるため、假定副動詞語尾を含むモンゴル語部分が総訳で扱われていないこともある。そのような事例は「対応部分なし」としてカウントした。

表 1 を見ると仮定義の假定副動詞語尾を「呵」で漢訳する事例は全巻を通じて確認でき、仮定義表示が近代漢語「呵」の一般的な機能であったことを窺わせる。

4.2 時間義を表す假定副動詞語尾の翻訳状況

続いて、時間義を表す假定副動詞語尾の総訳での翻訳状況は上掲表 2 の通りである。

表 2 から、時間義を表す假定副動詞語尾を「呵」によって翻訳する事例は、皆無ではないものの、極めて散発的であることがわかる。一方で、「呵」を使用せず意識や他の語によって翻訳する事例は全巻通して確認できる。これらの点より筆者は、時間義表示は近代漢語「呵」

の一般的な機能ではなかったと推測する。総訳を全体的に見ると、時間義の假定副動詞語尾のうち「～する時」を表すものは「時」で漢訳し、「～したあと」を表すものは無標識で対応していることが最も多いため、当時の漢語では時間義表示に対してこれら表現法を用いるのが一般的であったと考えたい。

4.3 譲歩、假定譲歩を表す假定副動詞語尾の翻訳状況

最後に、小稿の議論と直接は関わらないが、譲歩および假定譲歩の意味を表す假定副動詞語尾の翻訳状況も参考までに掲げておく（次頁表 3 および表 4）。

用例総数は多くないものの、假定譲歩を表す假定副動詞語尾を漢語「呵」で訳す割合は比較的高いため、これは「呵」の一般的な用法の 1 つであったと考えられる^{注 22}。

表3) 譲歩を表す假定副動詞語尾の総訳での翻訳状況

| 巻数 | 「呵」使用 | 「呵」不使用 | 対応部分なし |
|----------|-------|---------|--------|
| 一 | 0 | 1 (1/0) | 0 |
| 二 | 0 | 0 | 0 |
| 三 | 0 | 0 | 0 |
| 四 | 0 | 2 (2/0) | 0 |
| 五 | 0 | 0 | 0 |
| 六 | 0 | 1 (1/0) | 0 |
| 七 | 0 | 3 (2/1) | 0 |
| 八 | 1 | 2 (1/1) | 0 |
| 九 | 0 | 0 | 0 |
| 十 | 0 | 1 (1/0) | 0 |
| 十一 (続集一) | 0 | 0 | 1 |
| 十二 (続集二) | 0 | 2 (2/0) | 1 |
| 計 | 1 | 12 | 2 |

表4) 假定譲歩を表す假定副動詞語尾の総訳での翻訳状況

| 巻数 | 「呵」使用 | 「呵」不使用 | 対応部分なし |
|----------|-------|---------|--------|
| 一 | 2 | 0 | 0 |
| 二 | 0 | 2 (1/1) | 1 |
| 三 | 1 | 0 | 0 |
| 四 | 0 | 0 | 0 |
| 五 | 1 | 2 (1/1) | 2 |
| 六 | 1 | 0 | 0 |
| 七 | 3 | 0 | 0 |
| 八 | 0 | 2 (0/2) | 3 |
| 九 | 0 | 3 (3/0) | 0 |
| 十 | 0 | 0 | 0 |
| 十一 (続集一) | 0 | 1 (1/0) | 8 |
| 十二 (続集二) | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 8 | 10 | 14 |

5 結語

以上、『元朝秘史』においてモンゴル語假定副動詞語尾が如何に漢訳されているかの数値をとり、その状況に基づいて近代漢語「呵」の時間義表示機能について検討した。その結果、時間義表示は「呵」の基本機能ではなかった可能性が高い、という結論に至った。これにより

川澄 (forthcoming) の主張を多少とも補強できたのではないかと考える。但し、僅か7例とはいえ、時間義を表す「呵」が総訳中に出現したのも事実であり、この点から小稿の主張に首肯しかねる読者もおられるかと思う。今後、他の近代漢語文献における「呵」の使用状況なども考察対象に含め、引き続き検討を重ねていく必要があるものと考えられる。小稿の標題に(1)を付した所以である。

注22 なお、以下の例のように、モンゴル語本文の複数の假定副動詞語尾を漢語総訳部分で一括して訳していると考えられる事例が合計13例あった(假定義で9例、時間義で1例、假定譲歩で3例)。

【モンゴル語本文および漢語傍訳】(巻三、第108節)

孛^{ᠪᠣᠷᠠᠨ}羅安 別^{ᠪᠣᠯᠤ}兒 孛^{ᠪᠣᠯᠤ}魯阿速 孛^{ᠪᠣᠯᠤ}札^{ᠵᠠᠷᠠᠯ}突^{ᠳᠤᠷ}兒 中^{ᠪᠣᠯᠤ}忽^{ᠪᠣᠯᠤ}刺^{ᠪᠣᠯᠤ} 別^{ᠪᠣᠯᠤ}兒 孛^{ᠪᠣᠯᠤ}魯阿速 中^{ᠪᠣᠯᠤ}忽^{ᠪᠣᠯᠤ}刺^{ᠪᠣᠯᠤ}突^{ᠳᠤᠷ}兒 不^{ᠪᠣᠯᠤ}豁^{ᠪᠣᠯᠤ}只^{ᠪᠣᠯᠤ}荅^{ᠪᠣᠯᠤ}牙

風雪 也 做 呵 約會 裏 雨 也 做 呵 約會 裏 休 落後^{ᠪᠣᠯᠤ}咱

(boro'an ber bolu'asu boljal-dur qura ber bolu'asu qural-dur bū qojidaya)

「風雪であつても約束には、雨であつても約束には遅れまい。」

↓

【漢語総訳】
雖是有風雨呵。也必要到。「風雨であつたとしても必ず到らなければならない。」

このような場合、表中では「+2」ではなく「+1」とカウントしている。表1～表4で挙げた用例数の総計が先述した476より13少ない463になるのはこのためである。

参考文献

策·达木丁苏隆編訳・谢再善訳 (2014) 『蒙古秘史』西
 寧: 青海人民出版社 (1956年 [北京: 中華書局] の再
 版)

都兴宙 (1995) 「论西宁话里的虚词“lia”」『青海民族学
 院学报 (社会科学版)』1995/1: 56-61.

----- (1998) 「近代汉语的“呵”与“後”」『青海师范大
 学学报 (社会科学版)』1998/1: 101-104.

川澄哲也 (forthcoming) 「西宁方言“噲”与近代汉语“呵”
 的来源关系再考」『中国語研究』56.

栗林均編 (2012) 『「元朝秘史」傍訳漢語索引』仙台:
 東北大学東北アジア研究センター.

李崇兴・黄树先・邵则遂 (1998) 『元语言词典』上海:
 上海教育出版社.

李崇兴・祖生利・丁勇 (2009) 『元代汉语语法研究』上
 海: 上海教育出版社.

李立成 (1998) 「《醒世姻缘传》里的句末语气词“可”」
 『中国语文』1998/4: 304-308.

李小平 (2011) 「聊城方言中的助词“呵”」『燕赵学术
 (2011年春之卷·语言学)』: 32-37.

刘勛宁 (1991) 「青海西宁话表示假设的语气词 [·xɔ]
 与近代白话的“呵”」『纪念王力先生九十诞辰文集』
 371-376. 济南: 山东教育出版社.

罗竹风主編 (1997) 『汉语大词典』上海: 汉语大词典出
 版社.

村上正二訳注 (1970, 1972, 1976) 『モンゴル秘史』1-3
 (東洋文庫163, 209, 294) 東京: 平凡社.

太田辰夫 (1958) 『中国語歴史文法』東京: 江南書院.

----- (1995) 「孝經直解釋詞」『中国語研究』37: 23-
 38.

小沢重男 (1984-1986) 『元朝秘史全訳 (上) (中)
 (下)』東京: 風間書房.

----- (1987-1989) 『元朝秘史全訳続攷 (上) (中)
 (下)』東京: 風間書房.

Poppe, Nicholas (1954) *Grammar of Written Mongolian*.
 Wiesbaden: Otto Harrassowitz.

佐藤晴彦 (1995) 「『孝經直解』校訂と試訳」『神戸外
 大論叢』46/6: 1-24.

----- (2003) 「栗林均氏の批判に答える 一氏の『「元
 朝秘史」におけるモンゴル語と漢語の人称代名詞の対
 応」をめぐって—』『開篇』22: 137-143.

山川英彦 (1976) 「元朝秘史総訳語法札記」『名古屋大
 学文学部研究論集 (文学)』67: 63-79.

杨耐思 (1981) 『中原音韵音系』北京: 中国社会科学出
 版社.

矢野贺子・刘一之 (1994) 「《孝經直解》語法札記」
 『聖徳学園岐阜教育大学紀要』27: 167-185.

余志鴻 (1999) 「元代汉语假设句的后置标记」『语文研
 究』1999/1: 38-42.

【資料】

『元朝秘史』に現れる仮定副動詞語尾の全用例、及び
 その漢訳状況

[凡例]

用例 No. 語尾の出現節 (巻数 - 葉数と左右 [L/R])
 漢字音写モンゴル語本文
 漢語傍訳
 モンゴル語本文のローマ字転写^{注23}
 モンゴル語本文の和訳^{注24}

 対応する漢語総訳
 漢語総訳の和訳

※用法説明 (およびコメント)

(データ中の【】部分は校訂箇所^{注25})

卷一 (26例)

1. §6 (1-4R)
 古温捏 額薛 斡帖克先 孛額速
 人行 不曾 與了的 有来
 kü'ün-e ese ögtegsen bö'esü
 人に与えられていなかったならば

 若是不曾嫁人呵。
 もし人に嫁いだことがなければ、

※仮定義用法の例。対応傍訳が「来」になるのはこの一
 例のみ。総訳では「若是～呵」使用。

2. §7 (1-4L)
 朵奔斡兒干 帖迭 亦兒堅都兒 古魯額速 …
 那的 百姓 裏 到呵

^{注23} モンゴル語のローマ字転写は小沢 (1984-86)、小沢 (1987-89) を引用した (但し誤植と考えられる箇所については適宜改めてある)。

^{注24} モンゴル語部分の和訳に際しては、村上訳注 (1970, 1972, 1976)、小沢 (1984-86)、小沢 (1987-89)、策·达木丁苏隆編訳・谢再善訳 (2014) を参照した。

^{注25} 校訂は栗林編 (2012)、小沢 (1984-86)、小沢 (1987-89) によるものの他、筆者自身によるものも含んでいる。

幹勤 阿主兀

女 有来

Dobun-mergen tede irgen-dür kürü'ēsü ...

ökin aju'ü

トブン・メルゲンがその人々の所に到ると …
娘がいた。

朶奔箠兒干。到那一叢百姓裏看了。這女兒

トブン・メルゲンはその群衆の所に到り見た。この娘は

※時間義用法の例。総訳では「呵」不使用。

3. § 15 (1-9R)

朶奔箠兒干 牙温 古温 赤 客延

甚麼 人 你 麼道

阿撒^中忽阿速 帖^舌列 古温 鳴詰列^舌論

問 呵 那 人 說

Dobun-mergen ya'un kü'un či keyēn

asagu'āsu tere kü'un ügülerün

トブン・メルゲンが、如何なる人かお前は、と
尋ねると、その人が言うのには

朶奔箠兒干問他你是甚麼人。其人說

トブン・メルゲンは彼に、お前はいかなる人か、と尋ね
ると、その人が言うのには

※時間義。総訳では「呵」不使用。

4. § 21 (1-13R)

排兀別兒 兀【^中合】阿速 忝迭^克 亦訥

為那般 省呵 明白 他的

騰吉^舌里因 可兀【^揚】 備由者

天的 子 有也者

teü'ü-ber uqa'āsu temdeg inu

tenggiri-yin kö'üd buyu-je

これによって理解すれば、明らかに
天の子であるぞ。

這般看来。顯是天的兒子。

このように見れば、明らかに天の子である。

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

5. § 21 (1-13L)

^中合水^中渾 ^中合^揚 孛魯阿速 ^中合刺除思

普的帝王 做呵 下民

田迭 兀^中合^揚者 客額罷

那裏 省 說了

qamuG-un qad bolu'āsu qaračus

tende uqad-je ke'ēbe

遍き王となったならば、平民たちは
その時悟るぞ、と言った。

他每做帝王呵。那時纔知道也者。

彼らは王を成せば、その時知るぞ。

※仮定義。総訳では「呵」使用。

6. § 22 (1-14R)

^中合^黒察 ^中合^黒察 孛魯阿速 帖^舌列

獨 獨 做呵 那

你只額^勤 木速^揚 箠圖 客捏 別兒

一隻 箭 般 任誰 也

乞^勤八^舌刺 ^中忽^中忽^勤 荅^中渾 塔

容易行 被折折 您

gagča gagča bolu'āsu tere

niji'ēl müsüd metü ken-e ber

kilbar-a quguldaqun ta

一人ひとりになるならば、あの

一本の矢のように誰にでも

たやすく折られてしまうぞ、お前達は。

各自一隻呵。任誰容易折折。

それぞれ一本ならば、誰にでも容易に折られてしまう。

※仮定義。総訳では「呵」使用。

7. § 22 (1-14R)

帖^舌列 出^黒台 木速^揚 箠圖 含禿 你刊

那 束的 箭 般 一同 一

額也田 孛魯阿速 客捏 別兒

商量有 做呵 任誰 也

乞^勤八^舌刺 也勤 孛^勤渾 塔 客額畢

容易行 如何 壞的 您 說了

tere čugtaǰ müsüd metü qamtu niken

eyeten bolu'āsu kene ber

kilbar-a yekin bolqun ta ke'ēbi.

あの束ねた矢のように共に一つの

和をもってあるならば、誰によっても

容易にどうしてやられるかお前達は、と言った。

您兄弟但同心呵。便如這五隻箭^斡束在一處。他人如何容易折得折。

お前達兄弟が心を合わせれば、この五本の矢が一緒にな
っているが如く、他人がどうして容易に折れるだろうか。

※仮定義。総訳では「呵」使用。

8-9. § 24 (1-15L)

兀窟額速 亦訥 兀窟速該 阿阿速 亦訥
死呵 他的 死也者 活呵 他的

阿速^[中]該 客額周
活也者 說着

ükü'ēsü inu üküšügej̄ a'āsu inu
asugaj̄ ke'ēj̄ü

死ぬなら死のう、生きるなら
生きよう、と言って

說道… 死呵死。活呵活。

… 死ぬなら死に、生きるなら生きる、と言った。

※仮定義×2。総訳ではともに「呵」使用。

10. § 29 (1-18R)

帖迭 亦兒堅 孛端察^忒侖^中合兒赤孩
那 百姓 黃鷹

中忽余阿速 額薛幹^克罷
索着 不曾 與了

tede irgen Bodončar-un qarčigaj̄
guyu'āsu ese ögbe

その人々がポドンチャルの鷹を
求めても与えなかった。

那百姓問孛端察兒索這黃鷹。他不曾與。

その人々がポドンチャルに問うてその鷹を求めても、彼
は与えなかった。

※譲歩の用例。対応傍訳が「着」になる唯一の例。総訳
では「呵」不使用。

11. § 30 (1-18L)

客延 速^忒刺阿速
麼道 問呵

keyēn sura'āsu
と尋ねると

麼道。

と言った。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

12. § 31 (1-19L)

訶^忒列捏 兀^忒籠^忒列 額^忒扯 克 孛魯阿速…
西 北 處 風 做呵

客亦思周 亦^忒列木
刮着 来有

hörene ümere-eče kej̄ bolu'āsu …

keyisčü iremü

西北から風が吹けば…
吹かれて来る

但見西北風起時。… 刮将来【。】

西北の風が起ると、… 吹かれて来る。

※仮定義。総訳は「時」使用。

13. § 32 (1-20R)

你刊 古温 阿亦孫 備由 古兒周 亦^忒列別速
一 人 来 有 到着 来呵

孛端察兒 門 阿主兀
是 有

niken kü'ün ayisun buyu kürčü irebēsü
Bodončar mün aju'ū

一人の人がやって来る。到り来ると
ポドンチャルであった。

望見一箇人来到呵。果然是孛端察兒。

一人のひとが来るのを眺め見ると、果たしてポドンチャ
ルであった。

※時間義。総訳では「呵」使用。

14. § 34 (1-21R)

巴撒 門兀格 鳴話列額速 阿^中合 亦訥…
再 只那言語 說呵 兄 他的

額薛 多汪^中豁^中巴… 巴撒 門古 兀格
【不】曾 作聲 再 只那 言語

鳴話列罷
說了

basa mün üge ügüle'ēsü aqa inu …
ese donggodba … basa mün-kü üge
ügülebe

またその言葉を言うと兄は…

何も言わなかった。…またその同じ言葉を
言った。

再将前頭の言語說了兩遍。

また前の言葉を二度言った。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

15. § 36 (1-22R)

者 帖因 孛額速
是 那般 有呵

ǰe teyin bö'ēsü

よし、それならば

既是這般呵。

このようであるならば、

※仮定義。総訳は「既是～呵」使用。

16. § 54 (1-34L)

(也速該把阿秃兒 …) 汪格亦周 兀者額速

名 探着 看呵

汪格只速 不失台 幹乞 中合秃 兀者周

顔色 別有的 女子 婦人 見着

(Yesügej-ba'atur...) önggeyjü üje'esü

öngge jisü bušitaj öki qatu üjejü

(イエスゲイ・バートルが…) 窺い見ると、
容姿が絶世の娘、婦人を見て

也速該把阿秃兒望見。那婦人生得有顔色。

イエスゲイ・バートルが望み見ると、その婦人は美しかった。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

17-18. § 55 (1-35L)

阿民 額列 赤訥 孛額速 完勤只格 土屯

性命 但 你的 有呵 車前 每

幹乞 中合刺兀土屯 中合秃備

女子每 黒車 每 婦人有

阿民 額列 赤訥 孛額速 幹乞 中合秃

性命 但 你的 有呵 女子 婦人

幹魯亦者 赤 不速 捏列帖且 訶額命

得也者 你 別 名字 的 婦人名

塔乞 捏列亦都由者 赤

也 名 喚 也者 你

amin ele činu bö'esü öljige tutum

okid qara ū tutum qatud buj

amin ele činu bö'esü öki qatu

oluyi-je čiči busu nerete-yi Hö'elün

taki nereyidüyü-je čiči

あなたの命さえあれば、車の前室ごとに

乙女達が、黒枠の前室ごとに女達があります。

あなたの命さえあれば、乙女、女は

得られましょう、あなた。別の名のをホエルン

とでも名付けなさい、あなた。

你若有性命呵。似我般婦人有也者。你想我呵再取的婦人就喚做我的名字者。

あなたにもし命があれば、私のような女はあります。

私を想うなら再び娶った女を私の名前で呼びなさい。

※仮定義×2。17は総訳「呵」対応。18も「呵」対応のようだが、モンゴル語原文とは意味に開きがある。

19-20. § 56 (1-38R)

中合亦刺阿速 中合 [目+刺] 亦周 兀禄兀者古

叫呵 回顧着 不 看有

赤馬亦 中合亦巴速 中合兀魯 中合 亦訥

你行 尋他蹤呵 道路 他的

兀禄幹魯 中合 忽 赤 擗孛孛里 客額周

不 得 你 禁聲勾了 說着

qayila'asu qalayju ülü üjekü

čimayi qayibāsu qa'uluga inu

ülü oluqu čiči sem boli ke'ejü

叫んでも顧みて見ないぞ

お前を、尋ね探しても道を

得ないぞお前。泣き止め、と言って

你哭呵。他也不回顧。蹤跡尋呵也不得見了。

お前が泣いたとしても彼は顧みない。跡形を探したとしても見られない。

※仮定義譲歩×2。総訳ではともに「呵」使用。

21. § 59 (1-40L)

帖木真兀格 中合豁里不花帖里兀田 塔塔里

名 名 等項

倒兀里周 亦列【額】速 田迭

虜着 来了呵 那裏

訶額命兀真 客額里台 不命

名 懷孕 自的

Temüjin-üge Qori-buqa teri'üten Tatar-i

dau'uliju ire'esü tende

Hö'elün-üjin ke'elitejürürün

テムジン・ウゲ、コリ・ブカを頭とするタタールを

奪って帰って来ると、その時

ホエルン夫人は身重になっており、

将他帖木真兀格豁里不花等擄来。那時也速該把阿秃兒的妻訶額命正懷孕

そのテムジン・ウゲ、コリ・ブカを奪い帰って来た。その時イエスゲイ・バートルの妻ホエルンは正に妊娠しており

※時間義。総訳では「呵」不使用。

22. § 66 (1-46R)

幹乞亦訥 兀者別速 你兀兒秃里顔 格列台

女子他的 看呵 面 自的行 光有

öki inu üjebesü ni'ür-tur-iyän geretej

その娘を見ると、顔に光があり、

見了他女兒生得好。

その娘が美しいのを見た。

※時間義。総訳は「呵」不使用。

23-25. § 66 (1-46L)

幹乞 亦訥 中忽余巴速 德薛禪 鳴訥列^論

女 他的 索呵 名 説

幹樂討兀 中忽余温^勳周 幹^克別速

多遍 索着 與呵

迭額只列^克迭古 輟延討兀 中忽余温^勳周

崇上 少遍 索着

幹^克別速 朶^舌藍只刺^黑苔^中忽

與呵 下觀

öki inu Guyubāsu Dej-sečen ügülerün

olon-ta-'ü Guyu'ülju ögbesü

de'ejilegdekü čö'en-ta-'ü Guyu'ülju

ögbēsü doramjilağdaqu

彼の娘を求めると、テイ・セチェンが言うのに、

何度も求められて与えるならば

尊敬され、数回求められて

与えれば軽蔑される。

(也速該)問他索這女子。德薛禪説。豈多遍索了與呵便重。少遍索了。與呵便輕。

(イエスゲイが)彼にその娘を求めると尋ねた。テイ・セチェンが言うのに、何度も求められて与えれば尊重され、数回求められて与えれば軽蔑される。

※ 23 = 時間義。総訳では「呵」不使用。24、25 = 仮定義。総訳はともに「呵」使用。

26. § 68 (1-48L)

蒙力^克 幹【亦】^舌刺備 客額速

名 根前有 説了

Münglig oyira buj ke'ēsü

ムンリグが近くにいる、と言うと

対応部分なし

※時間義。総訳では対応部分を訳出せず。

卷二 (20例)

27. § 69 (2-1R)

中忽苔可兀邊 抹劣^勳古字額速 幹^楊禿孩

親家 兇行 思想 有呵 教去

quda kö'ü-bēn mörölkü bö'ēsü odtugaĭ

縁者が自分の子を想っているのであれば行かせよう。

既是想呵教去

想っているならば行かせ、

※仮定義。総訳は「既是～呵」使用。

28-29. § 71 (2-2L)

兀赤^舌刺阿速 亦啞古 約速台 赤 古^舌列周

遇着呵 喫的 理有的 你 請着

兀禄 幹^克帖古 抹兒台 赤 古兒帖額速

不 可與的 道子有的 你 若到呵

亦啞古 約速台 赤

喫的 理有的 你

učira'asu idekü yosutaj ċi güreĵü

ülü ögtekü mörteĵi ċi kürte'ēsü

idekü yosutaj ċi

遇えば食べる道理がある、汝。請うて

与えられない道理がある、汝。到られれば

食べる道理がある、汝。

遇着茶飯呵便喫【。】

食事に遇えば食べる。

※仮定義×2。総訳は28、29一括で「呵」使用。

30. § 76 (2-8R)

不里周 阿^下苔罷 巴 客額速

奪着 被要了 俺 説呵

兀真 額客 鳴訥列^論

名 母 説

buliju abdaba ba ke'ēsü

Üjin eke ügülerün

奪い取られた、我々は、と言うと、

ウジン母が言うのに、

…奪了。他母親説。

が奪った。彼の母が言うには、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

31. § 78 (2-12R)

客^下迭石顔 欸迭額速 幹^饒兒古

窩巢自的 動着呵 黨護

啜額字^舌里 饒圖

豺狼 般

kebdeši-yēn künde'ēsü ömērkü

čö'ēböri metü

ねぐらを触れば群がり襲う
豺狼のように

如護窠の豺狼般。
巢を護る豺狼の如く、

※仮定義。総訳は「呵」不使用。

32. § 79 (2-14R)

石^[中] 恢都兒 失兒^中 忽周 幹^平 羅巴速
密林 裏 鑽着 入呵

泰亦赤兀^陽 幹^平 欒牙怛周
種名 入 不能着

šiguǐ-dur širguǐ orobasu

Tajyiči'ūd oron yada(n)ǰu

密林にもぐり込むと

タイチウドは入り込めず、

鑽入密林裏去了。泰亦赤兀每不能入去。
密林にもぐり込んだ。タイチウド達は入り込めなかった。

※時間義。総訳は「呵」不使用。

33. § 80 (2-15R)

中合^平 里周 兀者^{額速} 額^幾 額^勒
回着 看呵 鞍子

可門^勒 都兒格列^克 薛額兒 幹郎刺^[黑] 撒阿兒
扳胸 依舊扣着 肚帶 依舊扣着

qariǰu ũje'ēsü eme'ēl

kömü(n)ldürgelegse'er olanglagsa'ār

戻って見ると、鞍が

鞅をつけたまま、肚帯をつけたまま

回去看呵。扳胸肚帯依舊扣着。
戻ってみると、鞍、肚帯をつけたまま、

※時間義。総訳では「呵」使用。

34. § 80 (2-16R)

中合^兒 【巴】速 兀禄 孛^勒 忽 抹都的 速木赤
出呵 不 中的 木每行 削箭的

乞秃^中 孩 【巴】^平 里顏 豁^黑 脱^平 里阿^陽
刀兒 自的行 割斷了

garbāsu ũlū bolqu modud-i sumučī

kitugaǰ-bar-iyān hogtori'ād

出ようとしてもできず、木々を矢削りの
小刀で断ち切って、

対応部分なし

※仮定義譲歩。

35. § 81 (2-17R)

納^平 蘭 升格額速 塔兒^中 合罷
日 落了呵 散了

naran šingge'ēsü tarqaba

日が落ちたら散会した。

日頭落時散了。
日が落ちた時に散会した。

※時間義。総訳では「時」使用。

36. § 81 (2-17L)

幹難訥 屯 朶脱^平 刺 客^下 帖額速
河名的 林 内 臥着呵

兀者^克 迭古 客額周

被着見 説着

Onan-nu tün datora kebte'ēsü

ūjegdekü ke'ējū

オナン河の林の中に臥せ、

見られる、と思って

幹難河邊林内臥着。恐怕人見。
オナン河沿いの林の中に臥せた。人が見るのを恐れ、

※時間義。総訳は「呵」不使用。

37. § 83 (2-21R)

古兀捏 兀者^克 迭額速 兀者^克 迭別客延
人行 被見呵 被見來 麼道

不 客列列 客額^陽 那^克 赤罷

休 説 説了 過去了

kū'ün-e ũjegde'ēsü ũjegdebe keyēn

bū kelele ke'ēd nōgčibe

人に見られても、見られた、と
言うな、と言って去って行った。

若見人時休説我見你来。説訖。過去了。
もし人が見ても、私がお前を見たと言うな、と言って去
って行った。

※仮定義譲歩。総訳では「若～時」で対応。

38. § 84 (2-21L)

鎖兒^中 罕失^平 刺因 格兒圖兒^[中] 豁那巴速
人名 的 家 裏 宿 呵

沉白 赤老温^[中] 豁牙兒可兀^陽 亦訥

名 名 兩箇 子每 他的

幹^ㄉ羅只^ㄉ魯格邊 額別^ㄉ抽
心窩 心 疼 着

Sorqan-šira-yin ger-tür qonobāsu
Čimbaj Čilau'un qoyar kō'ūd inu
örö jirüge-bēn ebedčü
ソルカン・シラの家に泊まると、
チンバイ、チラウンの二人の子は
心を痛めて

鎖兒^ㄉ罕失^ㄉ刺家裏宿呵。他的沉白赤老温名字的兩箇兒
子。心裏憐憫我。
ソルカン・シラの家に泊まると、彼のチンバイ、チラウ
ンという名の二人の子は心で私を哀れに思った。

※時間義。総訳では「呵」使用。

39-40. § 85 (2-22L, 2-23R)

帖^ㄉ列 別^ㄉ格 莎那思抽 逐步巴速
那 記號 聽着 行呵
不列兀^ㄉ倫 儔兀 莎那思抽 古兒抽
澎的 聲 聽着 到着
格兒圖兒 亦訥 幹^ㄉ羅巴速
家裏 他的 入呵

tere belge sonosčü yabubāsu
büle'ür-ün daq'u sonosčü kürčü
ger-tür inu orobāsu
その印（の音）を聞いて行くと、
釀し杵の音を聞いて辿り着き、
その家に入ると

聽着這記號行呵。聽得打馬^ㄉ孛子聲。到他家裏入去呵。
その印を聞いて行くと、馬乳を打つ音が聞こえた。その
家に入ると、

※時間義×2。総訳ではともに「呵」使用。

41. § 85 (2-23R)

失保兀^ㄉ合泥 土^ㄉ林台 不塔圖兒
雀兒 行 龍多行 叢裏
中^ㄉ豁兒^ㄉ中^ㄉ豁巴速 不塔 阿不^ㄉ刺主為
趕入呵 叢 救了有

šibaq'uqan-i turimtaj buta-dur
qorGobāsu buta aburaju'ūi
雀を鷹が草むらに
追い込んだならば、草むらは救ってくれる。

雀兒被龍多兒趕入叢草去呵。叢草也能救他性命。
雀が鷹によって草むらに追い込まれば、草むらでもそ
の命を救ってくれる。

※仮定義。総訳では「呵」使用。

42. § 86 (2-25R)

客兒 荅兀思^ㄉ忽 客額速 能知温^ㄉ孫
怎生 當的 說呵 搜的每
保兀周 約兒赤罷
下來着 去了
ker da'ūsqu ke'ēsü nengji'ū(n)lsün
baq'ūju yorčiba

どうして耐えられよう、と言うと、捜す人達は
下りて去った。

如何當得。搜的人所以下車去了。

どうして耐えられよう。捜す人はそれで車を下りて去
った。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

43. § 90 (2-28R)

失兒^ㄉ合 阿^ㄉ駟*塔泥 迭額^ㄉ斃 阿抽 幹^ㄉ罷
慘白 駟馬等行 劫賊 將着 去了
客額速 別^ㄉ古台 鳴詰列^ㄉ論
說呵 人名 說

(*原文は「戸」が「日」)

širga agta-tan-i de'erme abču adba
ke'ēsü Belgütej ügülerün
薄栗毛の去勢馬などを強盗が盗って行った、
と言うと、ベルグテイが言うのに

我的馬被人劫去了。說了。別^ㄉ古台說
私の馬は盗って行かれた、と言った。ベルグテイが言う
のに

※時間義。総訳では「呵」不使用。

44. § 90 (2-29R)

失兒^ㄉ合 阿^ㄉ駟*塔泥 速^ㄉ刺巴速
慘白 駟馬等行 挨問呵
帖^ㄉ列 可温 鳴詰列^ㄉ論
那 後生 說

(*原文は「戸」が「日」)

širga agta-tan-i surabasu
tere kō'ün ügülerün
薄栗毛の去勢馬などを尋ねると、
その若者が言うのに

問他你曾見慘白駟馬等八匹來麼。那後生說。
彼に、お前は薄栗毛の馬など八匹が来るのに遇ったか、
と尋ねた。その若者が言うのに、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

45-46. § 102 (2-48R)

額因 帖因 奔^勳只阿速 兀木不失巴兒
 這般 那般 躲閃呵 陷 泥

別兒客 槐 亦訥 察^揚中忽郎 抹^中孩牙
 難 株 他的 飽 蛇 行

失兒^{中忽}阿速 兀祿 字^勳中忽 別兒客
 鑽 呵 不 中 難

失恢^中豁亦納察 亦訥 荅^中合周
 密 後 自 他的 隨着

額^勳魯孫 牙荅主為
 得 不能 了

eyin teyin bu(n)lji'āsu umubu šibar

berke hoj inu čadqulang moġaj-ya

širgu'āsu ülü bolqu berke

šigui qoyina-ča inu daġaju

erüsün yadaġu'üj

あちらこちらと逃げ隠れ、ぬかるみ深く

ひどい密林は満腹の蛇には

入り込もうとしてもできない

密林で、彼の後をつけても

得ることができなかった。

這廂那廂要取直路趕呵。都遇着陷泥密林。行不得入。只得自後趕着。因此拿不得了。

あちらこちらで得ようとずっと追ったが、いずれもぬかるみ深い密林に遭遇して入ることができず、ただ後ろから追うしかなかった。このため捕まえることができなかった。

※この部分のモンゴル語は難解で、従来より訳者ごとに様々な見解が提出されているという (村上 1970: 168、小沢 1985: 224)。但し仮定副動詞語尾の解釈に限ればほぼ一致していると言え、45 は時間義、46 は仮定譲歩。総訳ではともに「呵」不使用。

卷三 (15 例)

47. § 104 (3-1L)

客延 額木思格^克迭額速 田迭 必 鳴詰列^勳論
 塵道 被穿了呵 那裏 我 說

keyen emüsgeġde'ēsü tende bi ügüleriin

と言って着せられると、そこで私が言ったのには

対応部分なし

※時間義。

48. § 108 (3-11L)

孛脫^勳孛孛^勳孛^勳兒只荅 古^勳兒別速

地名 行 到 呵

札木^勳合 孛^勳札^勳 中^勳合札^勳刺

人名 約會的 地 行

中^勳忽^勳兒班 兀都^勳兒 兀^勳里荅 古^勳兒出為

三 日 先 到 有

Botogan-bo'örji-da kürbesü

Ĵamuġa bolĴal ġaĴar-a ġurban

üdür urida kürčü'üj

ボトガン・ボオルジに到ると、

ジャムカは約束の地に

三日前に到っていた。

孛脫^勳孛孛^勳孛^勳兒只的地面裏。到時。札木^勳合已自先到了三日。

ボトガン・ボオルジの地に到った時、ジャムカはすでに三日先に到っていた。

※時間義。総訳では「時」使用。

49-50. § 108 (3-12R)

孛^勳羅安 別^勳兒 孛^勳魯阿速

風雪 也 做 呵

孛^勳札^勳突^勳兒 中^勳忽^勳刺 別^勳兒 孛^勳魯阿速

約會 裏 雨 也 做 呵

中^勳忽^勳刺 突^勳兒 不^勳豁只荅牙

聚會 裏 休 落後咱

boro'ān ber bolu'āsu

bolĴal-dur qura ber bolu'āsu

qural-dur bū qoĴidaya

風雪であっても

約束には、雨であっても

集会には遅れまい。

雖是有風雨呵。也必要到。

風雨であったとしても到らなければならない。

※仮定譲歩。総訳では一括して「呵」使用。

51. § 110 (3-15L)

撒^勳刺兀^勳兒 不列額 兀者額速

月明 有来 看 呵

孛^勳兒帖兀只泥 塔你周

婦人名 行 認着

sara'ūr büle'ē üĴe'ēsü

Börte-üĴin-i taniju

月明かりだった。見ると

ボルテ・ウジンであると知って、

此時有月明。都相認得了。
この時月明かりがあり、お互い認識した。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

52-53. § 120 (3-33L)

帖^平列 雪泥 都里周 兀都^平兒
那 夜 兼行着 日

格亦額速 兀者額速
明 呵 看 呵

tere sōni dūlijū üdür
geyi'ēsü üje'ēsü

その夜を徹し、
夜が明けて見ると

那夜兼行到天明看呵。
その夜道を急いで夜明けに到って見ると、

※時間義×2。総訳では52は「呵」不使用、53は「呵」使用。

54-56. § 121 (3-39R, 3-39L × 2)

帖木真 赤 兀魯孫額 [毛 + 亶] 孛魯阿速
人名 你 國的 主人 做 呵

納馬宜 只阿^黑 撒訥禿刺 客^平兒
我行 告了的上頭 怎生

只^平兒^中合兀^中忽 赤 客額罷^{原作別}
教快活 你 說了

帖木真 鳴詰列^平論 兀年 帖因兀魯思
人名 說 實 那般國

篋迭兀魯額速 土篋訥那顏 孛^中合速
教管 呵 萬戶 官人 教做

客額罷^{原作別} 額列額都 脫^平劣宜 只阿^黑三
說了 許多 道理行 告了的

古温泥 納馬宜 土篋訥那顏 孛魯阿速
人行 我行 萬戶 官人 做 呵

牙温 只^平兒^中合郎備
甚麼 快活 有

Temüjin či ulus-un eĵen bolu'āsu
namayi ĵi'āgsan-u tula ker
ĵirga'ūlqu či ke'ēbe

Temüjin ügülerün ün en teyin ulus
mede'ūlü'ēsü tümen-ü noyan bolGasu
ke'ēbe ele edü törö-yi ĵi'āgsan

kü'ün-ni namayi tümen-ü noyan bolu'āsu
ya'ün ĵirgalang buĵi

テムジン、お前が国の主となれば、
私が告げたのだから、どのように

楽しませてくれるか、お前は、と言った。
テムジンが言うのに、本当にそのように国を
治めさせてくれるならば、万戸の長にしてやろう、
と言った。多くの道理を告げたる
人が、私が万戸の長をなしたとして、
何の楽しみがあるろう。

我将這等言語告與你。你若做國的主人呵。怎生教我快活。
帖木真說。我真箇做呵。教你做萬戶。^中豁^平兒赤說，我
告與你許多道理。只與我箇萬戶呵。有甚麼快活。
私はこれらの言葉をお前に告げた。お前がもし国の主を
なせば、どのように私を楽しませるか。テムジンが言う
のに、私が本当になすならば、お前に万戸（の長）をさ
せよう。ホルチが言うには、私はお前に多くの道理を告
げた。万戸を与えるだけならば、何の楽しみがあるろう。

※仮定義×3。総訳ではすべて「呵」使用。

57. § 123 (3-43R)

帖木只泥 ^中罕 孛魯阿速 巴 斡斡
人名 行 皇帝 做漢 俺 多

荅因突^平兒 阿^勳斤赤 哈兀^勳周
敵 行 頭哨 奔着

Temüjin-i qan bolu'āsu ba olon
dayin-dur alginči ha'ūlĵu

テムジンがカンになれば、我々は多くの
敵に哨兵として奔り、

你若做皇帝呵。多敵行俺做前哨。
お前がもし皇帝となれば、多くの敵に対し我々は哨兵と
なろう。

※仮定義（傍訳欠）。総訳は「若～呵」使用。

58. § 123 (3-43L)

斡羅阿 戈^平劣額孫 阿巴刺阿速
狡 野獸 打圍呵

兀禿^平刺周 斡^勳速 巴
首先出去圍着 與 俺

oro'ā görö'ēsün abala'āsu
uturaju ögsü ba

逃げ回る獣を巻き狩るならば、
先駆けて囲んでやろう、我らは。

野獸行打圍呵。俺首先出去圍將野獸來與你。
獣を巻き狩るならば、我らは先に出て行って獣を囲んで
お前に与えよう。

※仮定義。総訳では「呵」使用。

59-60. § 123 (3-43L, 3-44R)

中合揚^中忽^勸都^中灰 兀都^勸見 中合刺赤訥 不失
 廝殺的 明日 號令 你的 別

孛^勸 [中] 合阿速 哈^勸里失^勸里迭^勸扯
 做 呵 家活 行

中合屯額^勸箴^勸迭^勸扯 馬訥 中合^中合察兀^勸周
 娘子妻 行 俺的 教 分離着

中合^勸刺帖^勸里兀 馬訥 中合札^勸見
 黑 頭 俺的 地面

闊雪^勸見途^勸見 格周 幹^勸昂客 兀都^勸見
 行 撤着 去 太平 日

額耶 赤訥 厄 [ト] 迭額速
 商量 你的 壞 呵

額^勸列思 中合^勸刺荅察 額^勸箴 可兀迭^勸扯
 家人每 家活處 妻 子 處

馬訥 希^勸里扯兀^勸周
 俺的 分離 着

qadqulduquĭ üdür qala činu buši

bolga'āsu hari šili-deče

qatun eme-deče man-u qaqača'ūljū

qara teri'ū man-u gaĵar

kösör-tür gējū od engke üdür

eye činu ebde'ēsü

eres qara-dača eme kō'ū-deče

manu hiriče'ūljū

戦いの日にお前の命令に

背くならば、家臣から、

娘・妻から離れさせ、

我が黒き頭を地に

捨ててやれ。平和な日に

お前の約束を破るならば、

男たちから、妻子から

離れさせ、

廝殺時違了你號令。并無事時壞了你事呵。将我離了妻子家財。

戦いの時にお前の命令に背き無事の時に前前の事を乱せば、私から妻子家財を離れさしめよ。

※仮定義×2。総訳では一括して「呵」使用。

61. § 125 (3-49R)

騰吉^勸里 中合札^勸 刺 古出 捏^勸箴周
 天 地行 氣力 添着

亦赫額^勸迭額速
 被護助 呵

tenggiri gaĵar-a küčü nemejū

ihe'ēgde'ēsü

天地に力を添え

加護されれば、

若天地護祐呵。

もし天地が加護すれば、

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

卷四 (24例)

62. § 127 (4-1R)

札木^中合突^勸見 額^勸赤亦列額速 札木^中合
 人名 行 使臣 去 呵 人名

鳴詰列^勸論

説

Ĵamuqa-dur elči ile'ēsü Ĵamuqa

ügülerün

ジャムカのところに使者を遣わすと、ジャムカが言うのに、

差…往札木^中合處去。札木^中合説。

…をジャムカの所に遣わせた。ジャムカが言うのに、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

63. § 132 (4-10R)

成吉思^中合罕 別^勸古台 帖堆 亦^勸楊^勸阿速
 太祖 皇帝 人名 那些 勸 呵

兀禄孛^勸翁

不肯

Činggis qahān Belgüteĭ tedüĭ idqa'āsu

ülü bolun

チンギス皇帝はベルグテイがこう諫めても、

承服せず、

太祖不聽。

太祖は聞かなかった。

※讓歩。総訳では「呵」不使用。

64. § 136 (4-18L)

成吉思^中合罕納 札阿巴速 額捏 客連
 太祖 皇帝 行 告 呵 這 話

莎那速阿^勸 成吉思^中合罕 馬右 乞令刺周
 聽了 太祖 皇帝 好生 怒着

Činggis qahān-na ĵa'ābāsu ene kelen

sonosu'ād Činggis qahān maši kilinglaĵu

チンギス皇帝に告げると、この言葉を

聞いてチンギス皇帝は非常に怒って

人来告與太祖。太祖大怒説。
人が来て太祖に告げた。太祖が大いに怒って言うには、

※時間義。総訳は「呵」不使用。

65-66. § 137 (4-22R)

李莎^中合答察 赤訥 不^勅只阿速
門限 行 你的 繞了呵

李^[訶]兒必 亦訥 豁^黑脫^勑
時後筋 他的 割

額 [門 + 乞] 闕訥 赤訥 奄出
門 的 你的 梯己

李^勑 李^勑禿^中孩
奴婢 教做

額 [門 + 乞] 闕捏徹 赤訥 赫亦魯額速
門 行 你的 離了呵

額里格^楊 阿訥 額^楊客周 格^楊坤
肝 每 他的 割着 撇

bosoga-dača činu bulji'asu

borbi inu hogtol

e'üden-nü činu emčü

bo'öl boltugaj

e'üden-neče činu heyilü'ēsü

eligned anu edkejü gēdkün

お前の敷居から遠ざかれば、
その踵の腱を断て。

お前の帳の近くの

奴隸たらしめよ。

お前の帳から離れれば、

その肝臓を割いて捨てる。

若離了你門戸呵。便将脚筋挑了。心肝割了。

もしお前の門戸を離れれば、脚の腱を突け、心肝を割け。

※仮定義×2。総訳では一括して「呵」使用。

67. § 137 (4-22L)

昂吉答 幹都阿速 阿米 亦訥
別 去呵 命 他的

塔速^勑周 格^楊坤
斷着 撇

anggida odu'asu ami inu

tasulju gēdkün

外に行けば、彼の命を

断って捨てる。

若離了時。便将他性命斷了者。

もし離れれば、彼の命を断て。

※仮定義。総訳では「若～時」使用。

68. § 137 (4-23R)

幹額^勑列 幹都阿速 幹^勑列 亦訥
別 去呵 心 他的

米跌^勑里周 格^楊坤
踢着 撇

ö'ere odu'asu öre inu

miderijü gēdkün

外に行けば、彼の心臓を

蹴って捨てよ。

対応部分なし

※仮定義。

69. § 141 (4-32R)

成吉思^中合罕 王^中罕突^勑兒 額捏客列
皇帝 名 行 這話

古^勑兒格周 亦列額速 王^中罕 …
送着 去呵 名

Činggis qahān Ong qan-dur ene kele

Kurgejü ile'ēsü Ong qan …

チンギス皇帝がオン・カンにこの言葉を

届け遣ると、オン・カンは…

成吉思使人告與王^中罕。王^中罕於是

チンギスは人を遣わせてオン・カンに知らせた。オン・
カンはそれで

※時間義。総訳では「呵」不使用。

70. § 142 (4-34R)

客^[楊] 備客延 阿撒^中忽阿速
護每有 麼道 問 呵

ked bui keyen asagu'asu

誰々がいるか、と尋ねると、

対応部分なし

※時間義。

71. § 145 (4-38L)

赤孫 脫^勑里^楊格額速 兀禄 李侖
血 教止 呵 不 住

庵都^勑里答^勑侖

被 荒忙時

čisun töridge'ēsü ülü bolun

amdurigdarun

血を止めようとしても止まらず、
狼狽させられていた時、

流血蒼黄之甚。
流血し甚だ慌てふためいた。

※仮定讓歩。総訳では「呵」不使用 (145 節総訳の漢語はやや文語的)。

72. § 145 (4-39R)

雪泥都里 那^克赤額速 成吉思^中合罕
夜半 過 呵 皇帝
朶脫^剌安 薛^兒古周 鳴訥^列論
内自的 醒着 說

sōni dūli nōgči'ēsü Činggis qahān
dotorān sergūjū ügülerün
夜半が過ぎると、チンギス皇帝は
正氣づいて言うのに

至夜半成吉思方醒悟。說
夜半に到りチンギスはやっと目覚め、言うには

※時間義。総訳では「呵」不使用。

73. § 145 (4-40L)

兀都^兒 格亦周 格堅 孛^勤周 兀者額速
日 明着 明 做着 看 呵
帖^列 撒兀^三 豁^兒臣 …
那 坐了的 周圍

ūdūr geyijū gegēn bolju üje'ēsü
tere sa'ūgsan horčīn ...
日が明けて明るくなって見ると、
彼の座った周りは …

天明。及視坐處
夜が明け、座っていた所を見ると

※時間義。総訳は「呵」不使用。

74. § 145 (4-41R)

^中豁羅 阿思^中合阿速 黯巴^兒 阿主兀
遠 棄 呵 怎生 有
qolo asqa'āsu yambar aju'ū
遠くに吐けばどうだったか。

遠些棄呵不好。
遠くに捨てればよくなかったか。

※仮定義。総訳では「呵」使用。

75. § 145 (4-41R)

赤馬宜 庵都^里 蒼^兒 倫^中 豁羅
你行 被荒忙 時 遠
斡都阿速 赤馬蒼察 阿^勤只牙^中 忽牙察
去 呵 你 行 離了的 行
阿余周 牙阿^兒刺周 …
怕着 忙着

čimayi amdurigdaruṅ qolo
odu'āsu čimada-ča aljīyaquj-ača
ayuju ya'āraju ...

あなたに狼狽させられている時、遠くへ
行けば、あなたから離れてしまうことを
恐れ、急いで…

荒忙不及遠去。又怕離了你。
慌て遠くへ行かなかった。またあなたから離れることを
恐れた。

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

76. § 145 (4-41L)

把^里 蒼阿速 納馬宜 額亦木宜 兀禄兀
被拿了呵 我行 這般行 不
只阿^中 忽 不列額 赤 客額罷^{原作別}
告麼 有來 你 說了

barigda'āsu namayi eyimū-yi ulū'ū
ji'āqu büle'e čī ke'ebe
捕えられたら、私がこのようであることを
告げずにはいられなかったろう、お前は、と言った。

倘若被擒。你豈不說我被傷。
もし捕えられたらどうして私が負傷させられたと言わ
ないだろうか。

※仮定義。総訳では「倘若～」使用。

77. § 145 (4-42R)

客^兒 別^兒 把^里 蒼阿速 必 丹突^兒
若 是 被拿了呵 我 您行
斡^羅 忽^中 都^剌 秃 不列額
投的 心有的 有來

ker-ber barigda'āsu bi tan-dur
oroqu duratu büle'e
もし捕えられれば、「私はお前達に
投降する心をもっている。…」

若被擒。我說本是投降你的人。
もし捕えられれば、私は「お前に投降する者だ。…」と
言う。

※仮定義。総訳では「若～」使用。

78. § 146 (4-45R)

兀都^舌児格因 巴^舌刺阿速

日 明 了 呵

ūdūr geyin bara'āsū

日が明けきると、

次日

次の日

※時間義。総訳では「呵」不使用。

79. § 146 (4-46R)

帖^舌列古温 幹^揚抽 阿撒^黒巴速 帖^舌列

那 人 去着 問 呵 那

額^黒古温 鳴^舌詰列^舌論

婦 人 説

tere kü'ün odču asagbāsu tere

eme kü'ün ügülerün

その人が行って尋ねると、その

女が言うには、

…使人去問。那婦人説

人に尋ねに行かせた。その女が言うのに

※時間義。総訳では「呵」不使用。

80. § 146 (4-46L)

成吉思^{中合}阿納 額捏 兀格 【鳴^舌】詰列^舌額速

皇帝 行 這 言語 説 呵

成吉思^{中合}罕 額捏 兀格 莎那速^{阿揚}

皇帝 這 言語 聽 了

中合塔^舌刺周 古^舌児抽

點 着 到 着

Činggis qa'an-a ene üge ügüle'esü

Činggis qahān ene üge sonosu'ad

qatarajū kürčü

チンギス皇帝にこの言葉を言うと、

チンギス皇帝はこの言葉を聞いて

馬を走らせて到り、

成吉思既知。便去救。

チンギスは知って、助けに行った。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

81. § 146 (4-47L)

牙阿^舌刺周 兀^舌里^揚 亦^舌列額速

忙 着 先 来 呵

泰亦赤兀^揚 那牙^揚 … 格亦思格坤

種 官人毎 廢了

ya'āraju urid ire'esü

Tajyiči'ūd noyad ... keyisgekün

急いで先に来れば、

タイチウドの領袖たちは…吹き飛ばすだろう

若早来。恐泰亦赤兀^揚 … 誅滅了。

もし早く来れば、タイチウドは…誅し滅ぼすだろう。

※仮定義。総訳では「若～」使用。

82. § 146 (4-48R)

客列連巴^舌刺阿速 勺 客額罷^{原作剔}

説了 呵 是 説了

kelelen bara'āsū jōb ke'ebe

話し終えると、正しい、と言った。

対応部分なし

※時間義。

83-84. § 147 (4-49L)

額朶額 中合阿納 兀窟兀^勳迭額速

如今 皇帝行 教死 呵

哈刺^{中合}訥 帖堆 中合札^舌 児 訶額周

手掌的 那些 地 爛 着

中合豁^舌綽^舌児速 莎余^舌児^{中合}黒^舌答阿速 中合阿訥

落後我 被恩賜 呵 皇帝的

額木捏 徹額^勳 兀速泥 豁^舌脱^舌魯

前行 深 水 横斷

超堅赤老温 潮^舌魯朶^勳 秃^勳周 幹^完速

明 石 碎 衝 着 與我

edō'e qa'an-a ükü'ülde'esü

halagan-u tedüj gajar hō'ečjū

qočorsu soyurgagda'āsū qa'an-u

emün-e če'el usun-i hogtoru

čeü'gen čilaḡ'ün čaḡru dobtulju ögsü

いま皇帝に死を賜るならば

手のひらほどの地を汚して

残ろう。お許し下さるならば、皇帝の

御前で深い水をよぎり、

堅き白石を碎き襲おう。

如今皇帝教死呵。止汚手掌般一塊地。若教不死呵。我願

出氣力。將深水可以横斷。堅石可以衝碎。

いま皇帝が死なさせるならば、ただ手のひらほどの地を

汚そう。もし死なせなければ、私は力を出し、深き水をよぎり、堅き石を砕こう。

※仮定義×2。総訳では共に「呵」使用。

85. § 147 (4-50R)

額捏不^不侖 客額速

這箇呵 說呵

ene bürün ke'ēsü

「こいつは」と言えば

対応部分なし

※仮定義。

卷五 (50例)

86-87. § 149 (5-2L, 5-3R)

額薛 帖乞 阿刺阿速 中合你顔 中合^不兎答罷

不曾 也 殺 呵 皇帝自的 行 下手 了

客延 阿刺^中忽古 阿刺阿速 帖乞 門古

麼道 殺了 也 殺 呵 也 也

阿刺^黑蒼^中忽古 必

被 殺 我

ese teki ala'āsu qan-iyān gardaba

keyēn alaqu-kū ala'āsu teki mun kü

alacdaqu-kū bi

殺さなくとも、自分の主君に手を掛けた、

と言って殺すだろう。殺せば、それはそれで

殺されるだろう、私は。

我殺你也死。不殺你也死。

私はお前を殺しても死ぬし、殺さなくても死ぬ。

※ 86 = 假定譲歩、87 = 仮定義。総訳ではともに「呵」不使用。

88. § 149 (5-3L)

阿關 巴^不刺阿速

殺 了 呵

alan bara'āsu

殺してしまえば、

若殺了我。

もし私を殺せば、

※仮定義。総訳では「若～」使用。

89. § 149 (5-4R)

阿^不赤^不刺周 速^不兎^中合阿速

将来 着 教訓 呵

abčiraǰu surga'āsu

連れて来て教えてやると、

対応部分なし

※時間義。

90. § 149 (5-4R)

兀窟兀^動速 客額速 兀窟兀侖

教死呵 我 說 呵 教死

牙荅^中忽由 不列額

不能 有 有来

ükü'ülsü ke'ēsü ükü'ülün

yadaquǰ-u büle'ē

死なせたい、と言っても、死なせ

かねるであろう

対応部分なし

※假定譲歩。

91. § 149 (5-4L)

失^不兎^古額秃 阿民亦訥 兀窟兀侖

【人】名 命 他的 教死

巴^不刺阿速 中豁幹孫 阿民兀該 別耶亦訥

了 呵 空 性命 無 身子 他的

也乞坤 必荅

做甚 咱

Širgü'ētü amin inu ükü'ülün

bara'āsu qo'ōsun amin ügeǰ beye inu

yēkikün bida

シルグエトゥが彼の命を死なせ

終れば、空の命の無いその体を

どうするべきか、我々は。

対応部分なし

※仮定義。

92. § 149 (5-5R)

札兀^不刺 中忽秃^中忽^動訥兀荅 古^不魯額速

路間 地名 行 到 呵

田迭 納牙阿 鳴訥列^不侖

那裏 人名 說

ǰa'ūra Qutuqul-nu'ū-da kürü'ēsü

tende Naya'ā ügülerün

途中クトゥクル隅に到ると、

そこでナヤアが言うのに

至^中忽^秃忽^中地面。其子納牙阿説。
クトウク(ル)の地に到った。その子ナヤアが言うには、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

93. § 149 (5-5L)

塔^秃兒^中忽^台宜 把^秃里周
人名 行 拿着

古^秃魯^額速 成吉思^中合^罕 …
到 呵 皇帝

Targutaj-yi bariju
kürü'ēsü Činggis qahān ...
タルグタイを捕えて
到れば、チンギス皇帝は …

若^将他^拿至帖木^真處。必説 …
もし彼を捕えてテムジンの所に到れば、必ず…と言うだ
ろう。

※仮定義。総訳では「若～」使用。

94. § 149 (5-6L)

亦^秃列^額速 也^勤 亦^秃列^周 客^額罷^{原作}別
来 呵 怎麼 来 着 説了

ire'ēsü yēkin irejü ke'ēbe
来ると、どうして来たのだ、と言った。

対応部分なし

※時間義。

95. § 149 (5-7L)

塔^秃兒^中忽^台宜 中^合 [秃] 兒^答周
人名 行 下手 着

亦^秃列^克撒^楊 李^額速
来了的每 有 呵

Targutaj-yi gardaju
iregsed bö'ēsü
タルグタイを手にして
来たのならば、

若^你每^将他^拿来。
もしお前達が彼を連れて来たなら、

※仮定義。総訳では「若～」使用。

96. § 150 (5-9R)

篋^秃兒^乞楊 中^合楊 中^忽勤 都^秃刺 亦^秃列^額速
種 廝殺 来了 呵

成吉思^中合^罕 札^中合^敢不 乞^額楊
太祖 皇帝 人名 等

中^合楊 中^忽勤 都^周 亦^出阿^罷 原作伯
廝殺 着 教退了

Merkid qadquldura ire'ēsü
Činggis qahān Ĵaqa-gambu ki'ēd
qadqulduju iču'āba
メルキド族が戦をしに来たので、
チンギス皇帝、ジャカ・ガンブらは
戦い合って退却させた。

篋^秃兒^乞欲^與成^吉思^戰。成^吉思^遂與^札中^合敢^不將^篋兒^乞
戰退。
メルキ(ド)がチンギスと戦おうとしたので、チンギス
はすぐにジャカ・ガンブと共にメルキ(ド)を退却させた。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

97. § 150 (5-10R)

也^速該^中罕 突^秃兒 亦^秃列^額速 也^速該^中罕
人名 皇帝 行 来 呵 人名 皇帝

Yesügei qan-tur ire'ēsü Yesügei qan
イエスゲイ皇帝の所に来ると、イエスゲイ皇帝は

至也速該處。也速該
イエスゲイの所に到った。イエスゲイは

※時間義。総訳では「呵」不使用。

98. § 151 (5-11L)

古^泄兀^秃兒 納^兀都^秃刺 亦^秃列^額速 成^吉思^中合^罕
海子名 海子行 来 呵 太祖 皇帝

Güse'ür na'ür-a ire'ēsü Činggis qahān
グセウル湖に来ると、チンギス皇帝は

至古泄【兀】^秃兒海子。成^吉思 …
グセウル湖に至った。チンギスは …

※時間義。総訳では「呵」不使用。

99. § 152 (5-13R)

額^秃兒^迭 兀^都兒 客^額速
在前 日子 説 呵

朶^羅安 納^速秃^宜
七 歳 行

erde üdür ke'ēsü
dolo'an nasutu-yi

昔日はと言えば、七歳であるのを

在前七歳時

以前七歳の時

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

100. § 152 (5-13L)

可兀邊 田迭 阿不^忒刺周 亦^忒列額速

兒子自的_行 那裏 救 着 來 呵

kö'ü-bēn tende aburaĵu ire'ēsü

自分の子をそこに救って来ると

対応部分なし

※時間義。

101. § 152 (5-14L)

帖木真 可温突^忒兒 亦^忒列額速

名 兒 行 來 呵

Temüjin kö'ün-dür ire'ēsü

子であるテムジンのところ来ると

対応部分なし

※時間義。

102-104. § 153 (5-17L)

歹亦孫古兀 荅^忒魯阿速 斡^勑札突^忒兒

敵 人 勝 了 呵 財 行

不 擺亦牙 荅^忒魯^勑巴^勑刺阿速 帖^忒列

休 立咱 勝 了 呵 那

斡^勑札 必荅訥埃 備者 中^勑忽必牙^勑都^勑揚者

財 咱每的 有 也者 共分 也者

必荅 那闊^忒兒古兀捏 亦出阿^黑荅阿速

咱 被敵人行 趕退 呵

土^忒魯訥 多^下禿魯^黑三 中^合札^忒兒都^忒里顏

始初的 衝 的 地面裏 自的_行

額客額^忒魯【也】

翻身 咱

dajiyisün kü'ü daru'āsu olĵa-dur

bū bajiyiya darun bara'āsu tere

olĵa bidan-u-'āĵi buĵ-ĵe qubiyaldud-ĵe

bida nökör kü'ün-e iĉu'āgda'āsu

türün-ü dobtulugsan Gaĵar-dur-iyān

eke'ērūye

敵人に打ち勝っても財物のところに

立ち止まるな。勝ち終れば、その

財物は我々のものであるぞ。分かち合うぞ

我々は。敵人に退けられれば、

はじめに襲った我が地に

引き下がろう。

若戦勝時。不許貪財。既定之後均分。若軍馬退動至原排陣處。再要翻回力戰。

もし打ち勝っても、財を貪るな。後に平定したら等分する。もし軍馬がもと陣を並べた所に退けば、また引き返して戦う。

※ 102 は假定讓歩、103、104 は假定義。総訳では順に「若～時」「～後」「若～」を用いて訳す。

105. § 154 (5-19L)

額耶巴^忒刺^勑都周 格^忒兒帖徹 中^合魯阿速

商量 定了 着 房子 行 出 呵

塔塔^忒倫 也客^勑扯^忒連 …

種 的 人 名

eye baralduĵu ger-teĉe garu'āsu

Tatar-un Yeke-ĉeren …

話し合いを終えてゲルから出ると、

タタル族のイエケ・チェレンは …

共議已定。別^勑古台出来。塔塔^忒兒種人也客^勑扯^忒連話し合いが終り、ベルグテイが出てくると、タタル族のイエケ・チェレンは

※時間義。総訳では「呵」不使用。

106. § 154 (5-21R)

額耶巴^忒刺^勑阿速 斡^勑脫^克兀^黑撒訥 中^合豁亦納

商量 了 呵 進酒 飲了的 後

eye bara'āsu ötög ūgsan-u qoyina

話し合いが終って祝いの酒を飲んだ後

議事後進一鍾酒畢。

話し合い後、酒を一杯飲み終えた後、

※時間義。総訳では「後」使用。

107. § 155 (5-22L)

中^合罕 莎余^忒兒 中^合阿速

皇帝 恩賜 呵

qahān soyurqa'āsu

皇帝がお許し下さるならば

対応部分なし

※仮定義。

108-109. § 155 (5-23R)

赤馬答察 撒因卜克先 孛額速 額里兀魯耶
比你 好 有來 有呵 教尋 咱

額格赤顏 亦列額速 齋亦刺周 幹古由
姐姐 自的 行 來 呵 躲 着 與 麼

赤 客額罷原作別
你 說 了

čimadača sayin bügsen bö'ēsü eri'ülüye
egeči-yēn ire'ēsü jaiyilaŋu ögkü-ü
či ke'ēbe

お前より美しいのであれば、捜させよう。

お前の姉が来たならば、退いてやるか、

お前は、と言った。

若果有顔色。教尋去。尋得來時。肯將你位子讓與麼。

もし美しいなら捜しに行かせよう。捜して来た時、お前は地位を譲り与えるか。

※仮定義×2。総訳では108「若果～」、109「～時」使用。

110-111. § 155 (5-24R)

中合罕 莎余兒中合阿速 額格赤顏
皇帝 恩賜 呵 姐姐 自的 行

額列兀者額速 額格赤迭延 齋亦刺速
但 見 呵 姐姐 自的 行 躲 我

qahān soyurqa'āsu egeči-yēn
ele üje'ēsü egeči-deyēn jaiyilasu

皇帝がお許し下さるならば、我が姉を

見さえすれば、姉のために退きましょう。

若得見時。便讓與他。

もし見れば、彼女に譲ろう。

※仮定義×2。総訳では110は対応部分なし、111は「若～時」使用。

112. § 155 (5-23L)

額里兀魯額速 … 勺勒中合主為
教尋 呵 遇着 有來

eri'ülü'esü … jolgaŋu'üj
捜させると … 遭遇した。

令人尋去。正遇着 …

捜しに行かせると、正に … に遭遇した。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

113. § 156 (5-25L)

阿亦馬黑 阿亦馬乞牙里顏 擺亦阿速
部落 部落 自的 每 立 呵

ayimaG ayimaG-iyar-iyān bajyi'āsu
部落ごとに立ってみると

各就部落立的。

部落ごとに立った。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

114. § 156 (5-25L)

赤 牙温古温 備 客額速
你 甚 人 有 說 呵

帖列古温 鳴詰列論
那 人 說

či ya'un kü'un buj ke'ēsü
tere kü'un ügülerün

お前はどんな人であるか、と言うと、
その人が言うのに

成吉思問是甚麼人。那人說

チンギスが、どんな人か、と尋ねた。その人が言うのに

※時間義。総訳では「呵」不使用。

115. § 156 (5-26R)

成吉思中合阿納 幹赤額速
太祖 皇帝行 奏 呵

Činggis qa'an-a öči'ēsü

チンギス皇帝に上奏すると、

対応部分なし

※時間義。

116. § 161 (5-31L)

馬納中合兒 額兒迭 兀都兒 格亦兀命
明早 晨 日 明

王中罕訥 擺亦答勒突兒 兀者額速
人名 的 立 處 看 呵

managar erde üdür geyi'ülün

Ong qan-nu bajyidal-dur üje'ēsü

明るる日早く、日が射ってきて

オン・カンの陣営を見ると、

天明看時。王中罕立處

夜が明けて見ると、オン・カンの陣営は

※時間義。総訳では「時」使用。

117-118. § 164 (5-36R)

納馬宜 幹脱_勳周 温都_楊帖 中合_勳魯阿速

我行 老着 高處行 上 呵

中合_勳兀赤_楊罷 必 中合_勳兀赤_楊拙 中合_勳都_楊塔

舊了 我 舊了着 崖每行

中合_勳魯阿速 中合_勳木_黑 兀魯思 虔 篋迭古

上 呵 普 百姓 誰 管

namayi ötöljü ündüd-te garu'asu

qa'ūčidba bi qa'ūčidču qaldud-ta

garu'asu qamuG ulus ken medekü

私が老いて高齢になれば、

老いさらばえる、私は。老いさらばえて崖に

登れば、普き民を誰が治めるか。

我如今也老了。後來這百姓教誰管。

私はいまや老いた。今後この民を誰に治めさせるか。

※仮定義×2。総訳では「呵」不使用。

119. § 164 (5-37L)

速都禿 抹_勳合牙 雪都_勳兒帖額速

牙有的 蛇行 被挑唆 呵

雪都_勳兒堅突_勳兒 不 幹_勳羅牙

挑唆 行 休 入 咱

südütü mogaj-a südürte'ēsü

südürge-dür b̄u oroya

牙のある蛇にそそのかされても、

挑発にのるまい。

若有人離間呵。休要聽信。

誰かが仲を裂こうとしても、信用するな。

※仮定讓歩。総訳では「若～呵」使用。

120. § 164 (5-37L)

阿_勳 [刺 + 齒] 阿禿 抹_勳合牙 阿峇_勳兒峇阿速

大牙 有的 蛇行

阿峇_勳兒_勳合泥 亦訥 不 阿不_勳察牙

他的 休 共要 咱

ara'ātu mogaj-a adarda'asu

adarqan-i inu b̄u abulčaya

大牙をもつ蛇に中傷されても、

その中傷を取り合うまい。

対応部分なし

※仮定讓歩。傍訳に欠如部分あり。

121. § 165 (5-38L)

阿_勳刺_勳真 幹古耶客延 中忽_勳亦阿速

相換 與 咱麼道 索 呵

田迭 桑昆 幹額_勳里顏 也客只連

那裏 人名 自己 大 做

薛_勳乞周 鳴詰列_勳論

想着 說

aralj̄in ögüye keyēn Guyi'asu

tende Senggüm ö'er-iyēn yekejilen

sedkj̄ü ügülerün

(…を) 交換に与えたい、と望むと、

その時センゲンは自らを尊大に

思いなして言うのに

索…相換做親。桑昆自尊大着説。

(…を) 交換して縁組したいと望んだ。センゲンは自ら

を尊大にかまえて言うには

※時間義。総訳では「呵」不使用。

122-123. § 165 (5-39R)

必峇訥 兀魯_勳 安都_勳兒 幹都阿速

咱的 親 他每行 去 呵

阿刺兀納 擺亦周 額額捏_勳徹 中豁_勳亦馬_勳兒

門後行 立着 專一 正面

中合_勳 [目 + 刺] 中忽_勳阿主兀 阿訥 兀魯_勳

看 有 他的 親

必丹突_勳兒 亦_勳列額速 中豁_勳亦馬刺 撒兀周

俺每行 來 呵 正面 坐着

阿刺兀納 中合_勳關阿主兀 客延

門後行 【看】有 麼道

bidan-u uruG andur odu'asu

ala'ün-a baj̄yij̄u e'ēnegče qoyimar

qaraqū aju'ū anu uruG

bidan-dur ire'ēsü qoyimar-a sa'ūju

ala'ün-a qaran aju'ū keyēn

我らの一族が彼らの所に行くならば

戸口に立って常に奥の間を

見るのである。彼らの一族が

我々の所に来るならば、奥の間に座り

戸口を見るのである、と言って

俺的女子到他家呵。專一門後向北立地。他的女子到俺家呵。正面向南坐麼道。

我らの娘が彼ら家に到れば、ひたすら戸口で北に向かっ

て立つ。彼の娘が我ら家に到れば、正面で南に向かっ

て立つと言って、

※仮定義×2。総訳ではともに「呵」使用。

124-125. § 166 (5-40L)

額薛 撻迭額速 塔納 牙兀 孛^中忽
不曾 撻先呵 您行 如何 中

帖木真 安荅突^兒 秣^兒 驪刺阿速 必
名 契交 行 上馬 呵 我

缺迭列捏徹 幹^兒 羅^勸 都速
自横 裏 共入

ese nende'ēsü tan-a ya'ü bolqu

Temüjin anda-dur morila'āsu bi

köndelen-eče oroldusu

奇襲しないなら、あなた方にとってどんな事になろう。

テムジン盟友の所に出家するなら、私は

横から共に加わります。

若不預先除了。您行如何肯服。若除帖木真呵。我自横衝
入去。

もし予め除かなければ、あなた達にどうして従えるか。

もしテムジンを除くなら、私は横から攻め入ろう。

※仮定義×2。総訳では124は「若～」、125は「若～呵」
使用。

126-127. § 166 (5-41R)

兀魯思顏 阿^下荅阿速 兀魯思 兀該兀
百姓自的行 要被了 呵 百姓 無

孛魯阿速 也乞坤 帖迭
做 呵 待如何 他每

ulus-iyān abda'āsu ulus ügei'ü

bolu'āsu yēkikün tede

自分の民を取られれば、民がいなく

なれば、どうするか、彼らは。

若擄了百姓。他待如何。

もし民を奪えば、彼はどうするか。

※仮定義×2。総訳では126は「若～」で訳、127は対
応部分なし。

128. § 166 (5-41L)

赤馬宜 牙兀薛^勸 乞額速
你 行 想 呵

čimayi ya'ü sedki'ēsü

お前が何を思えば

你想做甚麼呵。

お前が何をしようと思えば、

※仮定義。総訳では「呵」使用。

129. § 167 (5-42L)

額朶額 可温突^兒 米訥 帖因 卯危薛^勸 乞額速
如今 子 行 我的 那般 歹 想 呵

edö'e kö'ün-dür minu teyin maṣ'üj sedki'ēsü

今我が子に対しそのように悪く思うなら

若如今他行那般歹想呵。

もし今彼をそのように悪く思えば、

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

130-131. § 167 (5-43L)

額赤格顏 赤馬宜 察^中合阿納 撒察阿速
父 自的 你 行 白 行 搶着 呵

中合^兒 刺荅 中合^中 合阿速

黒 行 噎着 呵

ečige-yēn čimayi čaga'an-a sača'āsu

qara-da qaqa'āsu

我が父、あなたが白きものにむせぶなら、

黒きものにつかえるなら、

若父親老了呵。

もし父が老いれば、

※仮定義×2。総訳では一括して「若～呵」使用。

132. § 167 (5-44R)

卯危 薛^勸 乞額速 勺乞^中 忽由
歹 想 呵 且 麼 有

maṣ'üj sedki'ēsü jōkiquj-ū

悪く思えば、よいだろうか。

想歹呵不宜。

悪く思えば宜しくない。

※仮定義。総訳では「呵」使用。

133-134. § 168 (5-46R)

札兀^兒 刺 蒙力克 額赤格因 格^兒 兒圖^兒
路 問 人名 父 的 家 裏

[中] 豁那阿速 田迭 蒙力克 額赤格 鳴訥列^論
宿 呵 那裏 人名 父 説

察兀^兒 兒別乞宜 中忽余阿速 木^楊 魯
女 名 行 索 呵 他 每 但

ja'ūra Münglig ečige-yin ger-tür

qono'āsu tende Münglig ečige ügülerün

Ča'ür-beki-yi Guyu'āsu mud-lu

途中、父であるムンリグの家に

宿ると、そこで父ムンリグが言うのに

チャウル・ベキを求めた時、彼らは

路間於蒙力克老人家裏宿。蒙力克說他的女子行咱索時。
他

途中、ムンリグ老人の家に泊まった。ムンリグは、彼の娘を我らが求めた時、彼は

※時間義×2。総訳では133は「呵」不使用、134は「時」で訳。

135. § 169 (5-50L)

成吉思^中合阿泥 莎余^舌兒^中合阿速

太祖 皇帝 行 恩賜 呵

Činggis qa'an-i soyurqa'asu

チンギス皇帝がお許し下さるならば

対応部分なし

※仮定義。

卷六 (56例)

136. § 170 (6-2R)

客額克迭周 兀者額速

被説 着 看 呵

ke'egdeǰü üje'ēsü

と言われて、見ると

対応部分なし

※時間義。

137. § 170 (6-2L)

帖堆 額薛 兀者額速 格捏^楊 不列埃

那些 不曾 見 呵 不意 有来

tedüj ese üje'ēsü gened büle'eǰi

そのように見なかったならば、不意のこととなった(だろう)。

対応部分なし

※仮定義。

138. § 170 (6-3L)

王^中罕 鳴詰列^舌論 帖因 孛額速

人名 説 那般 有 呵

Ong qan ügülerün teyin bö'ēsü

オン・カンが言うのに、そのようであるならば

王罕說那般呵。

オン・カンが言うのに、そのようならば、

※仮定義。総訳では「呵」使用。

139. § 170 (6-5R)

客^楊備客延 阿撒^中忽阿速 必 鳴詰列^舌論
誰每有麼道 問 呵 我 説

ked büj keyen asaGu'asu bi ügülerün

誰々がいるか、と尋ねると、私が言うのに

対応部分なし

※時間義。

140. § 170 (6-6R)

額兀別^舌兒 兀^中合阿速

這般 省 呵

e'ü-bēr uqa'asu

これによって理解すれば

看来

見たところ

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

141. § 172 (6-11R)

兀都^舌兒 格亦兀倫 不古^楊格額速 …
日 教明 點視 呵

^中忽^舌兒班兀該阿主兀

三箇 無 有

üdür geyi'ülün bügüdge'ēsü …

Gurban ügeǰi aǰu'ü

日を明けさせて点呼すると、…

三人がいないのであった。

次日天明。點視軍馬。少…三人。

翌日夜が明け、軍馬を点呼すると、…の三人が欠けていた。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

142-144. § 172 (6-11L)

成吉思^中合罕 鳴詰列^舌論

太祖 皇帝 説

^中豁亦納察 必荅訥 捏客周 亦^舌列額速

後 行 咱的 襲着 来 呵

^中合^楊 ^中忽^舌都牙 客延 札撒周 擺亦罷^{原作伯}

斯殺 咱 麼道 整治着 立了

兀都^𐰽見 格格延 孛^𐰽合周 兀者額速
日 明 教做着 看 呵

中^𐰽豁亦納察 你刊古温 阿亦速 古^𐰽見抽
後行 一箇人 来有 到着

亦^𐰽列額速 孛^𐰽斡^𐰽見出阿主兀
来 呵 人名 有

Činggis qahān ügülerün
qoyina-ča bidan-u nekeǰü ire'ēsü
qadqulduya keyēn ǰasaǰu baǰiyiba
üdür gegeyēn bolǰaǰu üǰe'ēsü
qoyina-ča niken kü'ün ayisu kürčü
ire'ēsü Bo'örčü aǰu'ü

チンギス皇帝が言うのに、
我々の後ろから襲ってくれば
応戦しよう、と言って整え陣立した。
日を明るくさせて見ると、
後ろから一人のひとが来る、到って
来ると、ポオルチュだった。

成吉思又恐敵来追襲。整治着軍馬準備斃殺有来。及日明
看見自後有一人来到時是孛斡^𐰽見出。

チンギスはまた敵が追ってきて襲うのを恐れ、軍馬を整
えて応戦する準備をした。日が明けて後ろから一人のひ
とが来て到るのを見ると、ポオルチュだった。

※ 142 = 仮定義。総訳では「呵」不使用。143、144 は
時間義。総訳では一括して「及～時」で訳。

145-146. § 173 (6-13L)

巴撒 中^𐰽豁魯木^𐰽 阿塔刺 巴撒 你刊古温
再 少頃 住間 再 一人

阿亦速 古^𐰽見抽 阿亦速^𐰽灰突^𐰽見 朶^𐰽羅亦訥
来有 到着 来 時 下 他的

闊里顔 温只^𐰽札周 阿亦速 兀者額速
脚自的^𐰽行 垂着 来有 看 呵

中^𐰽合^𐰽黑^𐰽察古温 箴圖備由 亦^𐰽連 巴^𐰽刺阿速
獨 人 般 有 来 了 呵

斡^𐰽闊^𐰽歹^𐰽因^𐰽 中^𐰽 豁亦納察 孛^𐰽羅^𐰽中^𐰽忽^𐰽 損都刺周
人名 的 後處 人名 叠騎着

basa qorumūd atala basa niken kü'ün
ayisu kürčü ayisuqıǰı-dur doru inu
köl-iyēn unǰılǰaǰu ayisu üǰe'ēsü
gaǰča kü'ün metü büyü iren bara'āsu
Öködej-yin qoyina-ča Boroqul sundulaǰu
またしばらくすると、もう一人のひとが
近づいて来る。やって来る時、彼の下に
脚を垂らしてやって来る。見ると、
一人だけのようであったが、来終わると
オコデイの後ろからポコクルが相乗りし、

再少頃又有一人来。近看時人下又有兩脚垂着。及到来時
斡闊台孛^𐰽羅^𐰽中^𐰽忽^𐰽疊騎着一箇馬。

またしばらくするともう一人来る。近づいて見ると、人
の下に二本の脚が垂れている。到着すると、オコデイ、
ポコクルは一頭の馬に相乗りし、

※時間義×2。145 は総訳では（前文と併せて）「時」
で訳出。146 は「及～時」使用。

147. § 173 (6-14R)

歹亦孫 亦^𐰽列額速 中^𐰽合^𐰽楊^𐰽中^𐰽忽^𐰽都^𐰽牙
敵 来 呵 斃 殺 咱

dajyisun ire'ēsü qadqulduya
敵が来れば戦おう

対応部分なし

※仮定義。

148-149. § 173 (6-14L)

亦^𐰽列額速 中^𐰽合^𐰽楊^𐰽中^𐰽忽^𐰽都^𐰽中^𐰽渾 不列埃 歹亦納
来 呵 斃 殺 有来 敵行

不^𐰽魯^𐰽為^𐰽關 歌多^𐰽迭額速 必^𐰽荅 扯^𐰽里吉顔
驂 動了 呵 咱每 軍 自的^𐰽行

ire'ēsü qadqulduqun büle'ēǰı dajyin-a
buru'ūǰlan ködölde'ēsü bida çerig-iyēn

来れば戦うべきである。敵に
避けて移られれば我らは兵を

対応部分なし

※仮定義。

150. § 174 (6-16L)

王^𐰽罕^𐰽…鳴^𐰽訥^𐰽列^𐰽主^𐰽為^𐰽…多^𐰽朶^𐰽都^𐰽牙
人名 說了有 衝 咱

客額速 帖温突^𐰽見 阿赤^𐰽失^𐰽命^𐰽 鳴^𐰽訥^𐰽列^𐰽論^𐰽
說 呵 那的裏 人名 說

Ong qan ... ügüleǰü'ūǰı ... dobtulduya
ke'ēsü te'ün-dür Ačig-širün ügülerün
オン・カンは…言ったのです、「…攻撃しよう。」
と言うと、そこにアチグ・シルンが言うのに

王^𐰽罕^𐰽說…教衝咱。阿赤^𐰽失^𐰽命^𐰽說
オン・カンは「…攻撃させよう、我ら」と言った。アチ
グ・シルンが言うのに

※時間義。総訳では「呵」不使用。

151. § 174 (6-17R)
阿泥 額薛 亦^忒列額速
他行 不曾 来 呵

ani ese ire'ēsü
彼らが来ないならば

他若不来呵。
もし彼が来ないなら、

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

152. § 174 (6-17R)
帖因 孛額速
那般 有 呵

teyin bö'ēsü
そのようであるならば

対応部分なし

※仮定義。

153. § 175 (6-18R)
脱幹刺^勑都阿速 中豁牙^忒兒敏^中罕
共數 呵 兩 千

只^忒兒瓦安札兀^楊 孛^勑罷^{原作伯}
六 百 做了

to'ölaldu'āsu qoyar mingan
jirwa'an ja'ūd bolba
数え合うと二千
六百であった。

點視軍馬有二千六百。
軍馬が二千六百有るのを数えた。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

154. § 175 (6-18L)
成吉思^中合罕^納 亦^楊合阿速 兀禄孛^命
太祖 皇帝行 勑 呵 不肯

Činggis qahān-na idqa'āsu ülü bolun
チンギス皇帝が諫止しても肯んぜず

成吉思止當不從。
チンギスが止めても従わず、

※讓歩。総訳では「呵」不使用。

155-157. § 176 (6-20R)

額^忒兒帖 兀都^忒列徹 者因 只速額^忒兒
在前 日子 行 外甥的 容貌 依着

幹乞訥 汪格額^忒兒 客額速 額^勑薛^楊者
女的 顏色 依着 說 呵 投降 也者

木^楊 不^勑合亦訥 客額速
他每 反 他的 說 呵

^中合^楊 ^中忽^勑都^楊者 必荅 客額周 亦列額速
廝殺 也者 咱每 說着 去了

erte üdür-eče jē-yin jisü'er
ökin-u öngge'er ke'ēsü elsed-je
mud bulqa inu ke'ēsü

qadquldud-je bida ke'ējü ile'ēsü
昔の日より娘の容姿によって、
女の顔によって、と言うなら和睦するぞ。
彼らが敵対する、と言うなら
戦うぞ我らは、と言って遣わすと

想着在前姻親呵。投降来者。若不肯投降呵。便廝殺者。
說將去時。
昔からの姻戚関係を思うならば、降参して来い。もし降
参しないならば、戦うぞ。と言いやると、

※ 155 と 156 は仮定義。総訳では共に「(若～)呵」使用。
157 は時間義 (傍訳欠)、総訳では「時」使用。

158. § 177 (6-21R)
阿余兀^勑忽 孛額速
教怕的 有 呵

ayu'ülqu bö'ēsü
恐れさせることがあるならば

若恠俺呵。
もし私を咎めるならば、

※仮定義。総訳では「呵」使用。

159-160. § 177 (6-22R, 6-22L)
速都秃 抹^中合牙 雪都^忒兒帖額速
牙有的 蛇行 被挑唆 呵

雪都^忒兒堅突^忒兒 亦訥 不幹^忒羅牙 …
挑唆 裏 他的 休入 咱

阿^忒刺阿秃 抹^中合牙 阿荅^忒兒塔阿速
大牙 蛇行 被 呵

阿荅^忒兒^中罕突^忒兒 不 幹^忒羅牙
裏 休 入 咱

südütü moğaj-a södürte'ēsü
södürgeñ-dür inu bū oroya ...
ara'ātu moğaj-a adarta'āsu
adarqan-dur bū oroya

牙ある蛇にそそのかされても
 そのそそのかしに入るまい…
 大牙ある蛇にそそのかされても
 そのそそのかしに入るまい

 若有人離間呵。不要信。
 もし誰かが離間しようとしても、信じるな。

※仮定譲歩×2。総訳では一括して「若～呵」で訳。

161-162. § 177 (6-22L)
 必 輟延別^見 孛額速 斡斡泥 兀禄
 我 少 也 有 呵 多 行 不
 額^里兀^勒古 不列額 卯危別^見 孛額速
 教尋 有来 歹 也 有 呵
 撒亦泥 兀禄 額^里兀^勒古 不列額 必
 好 行 不 教尋 有来 我

bi cöyēn ber bö'esü olon-ni ülü
 eri'ülkü büle'ē maḡ'ūḡ ber bö'esü
 sayin-i ülü eri'ülkü büle'ē bi
 私は少なくあっても多くを
 求めさせなかった。悪くあっても
 良いのを求めさせなかった、私は。

 我雖少呵。也似多的般来。雖歹呵。也似好的般来。
 私はたとえ少なくとも、多いかのようにした。たとえ悪
 くても、良いかのようにした。

※仮定義×2。総訳では共に「呵」使用。

163. § 177 (6-23R)
 那闊額 乞魯古邊 ^中忽^中忽^見刺阿速
 第二 輟條自的 折了 呵
 nökö'e kilügü-bēn qugura'äsu
 一方の輻が折れれば

 一輻折了呵。
 一方の輻が折れれば、

※仮定義。総訳では「呵」使用。

164. § 177 (6-23R)
 那闊額 古^見兒都邊 ^中忽^中忽^見刺阿速
 第二 輪 自的 折了 呵
 nökö'e kürdü-bēn qugura'äsu
 一方の車輪が折れれば

 一輪壞了呵。
 一方の車輪が壊れれば、

※仮定義。総訳では「呵」使用。

165. § 177 (6-23L)
 額^見帖 兀都^見 客額速
 在 前 日 說 呵
^中忽^見兒察^中忽思不亦^魯黑 ^中罕 額赤格余延
 人名 皇帝 父 自的 行
 erte üdür ke'esü
 Qurčaquş-buyiruḡ qan ečige-yüyēn
 昔のことを言うのなら
 クルチャクス・ブイルグ皇帝なる自分の父の

 在前你的父^中忽^見兒察^中忽思不亦^魯黑皇帝
 以前あなたの父クルチャクス・ブイルグ皇帝は

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

166. § 177 (6-24R)
 古^見兒^中罕 阿巴^中合赤訥 赤馬都^見兒
 人名 叔叔 你的 你 行
 秣^見驪刺周 亦^見列額速 赤
 上馬 着 来 呵 你
 Gür qan abaga činu čimadur
 morilaḡu ire'esü či
 あなたのグル・カン叔父があなたの所に
 出陣して来ると、あなたは

 你叔父古^見兒^中罕来征你。你
 あなたの叔父グル・カンがあなたを討ちに来ると、あな
 たは

※時間義。総訳では「呵」不使用。

167. § 177 (6-24L)
 額赤格突^見兒 米訥 亦^見列額速 赤
 父 行 我的 来 呵 你
 田迭 鳴詰列^見論 … 阿不^見刺周 斡^見
 那裏 說 救 着 與
 ečige-dür minu ire'esü či
 tende ügülerün ... aburaḡu öḡ
 我が父の所に来るとあなたは
 そこで言うのに「… 救ってくれ。」

来我父根前求救。
 我が父の所に来て救いを求めた。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

168. § 177 (6-26R)

扯^舌里兀^楊 中忽余周 赤馬突^舌兒
軍 每 索 着 你 行

秣^舌驪刺周 亦^舌列額速 赤
上馬 着 来 呵 你

čeri'ūd guyuǰu čimadur

morilaǰu ire'ēsü čī

兵士達を求めてあなたの所に

出陣して来るとあなたは

借得軍馬。人来征你。你

軍馬、人を得てあなたを討ちに来ると、あなたは

※時間義。総訳では「呵」不使用。

169. § 177 (6-29R)

馬納^{中合}魯額^舌 兒迭^{中合} 中忽^楊都牙 客延
明 早 厮殺 咱 麼道

札撒^勳都周 中豁那阿速

共整治着 宿 呵

managaru erde qadqulduya keyēn

ǰasaldǰu qono'āsu

明くる朝戦おう、と言って

整え合って宿ったところ、

対応部分なし

※時間義。

170. § 177 (6-29R)

馬納^{中合}兒 額^舌兒迭 兀者額速
明 早 看 呵

managar erde ūje'ēsü

翌朝見ると

対応部分なし

※時間義。

171. § 177 (6-29L)

帖列格禿 阿馬撒^舌刺不坤 札^舌里木^楊 亦^舌兒堅
地名 口子 行 有的 一半 百姓

阿都温 亦啞筵 赤訥 倒兀里周 幹都阿速

頭口 喫 你的 擄 着 去 呵

Telegetü amasar-a bükün ǰarimūd irgen

adu'un ide'en činu daǰ'ulijū odu'āsu

テレゲトゥ口にいたあなたの大半の民、

馬群、食糧を奪って行くと、

将你帖列格禿有的百姓擄了一半。

あなたのテレゲトゥにいた民を大半奪った。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

172. § 177 (6-30L)

幹^竟抽 亦^舌列客額周 亦^舌列額速
與着 来 説 着 来 呵

ögčü ire ke'eǰü ire'ēsü

与え来たれ、と言って来たので

対応部分なし

※時間義。

173. § 177 (6-30L)

扯^舌里兀^楊 札撒周 亦列額速
軍 每 整治着 去 呵

čeri'ūd ǰasaǰu ile'ēsü

軍勢を整えて遣わすと

対応部分なし

※時間義。

174. § 177 (6-31R)

不古迭宜 阿不^舌刺周 幹古額速
都 行 救 了 與 呵

bügüde-yi aburaǰu ögü'ēsü

すべてを救って与えると

都救與了你。

すべてあなたに救い与えた。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

175-176. § 177 (6-31L)

中豁^牙里^舌 額薛亦^舌 列額速 那闊只宜 亦列
兩箇行 不曾 教来 呵 第二 行 教来

客額周 亦列額速

説着 去 了

qoyar-i ese ile'ēsü nököǰi-yi ile

ke'eǰü ile'ēsü

二人を遣わさないなら第二の人を遣わせよ、

と言って遣わすと、

使人説将来。

人をして言って来させた。

※ 175 = 仮定義、総訳には対応部分なし。176 = 時間義、

総訳では「呵」不使用。

177. § 178 (6-33L)

額朶額 可兀邊 兀者周 卯危 薛勳^勳乞額速
如今 子自的 行 看着 歹 想 呵

edö'e kö'ü-bēn ūjējū maḡ'ūj sedki'ēsü
今、自らの子を見て悪く思うならば

若見帖木真兒子害他呵。

もし子テムジンを見て彼を害するならば、

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

178. § 179 (6-35L)

必蒼納察 赤 中罕 孛客額速 額薛
咱 處 你 皇帝 做 說 呵 不曾

孛罷者 赤
肯做了也者 你

bidan-ača čī qan bol ke'ēsü ese
bolba-je čī

我々から、お前が皇帝になれ、と言うと、
肯んじなかったぞ、お前は。

咱每裏教你做皇帝。你不曾肯。

我々の中からお前に皇帝になれと言うと、お前は肯んじ
なかった。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

179. § 179 (6-35L)

赤 中罕 孛客額速 額薛 古
你 皇帝 做 說 呵 不曾 也

孛罷者 赤
肯做了也者 你

bidan-ača čī qan bol ke'ēsü ese kũ
bolba-je čī

お前が皇帝になれ、と言うと、また
肯んじなかったぞ、お前は。

教你做皇帝。你又不肯。

お前に皇帝になれと言うと、お前はまた肯んじなかった。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

180-182. § 179 (6-36R)

塔泥 中合楊 孛魯黑三 孛額速 幹孛歹因突^勳兒
您行 皇帝每 做了 有 呵 多 敵 行

阿勳斤赤 哈兀^勳中合黑 蒼阿速 騰格^勳理迭
頭哨 教奔 呵 天 行

亦協額^勳迭額速

被護助 呵

tan-i qad boluGsan bö'ēsü olon daḡyin-dur
alginči ha'ülGagda'āsu tenggeri-de
ihe'ēgde'ēsü

お前達が皇帝になったならば、多くの敵に
前哨として奔らせられれば、天に
加護されれば

対応部分なし

※仮定義×3。

183. § 179 (6-36L)

幹^勳刺阿 戈^勳劣額孫突^勳兒 兀禿^勳刺兀蒼阿速
野 獸 行 教出圍 呵

ora'a görö'ēsün-dür utura'ũlda'āsu
逃げ回る獣に先駆けさせられれば

対応部分なし

※仮定義。

184. § 183 (6-46R)

亦帖兼只 額^勳列延 幹魯阿速
倚仗 指望 得 呵

itegemji ere-yēn olu'āsu

信じられる男を得れば

若差一箇可倚仗的人来呵

もし信頼できる人を寄こして来れば

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

185. § 184 (6-48R)

王^中罕 鳴訥列^勳論 帖因 孛額速
人名 說 那般 有 呵

中合撒^勳兒 亦^勳列禿該
人名 教來者

Ong qan ügülerün teyin bö'ēsü

Qasar iretügej

オン・カンが言うには、そのようであるならば
カサルが来るように

王^中罕説。果那般呵。教^中合撒^勳兒来。

オン・カンが言うには、そのようであるならば、カサル
に來させよ。

※仮定義。総訳では「果～呵」使用。

186. § 184 (6-49L)

阿_ト抽 幹都阿速 中合撒_ト兒
 將着 去 呵 人名

abču odu'asu Qasar
 連れて行くと、カサルは

送與_{中合撒}兒
 カサルに送り

※時間義。総訳では「呵」不使用。

187. § 185 (6-51R)

中忽_ト兒班 雪泥_楊 中忽_ト兒班兀都_楊
 三 夜 三 日

不_ト勤_{中合}蒼_ト命 不赤周 擺亦巴速
 被廝殺時 圍着 立 呵

中忽_ト禿阿_ト兒 兀都_ト兒
 第三 日

Gurban sönid Gurban üdüd
 bulqağdarun büçijü bajıybäsu
 gutu'är üdür

三日三晩

防戦されるのを取り囲み陣立てると、
 三日目に

将王_{中罕}圍了。廝殺了三晝夜。至第三日
 オン・カンを囲み、三晝夜戦った。三日目に至り

※時間義。総訳では「呵」不使用。

188-189. § 185 (6-51L)

額朶額 兀窟_{中勤}額速 兀窟速 成吉思_{中合罕}納
 如今 教死 呵 死 太祖 皇帝行

莎余_ト兒_{中合}蒼_ト阿速 古出幹_{中速} 客額_原罷_{作別}
 被 恩賜 呵 氣力 與 說了

edö'e ükü'ülde'esü üküsi Činggis qahān-na
 soyurqağda'asu kücü ögsü ke'ebe
 今死なせられるならば死のう。チンギス皇帝に
 恩賜されるならば、力を与えましょう、と言った。

如今教我死呵便死。恩賜教活呵出氣力者。
 今私を死なせるならば死のう。恩を受け生かさされるなら
 ば力を貸しましょう。

※仮定義×2。総訳では共に「呵」使用。

190-191. § 185 (6-52L)

訥温可温 脱_ト列額速 … 幹勤可温 脱_ト列額速
 男兒 生 呵 女 孩兒 生 呵

nu'un kö'un töre'esü ... ökin töre'esü
 男兒が生まれれば … 女兒が生まれれば

対応部分なし

※仮定義×2。

卷七 (48例)

192-194. § 187 (7-3R)

幹樂 歹回 突_ト兒 哈兀魯阿速
 多 敵 行 奔 呵

幹_ト札幹魯阿速 幹魯_ト撒阿_ト兒 阿不_中楊_中渾
 財物得 呵 得了的依着 要您

兀_ト刺阿 戈_ト劣額孫 阿刺阿速
 野 獸 殺 呵

阿刺_ト撒阿_ト兒 阿不_中楊_中渾
 殺了的依着 要您

olon dajyin-dur ha'ulu'asu
 olja olu'asu olugsa'är abudqun
 ura'a görö'esün ala'asu
 alagsa'är abudqun

多くの敵に攻撃して
 財物を得れば、得たままに取れ。
 逃げる獣を殺せば、
 殺したままに取れ。

廝殺時搶得財物。打獵時得的野獸。都不許人分盡他要者。
 戦った時に奪い取った財物、狩りの時に得た獣は、誰も
 彼らに求めてはならない。

※192は時間義。193、194は仮定義。総訳では「呵」
 不使用。

195. § 188 (7-5L)

必 王_{中罕} 備由 客額速 兀禄 塔紉
 我 人名 有 說 呵 不 認

額薛 不失_ト列周
 不曾 信 着

bi Ong qan büyü ke'esü ülü tanin
 ese büširejü

私はオン・カンであるぞ、と言っても認めず、
 信じずに

自説我是王_{中罕}。哨望的人不信。
 私はオン・カンであると言ったが、斥候は信じず、

※譲歩。総訳では「呵」使用せず。

196. § 188 (7-7L)

不古迭宜 帖古思 鳴訥列周 斡古額速
都 行 全 說 着 與 呵

成吉思^中合罕 札^帖兒里黑 孛魯^帖翁
太祖皇帝 聖旨 做

bügüde-yi tegüs ügü'ēsü

Činggis qahān ĵarlig bolurun

すべてをすっかり言いやると、
チンギス皇帝が仰せになるには

都説了。太祖説。

すべて言うと、太祖が言うには、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

197. § 188 (7-8R)

額亦模 古温 額朶額 虔突^帖兒
這般 人 如今 誰 行

那可^帖額速 亦帖格^克迭古
做伴 呵 可倚仗

eyimü kü'ün edö'ē ken-dür

nököče'ēsü itegegdekü

このような人は今、誰に
伴となっても信じられようか

這等人如何教他做伴。

このような人をどうして伴としようか。

※讓歩。総訳では「呵」不使用。

198. § 189 (7-9R)

門 孛額速 塔亦牙 必答
是 呵 祭祀咱 咱

mun bö'ēsü tayiya bida

本物であれば祭ろう、我々は。

果然是呵。祭祀他。

正しければ、彼を祭ろう。

※仮定義。総訳では「果然～呵」使用。

199. § 188 (7-12R)

帖因 孛額速
那般 有呵

teyin bö'ēsü

そのようであるならば

那般呵。

そのようならば

※仮定義。総訳では「呵」使用。

200. § 190 (7-15R)

客額^勤都額速 斡斡 古温 鳴訥列^帖論
共説 呵 多 人 説

ke'ēldü'ēsü olon kü'ün ügülerün

話し合うと、多くの人が言うのに

與衆人商量。多説

大勢の人と相談すると、多くが言うのに

※時間義。総訳では「呵」不使用。

201. § 190 (7-15L)

阿米堆 孛額帖列 那可^帖列 中豁^帖里顏
活 有間 伴當行 箭筒自的行

阿^下答阿速

被要了呵

amiduj bö'etele nökör-e qor-iyān

abda'āsu

生きているうちに敵に矢筒を

取られれば

若生時被人将弓箭奪了呵。

もし生きている時に人に弓矢を奪われれば、

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

202-203. § 190 (7-16R)

脱^帖列^克先 額^帖列迭 兀窟額速
生了的 男子行 死 呵

塔乞 中豁^帖兒弩門 魯額邊 牙孫魯阿
也 箭筒 弓 一同自的行 骨頭一同

你刊捏 客^下帖額速 兀禄兀撒目備

一行 臥 呵 不 好有

töregsen ere-de ükü'ēsü

taki qor numun-lü'e-bēn yasun-lu'ā

niken-ne kebte'ēsü ülü'ü sayin büj

生まれた男子にとって、死ぬとしても

自分の矢筒、弓と、屍と

一緒に臥すならば、よくはないのか。

男子死呵與弓箭一處豈不好。

男子が死ぬとしても弓矢と一緒にならどうしてよくないだ
ろうか。

※ 202 = 仮定義讓歩、総訳では「呵」使用。203 は仮定義、
総訳では「呵」不使用。

204-205. § 190 (7-16R, 7-16L)

阿訥^中豁^中兒 阿不阿速 別^中兒客都兀 阿主兀
他的 箭筒 要呵 難麼 有幹都阿速 幹樂 阿都温 阿訥
去呵 多 馬群 他的

anu qor abu'āsu berked-ū'ū aju'ū

odu'āsu olon adu'un anu

彼らの矢筒を取るなら難しいことがあるか。

行けば、彼らの多くの馬群が

奪他弓箭何難。咱去呵他多馬群

彼の弓矢を奪えば何が難しいか。我らが行けば彼の多くの馬群が

※仮定義×2。総訳では204は「呵」不使用、205は「呵」使用。

206. § 192 (7-21R)

馬納^中合^中里 亦訥 必荅泥 暑漣 亦啞額速
明早行 他的 咱行 湯 喫呵

managar-i inu bidan-i šülen ide'esü

その翌朝我々が食事をとる時

至次日擡湯時。

翌日、汁を運ぶ時

※時間義。総訳では「時」使用。

207. § 193 (7-22L)

撒阿^中里客額^中里 古魯額速^中康^中合^中兒^中合訥
地名 行 到呵 山名 的帖^中里兀帖 乃馬訥^中合^中 [目+刺] 兀^中
頭 行 種名的 哨望的田迭 阿主兀
那裏 有來

Sa'āri-ke'er-i kürü'esü Qangar-qan-u

teri'ū-te Najman-u qara'ul

tende aju'ū

サアリ草原に着くと、カンガル山の

頂にナイマン族の斥候が

そこにいた。

至撒阿^中里客額^中里地面。遇着乃蠻在^中康^中合^中兒^中合^中山頭哨望的。

サアリケエルの地に着くと、ナイマン族がカンガル山の頂で見張っているのに遇い、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

208. § 193 (7-23R)

客^中兒 乞坤 客額^中都額速
怎 做 共說 呵

ker kikün ke'eldü'esü

どうすべきか、と言い合うと

対応部分なし

※時間義。

209-210. § 193 (7-24R)

中^中合^中楊^中忽^中都阿速 李^中勳^中忽由 客延
斃殺 呵 中麼有 麼道都^中刺^中楊^中合阿速 額捏 兀格宜 勺^中失耶周
提 說 呵 這 言語行 道是 着

qadquldu'āsu bolquī-ū keyēn

duradqa'āsu ene üge-yi jöbšiyejü

戦えばいいでしょうかと

提言すると、この言葉をよしとして

対応部分なし

※209 = 仮定義、210 = 時間義。

211-215. § 194 (7-26L × 4, 7-27R)

額朶額 必荅 中^中合^中禿敦巴^中刺阿速 中^中合^中察恢
如今 咱 相合了 呵 難的別^中兒客 李^中勳^中忽訥 中^中合^中禿敦巴^中刺阿速
難 做的麼 相合了 呵中^中合^中刺 你敦你顔 喜^中兒^中饑^中 兀禄 乞坤
黑 眼 自的 行 轉 不 做帖迭 中^中合^中察^中里顔 中^中合^中楊^中忽^中荅阿速
那的每 腮 自的 行 被【刺】 呵中^中合^中刺 赤孫 中^中合^中魯阿速 中^中合^中塔^中鄰^中
黑 血 出 呵 避兀該 中^中合^中堂斤 忙豁^中突^中兒 中^中合^中禿阿速
無 剛硬 達達 行 相合 呵李^中勳^中忽由
中麼有

edö'e bida qamtudun bara'āsu qagaçaquj

berke bolqun-ū qamtudun bara'āsu

qara nidün-niyēn hirmes ül kikün

tede qačar-iyān qadqugda'āsu

qara čisun garu'āsu qaltari(n)

ügej qatanggin MongGol-dur qamtudu'āsu

bolquī-ū

今我々が相手になってしまえば、離れるのが難しくならないか。相手になってしまえば自分の黒い目を瞬くこともなく、

自分の頬を刺されても
黒い血が流れても避けることの
ない剛直なモンゴル族に対し相手になるのは
よいだろうか。

人曾説達達每剛硬。眼上刺呵。不轉睛。腮上刺呵。不**越**
避。今若與他連兵。後必難解。
モンゴル族は剛直と言われる。目に刺されても瞬きせず、
頬に刺されても避けない。今もし彼らと兵を連ねれば、
離れ難くなるはずだ。

※すべて仮定義。総訳での対応状況は以下の通り：211
は「若～」、212 は対応部分なし。213、214 は「呵」使用。
215 は対応部分なし。

216. § 194 (7-28L)

古^古魯^魯纏^纏 中^中含^含禿^禿敦^敦 巴^巴刺^刺阿^阿速^速
相到 相合 了了 呵

kürülčen qamtudun bara'asu
ぶつかって相手になってしまえば

廝殺時
戦うならば

※仮定義。総訳では「時」使用。

217-218. § 194 (7-29R)

赤馬宜 額^額 只^只魯^魯格^格 牙荅恢宜 幾迭^幾先^先
你行 這般 心 不能的 行 知道了

孛^孛額^額速^速 中^中合^合敦^敦別^別兒^兒 古温 孛^孛額^額速^速 額客宜
有呵 娘子也 人 有呵 母行

赤訥 古^古兒^兒別^別速^速宜 阿^阿赤^赤刺^刺周^周
你的 母名 行 将来 着

čimayi eyin žirüge yadaquj-yi medegsen
bö'esü qadun ber kü'ün bö'esü eke-yi
činu Gürbesü-yi abčiraǰu

あなたがこのように心臆するのを知っていた
ならば、女の人であっても、あなたの母を
グルベスを連れて来て

早知道你這般呵。你母古兒**別**速。雖是婦人
あなたがこのようだを知っていたなら、あなたの母グル
ベスが、女ではあっても

※ 217 = 仮定義、総訳では「呵」使用。218 = 讓歩、総
訳は「雖是」使用。

219. § 195 (7-31R)

帖^帖因^因 孛^孛額^額速^速 中^中合^合楊^楊 忽^忽勒^勒都^都牙^牙 客^客額^額周^周
那般 有呵 廝殺咱 說着

中^中合^合池^池 兒^兒兀^兀速^速納^納察^察 歌^歌多^多勒^勒周^周 塔^塔米^米兒^兒 忽^忽魯^魯兀^兀
水名 水 行 動 着

teyin bö'esü qadquduya ke'eǰü

Qaçir-usun-ača ködölǰü Tamir huru'ü

そのようであるならば戦おう、と言って
カチル河から移動してタミル河を下って

您那般說呵。咱迎去與他廝殺。遂順塔米兒河
そのように言うならば、我々は迎えて彼と戦おう、と直
ちにタミル河に沿って

※仮定義。総訳は「呵」使用。

220. § 195 (7-31L)

客^客連^連 古^古兒^兒格^格額^額速^速
話 送到 呵

kelen kürge'esü
知らせを届けると

対応部分なし

※時間義。

221. § 195 (7-34R)

帖^帖迭^迭 朶^朶兒^兒邊^邊 那^那孩^孩思^思 客^客楊^楊 帖^帖迭^迭 客^客額^額速^速
那的每 四箇 狗每 誰每 那的每 說呵

tede dörben noqajs ked tede ke'esü
彼ら四匹の犬は誰々であるか、と言うと

対応部分なし

※時間義。

222. § 195 (7-35L)

塔^塔陽^陽 中^中罕^罕 鳴^鳴詰^詰列^列論^論 額^額列^列 帖^帖因^因 孛^孛額^額速^速
人名 皇帝 說 但 那般 有呵

Tayang qan ügülerün ele teyin bö'esü

タヤン皇帝が言うのには、そのようであるならば

塔陽說。似那般呵。
タヤンが言うのには、そのようならば、

※仮定義。総訳は「呵」使用。

223. § 195 (7-36L)

忙^忙中^中豁^豁里^里 兀^兀者^者額^額速^速
達達行 見 呵

Monggol-i üje'ēsü
モンゴル族を見れば

若見達達時。
もしモンゴル族を見れば、

※仮定義。総訳では「若～時」使用。

224. § 195 (7-37L)

中豁⁵兒⁵禿 古兀泥 中豁⁵脫刺宜 扎勒⁵吉阿速
帶弓箭的 人行 都 行 嚙 呵

qortu kü'ün-i qotola-yi jalgi'āsu
矢筒をつけた人を、全身をのみほしても

他将帶弓箭的全嚙呵。
彼は弓矢をもった人をのみほしても、

※仮定譲歩。総訳は「呵」使用。

225. § 195 (7-38R)

古⁵臣額⁵列宜 俺古額速
全 男子 行 吞 呵

kübč'in ere-yi emkü'esü
大の男をのみこんでも

吞一箇全人呵。
総身の人をのみこんでも、

※仮定譲歩。総訳は「呵」使用。

226-227. § 195 (7-38R)

阿兀¹⁵ 兒刺阿速 昂⁵忽阿 速木班 迭里周
怒¹⁵ 可¹⁵ 箭名 箭自的行 拽着

塔勒⁵必阿速
放 呵

a'ūrla'āsu Anggu'ā sumu-bān delijū
talbi'āsu

怒って自分のアングア矢を引いて
放てば

怒時將昂⁵忽阿的箭隔山射呵。
怒った時に (?) アングア矢を山の向こうに射れば

※ 226 = 時間義。総訳は「時」使用。227 = 仮定義。総訳は「呵」使用。

228. § 195 (7-38R)

客亦不⁵兒 速木班 迭里周 塔勒⁵必阿速
箭名 箭自的行 拽着 放 呵

Keyibür sumu-bān delijū talbi'āsu
自分のケーブル矢を引いて放てば

用客亦不見名的箭射呵。
ケーブルという名の矢を射れば、

※仮定義。総訳は「呵」使用。

229-230. § 195 (7-38L)

也客迭 迭里周 中合⁵兒⁵鑠阿速 也孫扎兀⁵
大行 找着 射 呵 九 百

阿勒⁵苔 中合⁵扎⁵刺 中合⁵兒⁵鑠由 塔壇 迭里周
度 地 行 射 有 減了 找着

中合⁵兒⁵鑠阿速 塔奔 扎兀⁵ 阿勒⁵苔
射 呵 五 百 度

中合⁵扎⁵刺 中合⁵兒⁵鑠由
地 行 射 有

yeke-de delijū qarbu'āsu yesün ja'ūd
alda gaĵar-a qarbuyu tatan delijū

qarbu'āsu tabun ja'ūd alda
gaĵar-a qarbuyu

大いに引いて射れば九百
尋の地まで射る。小さく引いて
射れば五百尋の
地まで射る。

大拽弓。射九百歩。小拽。射五百歩。
大きく弓を引けば九百歩を射る。小さく引けば五百歩を
射る。

※仮定義×2。総訳では「呵」不使用。

231. § 195 (7-39R)

塔陽⁵ 罕 鳴詰列⁵論 額列 帖因 孛額速
人名皇帝 說 但 那般 有 呵

Tayang qan ügülerün ele teyin bö'esü

タヤン皇帝が言うのには、そのようであるならば

塔陽說。若那般呵。
タヤンが言うのには、もしそのようならば、

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

232. § 195 (7-39L)

帖因 孛額速
那般 有 呵

teyin bö'esü

そのようであるならば

対応部分なし

※仮定義。

233. § 197 (7-46R)

赤 中合黒察阿^赤兒 幹都阿速
你 獨自 去 呵

či gačča'ār odu'āsu

お前が一人で行けば

你若先去呵。

お前がもし先に行けば、

※仮定義。総訳は「若～呵」使用。

234. § 197 (7-47L)

納牙阿答察 不速^揚 扯^赤里兀^揚 途^赤兒
名 處 別的每 軍 每 行

兀赤^赤刺阿速

遇着 呵

Naya'ā-dača busud čeri'ūd-tür

učira'āsu

ナヤアよりほかの兵士達に

遇ったならば

若不遇着納牙留住呵。

もしナヤに遇って留まっていなければ、

※仮定義。総訳は「若～呵」使用。

235. § 197 (7-47L)

中合罕 莎余^赤兒^中合阿速
皇帝 恩賜 呵

qahān soyurqa'āsu

皇帝がお許し下さるなら

若皇帝恩賜呵。

もし皇帝がお許し下さるなら、

※仮定義。総訳は「若～呵」使用。

236. § 197 (7-48R)

馬^赤里顏納察 阿撒^中忽阿速
皮膚 行 問 呵

mariyān-nača asagu'āsu

皮膚から問えば

問我皮膚

我が皮膚を問えば

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

237. § 197 (7-48R)

中合^赤里 亦^赤兒格訥 中合察^赤兒^中豁阿 幹乞
外邦 百姓 的 腮 美 女子

中合敦 中合^赤兒^中含撒^回 阿^黒騙* 兀赤^赤刺阿速
娘子 後勝 好的 騙馬 遇着 呵

(*原文では「戸」が「日」)

qari irgen-ü qačar Go'ā öki

qatun qarqam sayin ačta učira'āsu

外の民衆の頬の美しい娘、

婦人、尻節の良い騙馬に会えば

凡外邦得的美女好馬。

およそ外で得た美女、良馬は、

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

238. § 197 (7-48L)

額兀捏徹 不速 薛^揚乞^勸 米訥 孛額速
這箇行 別 心 我的 有 呵

e'ün-eče busu sedkil minu bö'ēsü

これより他の心があれば

除此之外。別有心呵。

これ以外に、別に心があれば、

※仮定義。総訳は「呵」使用。

239. § 197 (7-48L)

孛^勸罕 莎^赤里阿速 中忽闌^中合敦訥 幹赤^勸
審 試 呵 女名 娘子的 奏事

阿答里 孛^勸答周 成吉思^中合罕 中忽闌^中合敦泥
相似 被做着 太祖 皇帝 女名 娘子行

莎余^赤兒^中合周 塔阿刺罷

恩賜 着 愛了

bolgan sori'āsu Qulan qatun-nu öčil

adali boldaǰu Činggis qahān Qulan qatun-ni

soyurqaǰu ta'alaba

調べ試すと、クラン妃の奏言に

同じになられ、チンギス皇帝はクラン妃を

お許しになり寵愛した。

將忽闌試驗呵。果然不曾被汗。回此成吉思甚加寵愛。

クランを試すと、果たして汚されていなかった。そのためチンギス皇帝は寵愛した。

※時間義。総訳は「呵」使用。

卷八 (43 例)

240. § 198 (8-2R)

阿^忒来亦牙^忒兒 荅巴周 幹都阿速 乃馬訥
山名 越着 去 呵 種名的

古出魯^克 罕^罕
人名

Araǰ-iyār dabaju odu'āsu Najman-u

Küčülüg qan

アライ峠を越えて行くと、ナイマン族の
クチュルグ・カンは

踰阿^忒来嶺去。適乃蠻古出魯^克

アライ峠を越えて行くと、ちょうどナイマン族のクチュ
ルグは

※時間義。総訳は「呵」不使用。

241. § 198 (8-2L)

成吉思^中合罕 古^忒兒抽 擺亦^勒都阿速 脱^黑脱阿
太祖 皇帝 到着 對陣 呵 人名

Činggis qahān kürčü bajyildu'āsu Togto'ā

チングス皇帝が到着して対戦すると、トクトアは

成吉思至其地。與他廝殺。脱^黑脱阿

チングスがその地に到着して戦うと、トクトアは

※時間義。総訳は「呵」不使用。

242. § 199 (8-6L)

騰格^忒理 突^忒兒 中^合魯阿速
天 行 上 呵

tenggeri-dür garu'āsu

天に上れば

上天呵。

天に上れば、

※仮定義。総訳は「呵」使用。

243. § 199 (8-7R)

馬^勒塔周 中^合札^忒兒途^忒兒 幹^忒羅阿速
跑着 地 行 入 呵

maltaǰu gaǰar-tur oro'āsu

掘って地に入れば

鑽入地呵。

地に入り込めば、

※仮定義。総訳は「呵」使用。

244. § 199 (8-7R)

荅来突^忒兒 幹^忒羅阿速
海 裏 入 呵

dalaj-dur oro'āsu

海に入れば

走入海呵。

海に入れば、

※仮定義。総訳は「呵」使用。

245-248. § 199 (8-7L × 2, 8-8R × 2)

阿^黑驢 * 秃^忒倫巴^忒刺阿速 中^合亦^忒刺刺阿速
驢馬 瘦 了了 呵 愛惜 呵

兀禄 孛魯宜 古捏孫巴^忒蘭巴^忒刺阿速

不 中有 行糧 了了 呵

中^忽察阿速 兀禄 孛魯宜

省惜 呵 不 中有

(* 原文では「戸」が「日」)

aǰta turun bara'āsu qayirala'āsu

ülü boluyi künesün baran bara'āsu

quča'āsu ülü boluyi

驢馬が痩せてしまえばいつくしんでも

甲斐がないことだ。糧食が終ってしまえば
節約しても甲斐がないことだ。

対応部分なし

※ 245、247 = 仮定義。246、248 = 仮定譲歩。

249. § 199 (8-8L)

扯^忒里昆 古兀捏 古捏速捏 捏^幾額孫
軍 的 人 行 行 糧 行 添 助

汪格古顔 孛^勒秃^忒孩 客延 阿巴刺巴速

[土+魯] 蓋自的行 教做者 慶道 圍獵 呵

客^水列周 阿巴刺^中楊^中渾

限着 圍獵 您

čerig-ün kü'ün-e künesü neme'ēsün

önggegü-yēn boltugaǰ keyēn abalabāsu

kemleǰü abaladqun

兵の人のために食糧に足し、

助けになるように、と言って巻き狩りするなら
限って巻き狩りせよ。

若要^回獵做行糧呵。也要斟酌着。

もし獵によって食糧をなすならば、斟酌しなければなら
ない。

※仮定義。総訳は「若～呵」使用。

250. § 199 (8-8L)

帖因 札撒_勳都周 迓步阿速

那般 整治 着 行 呵

teyin ĵasaldūju yabu'āsu

そのように整えあって行けば

対応部分なし

※仮定義。

251. § 199 (8-9L)

脱_黑脱阿因 可兀的 中_合兒都_黑里顏

人名 的 子每行 手 自的行

幹_黑羅兀魯阿速 必丹 突_黑兒

被入 呵 俺 行

阿_下赤_黑刺塔刺 牙温備 田迭 塔

将来 直到 甚麼有 那裏 您

格_楊冲

棄了

Togto'ā-yin kō'ūd-i gar-dur-iyān

oro'ūlu'āsu bidan-dur

abčiratala ya'un būj tende ta

gēdkün

トクトアの子らを手に

入れれば、我らのところに

連れてくるまで何がある。そこでお前達が

(斬り)捨てよ。

将脱_黑脱阿子每拿住呵。就那裏殺了者。

トクトアの子らを捕えたならば、そこで殺してしまえ。

※仮定義。総訳は「呵」使用。

252-254. § 199 (8-10L)

必荅泥 額赤捏 别_黑兒 孛額速 亦列 箴圖

俺行 背處 也 有呵 對面 般

中_合羅别_黑兒 孛額速 幹亦_黑刺 箴圖

遠 也 有呵 近 般

薛_楊乞周 迓步阿速 迭額_黑列 騰格_黑理迭

想着 行 呵 上 天 行

别_黑兒 亦協額_克迭梅者 塔

也 被護助 有也者 您

bidan-i ečin-e ber bö'ēsü ile metü

qolo ber bö'esü oyira metü

sedkijü yabu'āsu de'ere tenggeri-de

ber ihe'ēgdemüj-je ta

我らを、陰にあっても面前のように、

遠くにあっても近いように

思って行けば、上なる天に

も加護されるぞ、お前たちは。

你雖離得我遠。如在近一般行呵。天必護助你。

お前が私から離れていても近くにあるが如く行けば、天

はお前を護るだろう。

※ 252、253 = 假定讓歩。254 = 假定義。252、253 は総訳では一括して「雖～」で訳。254 は総訳では「如～呵」使用。

255-256. § 200 (8-12R)

乃蠻 箴_黑兒乞的 木_中忽_楊 中_罕巴_黑刺阿速

種名 種名行 教窮極 呵

札木_中合 乃蠻 魯阿不_黑倫 田迭 兀魯昔顏

人名 種名 一同 有的 那裏 百姓自的行

阿_下荅阿速 門 塔奔那可_楊禿

被要了呵 他 五箇 伴當 有的

幹_黑兒察_黑 孛_黑額周

劫 做着

Naĵman Merkid-i muqudqaŋ bara'āsu

Ĵamuqa Naĵman-lu'ā būrūn tende ulus-iyān

abda'āsu mun tabun nōkōdtü

o'ōrčaŋ bolĵu

ナイマン族、メルキト族を滅ぼしてしまうと、

ジャムカはナイマン族と共にいて、そこで自分の民を

取られると、彼は五人の僚友をもつ

残賊になって

乃蠻箴兒乞。被成吉思收捕之後。札木_中合在乃蠻處。百姓也被陷了。只有五箇伴當。同做劫賊。

ナイマン、メルキトがチンギスに捕えられた後、ジャムカはナイマンの所におり、民も占領された。ただ五人の伴をもつ残賊となった。

※時間義×2。総訳では 255 は「後」使用、256 は「呵」不使用。

257. § 200 (8-13L)

札木_中合 那可_楊帖延 把_黑里周 亦_黑列_克迭周

人名 伴當每行 拿着 被来 着

中_合罕安荅荅 鳴訥列 … 客延 鳴訥列額速

皇帝 契合行 說 麼道 說 呵

… 成吉思_中合罕 札_黑兒里_黑 孛_黑魯_黑倫

太祖 皇帝 聖旨 做

Ĵamuqa nōkōd-teyēn barĵu iregdeĵü

qahān anda-da ügüle … keyēn ügüle'ēsü

… Činggis qahān ĵarlig bolurun

ジャムカは僚友達に捕まえ来られて
「皇帝なる盟友に言え、…」と言うと
…チンギス皇帝が勅するに、

札木^中合令人對成吉思說。…。成吉思說。
ジャムカは人をしてチンギスに「…」と伝えた。チンギ
スが言うには、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

258. § 200 (8-14R)

幹^平列額列 乞^勅昆^命察^周 阿阿速
一隻 車轅 共做 着 過呵
幹額^平兒迷赤連 中^合中^合滯 薛^楊乞木赤
別 做 分離 想 有 你

öre'ele kilgün bolu(n)lčaǰu a'āsu
ö'ērmičilen qaqačan sedkimü či
一方の轅になり合っていけば
別々に離れて考えるか、お前は

我先曾教你做一隻車轅。你分離去了。
私は先にお前に片方の轅とならせたが、お前は離れて行
った。

※仮定義。総訳では「呵」不使用。なお小沢 (1988: 64)
はこの部分の総訳について「忠実な訳文とは云えない」
と述べる。

259. § 200 (8-14L)

昂吉荅 遼^步阿速 完^勅澤^禿 中^忽禿^禿
外 行 呵 吉慶 吉慶有的

安荅米訥 不列額
契合 我的 有来

angcida yabu'āsu ö(n)lǰejitü
qutuǰtu anda minu büle'e
離れていたとしても、幸あり
福ある我が盟友であった。

雖另行。却是我有福有吉慶的安荅。
別に行ったとしても、我が福あり吉ある盟友である。

※仮定譲歩。総訳では「雖～」使用。

260. § 200 (8-15R)

幹額^平列 遼^步阿速 阿刺^勅都^中灰 兀都^平兒
別 行 呵 斃殺 的 日

ö'ere yabu'āsu alalduquǰ üdür
別に行っても殺し合う日には

対応部分なし

※仮定譲歩。

261. § 200 (8-15R)

客里 客額速
幾時 說呵

keli ke'ēsü
いつのことか、と言うと

対応部分なし

※時間義。

262. § 201 (8-16L)

鳴詰列額速 札木^中合 鳴詰列^平論
說 呵 人名 說

ügüle'ēsü Ĵamuqa ügülerün
(と) 言う、ジャムカが言うのに

既說罷。札木^中合說。
言い終え、ジャムカが言うのに、

※時間義。総訳は「呵」不使用。

263-264. § 201 (8-20R)

安荅 莎余^平兒^中合阿速 納馬宜 幹脫^平兒
契合 恩賜 呵 我行 疾快

那^亮扯額速 安荅 主^平魯格邊 阿木木者 赤
教過去呵 契合 心 自的 行 安有也者 你

anda soyurqa'āsu namayi ötör
nögče'ēsü anda Ĵürüge-bēn amumu-ǰe či
盟友が許させるなら、私を速やかに
去らせれば、盟友よ自分の心が休まるぞ、お前。

如今恩賜教快死呵。安荅得心安。
いま恩赦して早く死なせれば、盟友よ心休まるぞ。

※仮定義×2。総訳では一括して「呵」使用。

265. § 201 (8-20R)

赤速 兀禄 中^合平^兒中^罕 阿刺兀^勅兀窟周
血 不 教出 教殺 死着

格_ト帖額速
卧 呵

čisu ülü Gargan ala'ül üküǰü
kebte'ēsü
血を出さずに殺させよ。死んで
横たわれれば

倘又教不出血死呵。
もし血を出さずに死なせれば、

※仮定義。総訳は「呵」使用。

266. § 201 (8-21R)

納馬宜 幹脫^ㄊ見列禿該 客延 鳴詰列額速
我行 教疾快 者 麼道 說 呵
namayi ötörletügeĭ keyēn ügüle'ēsü
私を速やかにせよ、と言うと

対応部分なし

※時間義。

267. § 201 (8-21L)

兀窟兀魯牙 客額速 脫^ㄊ格突^ㄊ見 兀祿
教死 咱 說 呵 卦 裏 不
幹^ㄊ羅梅
入 有

ükü'ülüye ke'ēsü tölge-dür ülü
oromuĭ
死なせよう、と言っても占いに
入らない。

待教他死。占卜呵又不入。
彼を死なせよう、と占っても入らない。

※譲歩。総訳は「呵」使用。

268. § 201 (8-21L)

申^ㄊ塔安 兀該 阿民突^ㄊ見
緣故 無 性命 裏
中^ㄊ豁^ㄊ見 乞額速 兀祿 勺乞梅
害 做 呵 不 宜 有

ši(n)ta'an ügeĭ amin-dür
qor ki'ēsü ülü jökimuĭ
故なく命に
害をすればよろしくない。

無緣故不可将他害了。
故なく彼を害してはならない。

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

269-270. § 201 (8-22R)

額朶額 那可^ㄊ扯牙 客額速 兀祿 孛魯由
如今 做伴 咱 說 呵 不 肯 有

阿民 赤訥 中^ㄊ合亦^ㄊ刺阿速 額薛 孛^ㄊ罷 赤
性命 你的 愛惜 呵 不曾 做了 你
edö'ē nököčeye ke'ēsü ülü boluyu
amin činu qayira'asu ese bolba čü
今、僚友になろう、と言っても肯じない。
お前の命を惜しんでも肯じなかった。

如今教你做伴。你又不肯。雖欲愛惜你性命。也不能得了。
今お前を僚友としようとしたが、肯じない。命を惜しもうとしても、得られなかった。

※譲歩×2。総訳では「呵」不使用(270は「雖～」で訳)。

271. § 203 (8-28R)

孛^ㄊ幹^ㄊ見出 木^ㄊ合黎 帖^ㄊ里兀田 那牙的
人名 人名 等項 官人每行
亦^ㄊ列禿該 客額恢突^ㄊ見 格^ㄊ見朶脫^ㄊ刺
教【來】者 說的時 房 內
失吉^ㄊ中^ㄊ忽禿^ㄊ中^ㄊ忽 不列額 兀^ㄊ里^ㄊ刺^ㄊ幹^ㄊ楊
人名 有來 喚 去
客延 失吉^ㄊ中^ㄊ忽禿^ㄊ中^ㄊ忽 答 鳴詰列額速
麼道 人名 行 說 呵
失吉^ㄊ中^ㄊ忽禿^ㄊ中^ㄊ忽 鳴詰列^ㄊ論
人名 說

Bo'örču Muqali teri'üten noyad-i
iretügeĭ ke'ēküĭ-dür ger dotora
Šigi-qutuqu büle'ē urira od
keyēn Šigi-qutuqu-da ügüle'ēsü
Šigi-qutuqu ügülerün
ボオルチュ、ムカリをはじめとする長官達を、
来るように、と言う時、ゲルの中に
シギ・クトウクがいた。呼びに行け
とシギ・クトウクに言うと、
シギ・クトウクが言うのに

命失吉^ㄊ中^ㄊ忽禿^ㄊ中^ㄊ忽喚孛^ㄊ幹^ㄊ見出木^ㄊ合黎等去。失吉^ㄊ中^ㄊ忽禿^ㄊ中^ㄊ忽
説。
シギ・クトウクに命じてボオルチュ、ムカリらと呼ばひに
行かせた。シギ・クトウクが言うのに、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

272. § 203 (8-31L)

莎余^ㄊ見^ㄊ中^ㄊ合阿速 失^ㄊ羅埃 約兀^ㄊ見^ㄊ中^ㄊ合禿
恩賜 呵 土 墙 有的
巴刺^ㄊ中^ㄊ合速納察 幹^ㄊ克古宜 中^ㄊ合罕訥
城子每 處 與的 行 皇帝的
莎余^ㄊ見^ㄊ中^ㄊ合^ㄊ 麓迭禿該
恩賜 知 者

soyurqa'āsu širo'āi yo'ürgatu
 balagasun-ača ögkü-yi qahān-(n)u
 soyurqal medetügei

お許し下さるならば、土の壁をもつ
 城街（の一部）を与えることを、皇帝の
 恩賞を知るべし

 若恩賜呵。於土城内住的百姓與我。
 もし許されるなら、土の城街内に住む民を私に与えたま
 え。

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

273-274. § 204 (8-33L)

札兀^ト刺 蒙力^克 額赤格^回 格^ト兒途^ト兒
 路間 人名 父 的 家 裏

中^豁那阿速 蒙力^克 額赤格 赤 額薛
 宿 呵 人名 父 你 不

亦^揚合阿速 忽亦^命 不恢兀孫突^ト兒
 勸當 呵 漩* 有的 水 裏

忽刺^命不恢^中合^勸突^ト兒 幹^ト羅^黑苔埃
 紅 有的 火 裏 被入

不列埃者
 有来

(* 原文には「方」無し)

ja'ūra Münglig ečige-yin ger-tür
 qono'āsu Münglig ečige či ese
 idqa'āsu quyilun бүкүј usun-dur
 hulalun бүкүј qal-dur orogda'āi
 бүлө'өј-је

途中でムンリグ父のゲルで
 泊まった時、ムンリグ父よお前が
 勸止しなかったなら、渦巻いている水に
 赤く燃えている火に入れられた
 であろう。

 若不是你止當【呵】。幾乎陷入深水大火去了。
 もしお前が止めなかったならば、深い水、大きい火に陥
 って行っただろう。

※ 273 = 時間義、総訳には対応部分なし。274 = 仮定義、
 総訳は「若～呵（原文表記は『阿』）」使用。

275. § 205 (8-36R)

古^ト列延突^ト兒 古^ト魯額速
 圈子 裏 到 呵

küreyen-dür kürü'ēsü
 圈營に到り

対応部分なし

※時間義。

276-277. § 205 (8-36L)

帖兀^訥 中^豁亦^納 薛^揚乞^周 迓^步周 必
 那 的 後 想 着 行 着 我

別^勸古台^宜 亦^列周 那可^扯牙 客額速
 人名 行 教去着 做伴 咱 說 呵

赤 孛^闊秃^兒 中^晃中^豁里 兀^訥周
 你 拱脊 甘草黃馬行 騎着

孛^羅幹^兒 兒^幾格邊 孛^克秃^兒抽 那可^纏
 青 襪衫自的行 馱* 着 做伴

亦^列額速
 来 呵

(原文では「大」が「犬」)

te'ün-ü qoyin-a sedkiǰü yabuǰu bi

Belgüteǰ-yi ileǰü nököčeye ke'ēsü

či bökötür qonggor-i unuǰu

boro örmege-bēn bögtürčü nököčen

ire'ēsü

その後考えて行って私は
 ベルグテイを遣って「友となろう」と言う
 とお前は猫背の薄栗毛馬に乗って
 灰褐色の毛布を馬につけて友となり
 来ると

 在後我又喚你作伴。你不曾違了。
 その後私はお前を呼んで友とし、お前は離れたことがな
 かった。

※時間義×2。総訳では「呵」不使用。

278. § 205 (8-37R)

塔塔^ト兒 亦^ト兒堅突^ト兒 苔^蘭捏木^ト兒格思帖
 種名 百姓 行 地名 行

失秃額【列】^勸都周 中^豁那阿速
 共抗拒 着 宿 呵

Tatar irgen-dür Dalan-nemürges-te

šitü'ēleldüǰü qono'āsu

タタル族の民に対しダラン・ネムルゲスで
 対峙し合って泊まると

 我與塔塔兒於苔蘭捏木兒格思地面。相抗着宿時。

私がタタル族とダラン・ネムルゲスの地で対峙して泊ま
 った時、

※時間義。総訳では「時」使用。

279. § 206 (8-39L)

迭_ト薛古 撒_黒刺^ト兒 抹都納 保兀阿速
喜躍的 鬚鬆 木行 下呵

debsekü saġlar modun-a baŋ'ū'āsu
喜躍の繁れる木に下営した時

歡躍的鬚鬆下住時。

雀躍の繁れる木に下営した時、

※時間義。総訳は「時」使用。

280-281. § 207 (8-41R)

莊_ト尪魯阿速 騰格^ト理迭 薛_楊乞_ト突^ト兒
先兆是 做呵 天行 心裏

古^ト兒格_ト迭額速 納馬 中忽^ト噴^ト額^ト饒^ト思^ト禿
被到 呵 我行 三十箇 妻 有的

尪_ト合^ト
教做

jōng jōb bolu'āsu tenggeri-de sedkil-dür
kürgeġde'ēsü nama ġuġin emestü
bolġa

予言が当たれば、天によって心に
到らせられれば、私をして三十人の女達を持た
しめよ

先兆的言語若應呵。與我三十箇妻。

予言がもし当たれば、私に三十人の女を与えよ。

※仮定義×2。総訳では一括して「呵」使用。

282. § 208 (8-43L)

桑古迷 額薛 失^ト兒^ト合^ト黒^ト三 尪額速 黯巴^ト兒
人名 行 不曾 傷了 有呵 怎生

馬^ト合^ト尪^ト合^ト渾^ト 不列埃
莫不 做每 有来

Senggüm-i ese širqaġsan bö'ēsü yambar
maga bolqun büle'eġi

セングムが傷つかなかったならば、どのように
はてなることであったか

若射不中桑昆。也不知如何。

もしセングンに的中しなければ、如何になったであらう
か。

※仮定義。総訳は「若～」使用。

卷九 (51例)

283. § 209 (9-1R)

薛_楊 乞_ト克^ト先^ト突^ト兒 勺^ト里兀^ト勒^ト周 亦列額速
想了的 行 教指 着 教去 呵

sedkigsen-dür jori'ülju ile'ēsü
思ったところに向かわせ遣ると

凡教去處。

およそ行かせた所では、

※時間義。総訳は「呵」不使用。

284-286. § 209 (9-2R)

額迭 朶^ト兒^ト邊 曲魯兀的顏 迭^ト兒格迭延
這每 四 傑 自的行 根前 自的行

阿阿速 中合^ト楊^ト中忽^ト勒^ト都安 兀都^ト兒
存呵 斫殺的 日子

尪魯阿速 主^ト兒^ト扯^ト歹 中忽^ト亦^ト勒^ト荅^ト兒 中豁^ト牙^ト里
做呵 人名 人名 兩箇行

兀^ト魯兀^ト楊 忙^ト中忽^ト的^ト牙^ト關 兀^ト里荅安
種名 種名 自的行 前面自的行

擺亦兀魯阿速 不古迭 薛_楊乞_ト里顏 阿木^ト中忽
教立呵 都 心 自的行 安

不列額 必
有来 我

ede dörben külü'üd-iyēn dergede-yēn
a'āsu qadquldu'an üdür
bolu'āsu Ĵürġedeġi Quyildar qoyar-i
Uru'üd Mangġüd-iyār-ān urida'ān
bajyi'ūlu'āsu büġüde sedkil-iyēn amuqu
büle'e bi

これら四駿馬が我が傍に

いれば、戦いの日に

なっても、ジュルチェデイ、クイルダル二人を
ウルウド人、マンガド人と共に自分の前に
対陣させれば、すべてわが心は安らぐ
のであったぞ。

四傑隨從我。教主兒扯歹中忽亦勒荅兒在我前立。教我心
安有来。

四傑が私につき従えば、ジュルチェデイ、クイルダルを
我が前に立たせれば、我が心は安らぐのであった。

※ 284、286 = 仮定義。285 = 假定讓歩。総訳はいずれ
も「呵」使用せず。

287. § 211 (9-6R)

也孫 阿勒荅勒 阿勒荅阿速 額^ト列兀突^ト兒
九次 罰 罰 呵 罪 裏

不 幹^ト羅禿^ト中孩
休 教入 者

yesün aldal alda'asu ere'ü-dür
bū orotugaǰ
九つの罪を犯しても、罪に
入るまい

九次犯罪休罰者。
九度罪を犯しても罰するな。

※仮定譲歩。総訳は「呵」不使用。

288-291. § 213 (9-8L × 3, 9-9R)

巴撒 成吉思^中合罕 汪古^[舌]兒 保兀^舌兒赤苔
再 太祖 皇帝 人名 厨子 行

鳴詰列^舌論 … 額朶額 黯巴^舌兒 莎余^舌兒^中合勒
説 如今 甚麼 恩賜

阿^下忽 赤 客額額速 汪古^舌兒 鳴詰列^舌論
要 你 説呵 人名 説

莎余^舌兒^中合勒 莎汪^中忽兀魯阿速 巴牙兀^楊
恩賜 教揀呵 種

阿^中合迭兀 米訥 ^中合^舌里^中合^舌里
兄弟 我的 部落 部落

秃土^木突^舌兒 不^舌刺 塔^舌刺 備
每裏 漫散有

莎余^舌兒^中合【阿】速 巴牙兀^楊 阿^中合迭兀顏
恩賜呵 種 兄弟自的

赤兀^中合速^中孩 客額額速 者 帖因 巴牙兀^楊
教完聚我 説呵 應許 那般 種

阿^中合迭兀顏 赤兀^中合周 赤 篋迭 敏^中罕
兄弟自的 教完聚着 你 管 千戸

客延 札^[舌]兒里^黑 孛勒罷
麼道 聖旨 做了

basa Činggis qahān Önggür baı'ürči-da

ügülerün ... edö'ē yambar soyurqal

abqu či ke'ē'ēsü Önggür ügülerün

soyurqal songgu'ūlu'āsu Baya'ūd

aqa de'ū minu qari qari

tutum-dur bura tara būǰ

soyurqa'āsu Baya'ūd aqa de'ū-yēn

či'ūlgasugaǰ ke'ē'ēsü ĵe teyin Baya'ūd

aqa de'ū-yēn či'ūlgaju či mede mingan

keyēn ĵarlig bolba

またチンギス皇帝がオングル主膳に

言うのに … 今どんな恩賞を

取るか、お前は、と言うと、オングルが言うのに

恩賞を選ばせて下さるなら、バヤウド族の

我が兄弟が部落部落

ごとに散り散りになっている。

お許し下さるなら、バヤウド族の我が兄弟を

集めさせたまえ、と言うと、よし、そのようにバヤウド

族の兄弟を集めてお前が治めよ、千戸を、
と聖旨があった。

成吉思再對…汪古兒厨子説。… 如今你要甚麼賞賜。汪
古兒説。賞賜教揀呵。巴牙兀^楊性的兄弟每。都散在各部
落裏有。我欲要收集者。成吉思應許了。説你收集了做千
戸管者。

チンギスはまた…オングル主膳に言うのに、…いまお前
はどんな恩賞が要るか。オングルが言うのに、恩賞を選
ばせてくれるなら、バヤウド姓の兄弟達が各部落に散っ
ており、私は集めたい。チンギスは許して言うのに、お
前が集めて千戸となって治めよ。

※ 288、291 = 時間義。289、290 = 仮定義。289のみ総
訳で「呵」使用。

292. § 213 (9-9L)

塔^中豁牙^舌里 帖因 秃格額額速 米訥
您^中箇箇行 那般 給散呵 我的

^中豁幹来 兀禄 ^中忽臣 薛^楊乞勒 阿木由
喉嚨 不 瀟噎 心 安有

ta qoyar-i teyin tüge'e'ēsü minu

qo'ōlaj ülü qučin sedkil amuyu

お前達二人がそのように分け与えれば、私の
のどはつかえず心が安らかである。

你二人分…。教我心安。

お前達二人が…と分け、私の心を安らげる。

※仮定義。総訳では「呵」使用せず。

293. § 214 (9-13R)

撒亦 額^舌里兀^中勒孫 孛額速 田迭 撒兀
好 尋 的 有呵 那裏 坐

sayi eri'ülsün bö'ēsü tende sa'ū

良いものを求める者であれば、そこに座れ。

既是尋衣食の時。那裏坐。

衣食を求める者であれば、そこに座れ。

※仮定義。総訳は「既是～時」使用。

294-296. § 214 (9-14L, 9-15R × 2)

阿^中塔泥 哲台 者^中篋 ^中忽^舌兒班 可兀訥
婦人名 人名 人名 三箇 兒子的

阿民 阿不刺^黑三 主^中勒都 帖^中篋^中扯^中都額速
性命 救了 頭功 相争呵

哲台 者^中篋 ^中豁牙^舌兒 鳴詰列^舌論 馬泥
人名 人名 箇箇 説 俺行

兀該 孛額速 斡脫^兒 癸 [走 + 翼] 周 古^兒見抽
無 有呵 快 走 着 到着

額薛 阿刺阿速 阿^勒塔泥 額^斡古温
不曾 殺呵 婦人名 婦人

也琴不列額
怎地有來

Altani ĴeteĴ Ĵelme gurban kō'ūn-ū
amin aburaĴsan Ĵüldü temeĴeldü'ēsü
ĴeteĴ Ĵelme qoyar ügülerün man-i
ügeĴ bö'ēsü ötör güjyĴjü kürĴü
ese ala'āsu Altani eme kü'ūn
yēkin büle'ē

アルタニ、ジェテイ、ジェルメの3人が子の
命を救った第一の功績（が誰のか）を言い争うと、
ジェテイ、ジェルメの2人が言うのに、我々が
いなかったなら、すぐ走って着いて
殺さなければ、アルタニは女人、
どうであったらうか。

後阿^勒塔泥者歹者^斡斡三箇争頭功。者歹者^斡斡說。若不是俺來得疾。你一箇婦人。怎奈何何。

のちアルタニ、ジェテイ、ジェルメの3人が第一の功績
を争った。ジェテイ、ジェルメの2人が言うのに、もし
我らが来るのが早くなかったならば、お前は1人の女人、
どうできたであらう。

※ 294 = 時間義。総訳では「呵」不使用。295、296 =
仮定義。総訳では一括して「若〜」で訳。

297. § 214 (9-13R)

米訥 禱温 額薛 莎那速阿速 塔客^兒
我的 聲 不曾 聽的呵 你怎生

亦^兒 列坤 不列埃
來每 有來

minu daĴ'ūn ese sonosu'āsu ta ker
irekūn büle'ēĴ

私の声を聴かなかったなら、あなた方はどうして
来ただらうか。

你每不聽得我聲音呵。你每如何來。

あなた方が私の声を聴かなかったなら、あなた方はどう
して来たか。

※ 仮定義。総訳は「呵」使用。

298. § 214 (9-13L)

中合^兒 亦訥 塔塔周 乞禿^中孩 額薛
手 他的 扯着 刀子 不曾

阿^勒荅黑三 孛額速
脫了 有呵

gar inu tataĴu qitugaĴ ese
aldagsan bö'ēsü

彼の手を引いて刀が
落ちなかったならば

不是 … 扯落他刀子時。

…彼の刀を引き落とさなかったならば、

※ 仮定義。総訳は「時」使用。

299. § 214 (9-13L)

鳴話連巴^兒刺阿速 主^勒都 阿^勒塔泥因 孛^勒罷
說 了 呵 頭功 婦人名 的 做了

ügülen bara'āsu Ĵüldü Altani-yin bolba

言い終わると、第一の功績はアルタニのものになった。

這般論來。阿^勒塔泥得了頭功。

このように言うと、アルタンが第一の功績を得た。

※ 時間義。総訳は「呵」不使用。

300-301. § 214 (9-16R)

斡歌歹 速只阿速班 速木納 禿思荅阿速
人名 頂脉 自的行 箭行 被中呵

兀納阿速 孛^兒羅^中忽^勒
倒了呵 人名

ÖgödeĴ suĴi'āsu-bān sumun-a tusda'āsu
una'āsu Borogūl

オゴデイが頸脈を矢に当てられて
落ちると、ボログルは

斡歌歹項上中箭。孛羅兀^勒

オゴデイの首に矢が当たると、ボロウルは

※ 時間義×2。総訳ではともに「呵」不使用。

302. § 214 (9-17L)

也孫阿^勒荅^勒 阿^勒荅阿速 不 阿^勒荅禿^中孩
九次 罰 罰呵 休 罰者

yesün aldal alda'āsu bū aldatugaĴ

九回罪を犯しても罰するな。

九次犯罪。休要罰者。

九回罪を犯しても、罰するな。

※ 仮定義。総訳では「呵」不使用。

303-306. § 218 (9-22R)

脫幹^勳里^勳 鳴詰^論列^論 莎余^兒中^合阿速^速
 人名 說 恩賜 呵
 捏古思 阿^中合^合迭兀^兀 米訥^中合^合里^里禿屯^禿
 種 兄 弟 我的 部落 每裏
 不^勳刺塔^勳刺備^備 莎余^兒中^合阿速^速 捏古思^思
 漫 散 有 恩賜 種
 阿^中合^合迭兀^兀 余延^延 赤兀^勳中^合速^速中^中孩^孩
 兄 弟 自的 行 教 衆 我
 客額額速^速 成吉思^思中^合罕^罕 札^兒里^里黑^黑 李魯^魯勳^勳命^命
 說 呵 太祖 皇帝 聖旨 做
 帖因^因 李額速^速 捏古思^思 阿^中合^合迭兀^兀顏^顏
 那般 有 呵 種 兄 弟 自的 行
 赤兀^勳中^合周^周 赤 兀^魯魯^魯渾^渾 兀^魯魯^魯中^合
 教 聚 着 你 子孫的 子孫行
 古^勳兒帖^勳列^列 篋迭周^周 兀祿兀^兀 阿^中忽^忽
 直 到 管 着 不 有 麼
 客延^延 札^兒里^里黑^黑 李魯^魯罷^罷
 麼道 聖旨 做了

To'ōril ügüleriñ soyurqa'āsu
 Negüs aqa de'ū minu qari tutum
 bura tara büj soyurqa'āsu Negüs
 aqa de'ū yüyēn čiči'ülGasuga
 ke'e'ēsü Činggis qahān jarlig bolurun
 teyin bö'ēsü Negüs aqa de'ū-yēn
 čiči'ülGaŋu čiči uruG-un uruG-a
 kürtele medeju ülü'ū aq
 keyēn jarlig bolba
 トオリルが言うのに、お許し下さるならば、
 我がネグス部の兄弟が部落ごとに
 散っている。お許し下さるならば、ネグス部の
 我が兄弟を集めたい
 と言うとチンギス皇帝が勅するの
 そのようであるならばネグス部の兄弟を
 集めてお前が子子孫孫に
 到るまで治めてあらざるか
 と勅した。

 脫幹鄰說我的兄弟捏古思散在各部落内。我欲收集咱。成
 吉思許他收集。教他子孫世襲管着。
 トオリルが言うには、我が兄弟ネグスは各部落に散在し
 ている。私は集めたい。チンギスは彼が集めるのを許し、
 彼に代々受け継がせ治めさせた。

※ 303、304 (傍訳欠)、306 = 仮定義。305 = 時間義。
 いずれも総訳では「呵」使わず。

307. § 219 (9-23R)

納馬宜 兀出干 察^圖圖^圖 兒^兒 泰亦赤兀敦^敦
 我行 小 時 裏 種 名 的
 塔^兒 兒^兒中^中忽台^台乞^乞命^命禿^禿 阿^中合^合迭兀^兀迭^迭
 人名 兄弟 行
 乃亦塔周 把^兒里^里阿速^速
 嫉妒 着 拿 了 呵
 namayi üčügen čag-tur Tajyičiü'd-un
 Tarqutaj-kiru(n)ltug aqa de'ū-de
 najyitaŋu bari'āsu
 私が幼い時にタイチウド族の
 タルクタイ・キルルトウグ兄弟が
 妬んで捕えたところ

 我小時被泰亦赤兀種の塔兒忽台乞鄰^勳禿^禿兄弟每拿我時。
 私が小さい時タイチウド族のタルクタイ・キルルトウグ
 兄弟が私を捕えた時、

※時間義。総訳は「時」使用。

308. § 219 (9-25L)

額朶額 必 塔泥 莎余^兒中^合阿速^速 黯巴^巴兒^兒
 如今 我 您 行 恩 賜 呵 怎 生
 莎余^兒 兒^兒中^中合^合 塔阿刺渾 塔
 恩 賜 受 每 您
 edö'e bi tan-i soyurqa'āsu yambar
 soyurqal ta'ālaqun ta
 いま私がお前達を嘉賞するならば、どのような
 嘉賞を望むか、お前たちは。

 如今方賞賜您。您要甚麼賞賜。
 今お前を嘉賞しよう。お前たちはどんな嘉賞を望むか。

※仮定義。総訳は「呵」不使用。

309. § 219 (9-24R)

莎余^兒中^合阿速^速 嫩禿^禿 苔^兒兒^兒中^合刺速^速
 恩 賜 呵 營 盤 自 在 我
 soyurqa'āsu nuntug darqalasu
 嘉賞して下さるならば、居営地を自由にしたい。

 対応部分なし

※仮定義。

310-311. § 219 (9-25R)

塔^中豁牙^牙 兒^兒 薛^兒乞^乞 里顏^顏 鳴詰列^列坤^坤
 您 兩 箇 心 自的 行 說的 每
 李額速^速 都塔為班^班 中^中忽亦^亦渾^渾 李額速^速
 有 呵 缺少 自的 行 索的 每 有 呵

札兀^舌刺 古兀捏 不 客列列^楊坤
其間 人行 休 說 您

ta qoyar sedkil-iyēn ügülekün
bö'ēsü duta'üj-bān Guyiqun bö'ēsü
ja'ūra kü'ün-e bū keleledkün

お前達 2 人は、思うことを言うことが
あれば、足りないことを求めることがあれば、
間の人に言うなかれ。

対応部分なし

※仮定義×2。

312-313. § 219 (9-25L)

幹^勳札幹魯阿速 幹魯^黑撒阿^舌兒 阿不^楊中^渾渾
財得 呵 得的 依着 要 您

幹^舌羅阿戈^舌劣額孫 突^舌兒 阿把刺阿速
野獸 行 圍獵 呵

阿刺^黑撒阿^舌兒 阿不^楊中^渾渾
殺了的 依着 要 您

olja olu'āsu olugsa'ār abudqun
oro'ā görö'ēsün-dür abala'āsu
alagsa'ār abudqun

獲物を得れば得たままに取れ、
逃げまどう獣に巻狩りすれば、
殺したままに取れ。

得的財物。圍獵時得的野獸。都自要者。
得た財物、巻狩り時に得た獣は、すべて自ら取れ。

※仮定義×2。総訳ではともに「呵」不使用。

314-315. § 219 (9-26R)

莎^舌兒^中罕失^舌刺 客額額速 泰亦赤兀敦
人名 說 呵 種 的

脫迭格因 哈^舌闌 阿主為者 巴歹 乞失里^黑
人名 人口 有來也者 人名 人名

中^豁牙^舌兒 客額額速 扯^舌列訥 阿都兀臣
兩箇 說 呵 人名的 放馬 的

阿主為者
有來也者

Sorqan-šira ke'e'ēsü Tajıyıcı'ūd-un
Tödege-yin haran aju'üj-je Badaı Qišilig
qoyar ke'e'ēsü Čeren-ü adu'üčün
aju'üj-je

ソルカン・シラはと言うならタイチウド族の
トデゲの家人だったぞ。バダイ、キシリグの
2 人はと言うならチェレンの馬飼
いだったぞ。

鎖兒罕失刺是在前泰亦赤兀種的脫迭干家人。巴歹乞失里
黑是也客扯^舌連放馬的。

ソルカン・シラは以前タイチウド族のトデゲの家人だっ
た。バダイ、キシリグはイエケ・チェレンの馬飼いだっ
た。

※仮定義×2。総訳ではともに「呵」不使用。

316-317. § 220 (9-28R, 9-28L)

中^合你顏 中^合兒塔周 亦^舌列額速
皇帝自的 行 下手着 來 呵

圖^思中^合你顏 中^合兒塔^黑撒^楊 哈^舌闌 抹那
正主自的 行 下手的每 人 久

中^豁亦納 客^舌兒 亦帖格^克迭坤 額迭
後 怎 倚仗 每 這每

客額^克迭坤 客額主兀 中^合你顏
被說每 說了有 皇帝自的 行

帖^下臣牙苔罷 客額速
捨 不得了 說 呵

qan-iyān gartaıu ire'ēsü
tus qan-iyān gartaıgsad haran mönö
qoyina ker itegegdekün ede
ke'ēgdekün ke'ējü'ü qan-iyān
tebcin yadaba ke'ēsü

自分の王を手にかけて来れば、
『自分の王を手にかけて来た輩はこの
後どうして信頼できよう、こやつらは。』
と言われるだろう。」と言ったのだ。「自分の王を
見捨てかねた。」と言ったので

対応部分なし

※ 316 = 仮定義、317 = 時間義。

318-319. § 224 (9-33R, 9-33L)

額赤格顏 幹古^克先^中 忽必客失^克
父 自的 行 與了的 分子

孛額速 亦訥 别耶 中^合的牙^舌兒
有呵 他的 身子 獨自自的 行

幹魯^黑三 拙額^克先 額^舌列 阿^黑騙*
得了的 置了的 人口 頭正

客堆 孛額速 亦訥
幾多 有呵 他的

(* 原文では「戸」が「日」)

ečige-yēn ögügsen qubi kešig
bö'ēsü inu beye qad-iyār
olugsan jö'ēgsen ere agta
kedüj bö'ēsü inu
父の与えた分け前が

あれば、自分の体ひとつで
獲得した人、馬が
いくらかあれば、

対応部分なし

※仮定義×2。

320. § 224 (9-34L)

客失^克幹^舌羅兀^勒荅^中渾哈^舌關
宿衛 教入每 人

不^勒躡^舌里周 兀禄^字渾哈^舌關
趨避着 不肯的每 人

必荅^訥迭^舌兒格迭 迳^步【^中灰】班
咱的 根前 行的 自的 行

別^舌兒客失耶額速 不速^宜 幹^舌羅兀^勒周
作 難 呵 別的行 教入着

帖^舌列古兀泥 額^舌列兀列周 你觀^訥 額亦^控
那 人行 罪 着 眼的 背行

中^豁羅^中合札^舌刺 亦列【也】
遠地行 教入

kešig oro'ūldaquḥ haran
bultariju ülü bolqun haran
bidan-u dergede yabuquḥ-bān
berkešiye'ēsü busu-yi oro'ülju
tere kü'ün-i ere'üleju nidün-ü ečine
qolo ǰaǰar-a iley

当直に入れられるべき者、
避けてはならない者が
我々の傍らで仕えるのを
難とすれば、他の者を入れて
その人を罰して目の届かない
遠地に遣ろう

若宿衛時躲避不来者。別選人補充。將那人發去遠處。
もし当直の時に避けて来ない者は、別に人を選んで補充
し、その人を遠地に遣る。

※仮定義。総訳は「若～」使用。

321-323. § 227 (9-42R)

客失^克禿 古温 客失^克 豁阿^舌刺阿速 帖^舌列
護衛有的 人 班 脱了呵 那

客失^克 幹阿^舌刺三 客失^克禿^宜 中^忽兒班
班 脱了的 護衛的行 三

別^舌里額思 速亦^禿該 門 客失^克禿 巴撒
條子 教導者 只 扈衛有的 再

那闊額帖 客失^克 豁阿^舌刺阿速 朶羅安
第 次 班 脱了呵 七

別^舌里額思 速亦^禿該 巴撒 門 古温
條子 教導者 再 只 那人

別耶^中合^楊 厄別臣 兀該 客失^昆
身 體 病 無 班的

那牙^楊途^舌 兒 額耶 兀格兀 巴撒 門
官人每 行 商量 無 再 只

客失^克禿 中^忽兒班塔 客失^克 豁阿^舌刺阿速
扈衛有的 三 次 班 脱了呵

中^忽臣 朶羅安 別^舌里額思 莎余額^楊
三十 七 條子 教導了

kešigtü kü'ün kešig ho'āra'āsu tere
kešig o'āragšan kešigtü-yi Gurban
beri'ēs süyitügeḥ mun kešigtü basa
nökö'ēte kešig ho'āra'āsu dolo'ān
beri'ēs süyitügeḥ basa mun kü'ün
beye qad ebedčün ügeḥ kešig-ün
noyad-tur eye ügei'ü basa mun
kešigtü Gurban-ta kešig ho'āra'āsu
gučün dolo'ān beri'ēs söyü'ed

当番にある者が当番を怠れば、その
当番を怠った輪番兵を3
鞭戒めるよう。その輪番兵がまた
次の当番を怠れば、7
鞭戒めるよう。またその人が
体が病気でなく、当番の
長官達に相談なく、またその
輪番兵が3回当番を怠れば、
37鞭戒め、

若有合入班的人。不入者。答三下。第二次又不入者。答
七下。第三次無事故又不入者。答三十七下。
もし班に入るべき人で入らない者があれば、3度鞭を打
つ。二回目また入らない者は7度鞭を打つ。三度目事情
なくまた入らない者は37度鞭を打つ。

※仮定義×3。321は総訳では「若～」使用。322、323
は総訳では「呵」不使用。

324-326. § 227 (9-42L, 9-43R × 2)

額薛 莎那思^中合阿速 客失^兀敦 幹脱^古思
不曾 教 聽 呵 班 每 的 為 長 的 每

阿^勒荅^勒壇 字^勒禿^該 札^舌兒里^黑 莎那速^阿
罰 每 教 做 者 聖 旨 聽 了

不^舌命 荅巴阿速 札^舌兒里^中渾 約速^阿
有 越了呵 聖旨的 道理依着

客失^克 豁阿^舌刺阿速 客失^克田 阿^勒荅^勒壇
班 脱了呵 護衛的每 罰 每

字^勒禿^中孩
教 做 者

ese sonosqa'asu keši'ūd-ün ötögüs
aldaltan boltugaı ıjarlıg sonosu'ad
bürün daba'asu ıjarlıg-un yosu'ar
keşig ho'ara'asu keşigten aldaltan
boltugaı

聞かせなかったならば、当番の長老達が
罰せられるよう。勅を聞いて
いて破れば、勅の通りに
当番をしなければ、輪番兵達が罰せ
られるよう。

若不省會。則掌管有罪。既省會了有違了號令的。依前
例要罪者。

もし知らせなかったならば、管理する者に罪がある。知
らせたにも関わらず命令に背く者があれば、先例に従っ
て罰せ。

※仮定義×3。324は「若～」使用。325、326は「呵」
不使用。

327-329. § 227 (9-43L)

札撒_[黒] 款迭額速 納答只阿_[楊] 中渾
法度 動着呵 我行告您

抹闊_[石] 里兀_[勳] 坤 約速壇 孛額速 必答
合處斬的 理有的每 有呵 俺

抹闊_[石] 里兀魯_[楊] 者 你失_[黒] 答_[中] 渾
處斬也者 合打的每

約速壇 孛額速 客_[下] 帖兀_[勳] 周 你失_[楊] 者
理有的每 有呵 教 卧 着 打也者

jasag kōnde'ēsü nada jı'adqun
mökōri'ülkün yosutan bö'ēsü bida
mökōri'ülüd-je nişigdaqun
yosutan bö'ēsü kebte'üljü nişid-je

法に触れれば私に告げよ。
斬らせるべき理のある者がいれば我々が
斬らせるぞ。打たれるべき
理のある者がいれば臥させて打つぞ。

凡有罪的必奏聞了。將該斬的斬。該打的打。
およそ罪のある者は奏して来い。斬るべきは斬り、打つ
べきは打つ。

※仮定義×3。総訳では「呵」不使用。

330. § 227 (9-43L)

別_[石] 里額迭速 別_[石] 里額因 中合_[石] 里兀
條子打呵 條子的 回

別_[石] 里額古
條子也

beri'edēsü beri'e-yin qari'ü
beri'e-kü

鞭打てば鞭の返しには
鞭をこそ

用條子打的依舊教條子打他。
鞭で打った者は旧例通り鞭で打たせよ。

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

331. § 228 (9-45R)

中合_[石] 答納都思 敏_[中] 合里兀_[楊] 撒察温 孛_[勳] 周
在外的每 千戸每 同等每 做着

登格纏 米訥 客失_[克] 禿突_[石] 兒 客_[石] 列_[勳] 都額速
比肩 我的 護衛的每 關 毆 呵

敏_[中] 合里兀歹 古兀泥 額_[石] 列兀列牙
千戸的每 人行 罪 咱

gadanadus mingali'üd sača'ün bolju
denggeçen minu keşigtü-dür kereldü'ēsü
mingali'üdaı kü'ün-i ere'üleye

外にいる千戸達が同等となって
比肩し、我が近衛兵と争えば、
千戸の者達を罪としよう。

若在外千戸。與護衛散班做同等相争關呵。將_[石] 在外的千戸
要罪過者。

もし外にいる千戸が近衛日直兵と同等となって相争え
ば、外にいる千戸を罪とするぞ。

※仮定義。総訳では「若～呵」使用。

332. § 229 (9-46L)

暑漣 亦顛巴_[石] 刺阿速 … 塔阿_[石] 刺_[勳] 都禿_[中] 孩
湯 喫了呵 復 者

şülen iden bara'asu … ta'araldutugaı
朝餉を食べ終わったら… 戻るよう。

擡湯後。都入来依舊各管自的職事。
汁をとったら、皆戻って各自の職務を行うよう。

※仮定義。総訳では「後」使用。

333. § 229 (9-48R)

牙阿_[石] 闌_[勳] 客列田 哈_[石] 闌 雪泥 亦_[石] 列_[勳] 額速
急忙 言語每有的 人 夜 来 呵

客_[下] 帖兀_[勳] 突_[石] 兒 客列列周
宿衛 行 說 着

ya'ara(n)l keleten haran söni ire'ēsü
kebte'ül-dür kelelejü

急ぎの話のある人々が夜に来たら
宿直兵に話し、

若有急事來說。先見宿衛。
もし急ぎの用があって言いに来れば、まず宿直兵に会え。

※仮定義。総訳では「若～」使用。

卷十 (31例)

334. § 232 (10-5R)

温丹亦啞額泥 中豁^兒中豁^木撒 孛魯阿速
飲食行 費耗 做呵

荅魯^中合刺^黑荅^黑撒^楊 客^下帖兀列徹
提調的每 宿衛的行

額^兒里【也】
尋咱

undan ide'ēn-i qor qomsa bolu'āsu
darugalagdaqsad kebte'ül-eče
eriye

飲食物が乏しくなれば、
監督を任じられた宿直兵から
尋ねよ。

若有缺少。只問他要。
もし不足があれば、ただ彼に尋ね求めよ。

※仮定義。総訳は「若～」使用。

335. § 233 (10-6L)

必荅訥 別耶 扯^兒里^克 額薛 中合^兒魯阿速
咱的 身 軍 不 出呵

客^下帖兀^勛 必荅納察 昂吉荅 扯^兒里^克
宿衛 俺行 外 軍

不^中合^兒見^秃中孩
休出者

bidan-u beye čerig ese garu'āsu
kebte'ül bidan-ača angGida čerig
bū Gartugaj

我々の身が戦に出なければ、
宿直兵は我々から離れて戦に
出ないよう。

我不出征。宿衛的亦不許出征。
我らが出征しなければ、宿直兵もまた出征してはならな
い。

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

336-337. § 238 (10-12L)

成吉思^中合罕 莎余^兒中合阿速 阿^勛壇
太祖 皇帝 恩 賜 呵 金

不薛因^中豁^兒吉 荅察 阿^勛經額^勛翁
帶的 彊兒 每行 大紅 衣服の

忽^兒帖速捏徹 幹魯阿速 荅^下秃^兒阿^兒
碎裁 帛行 得呵 第五

可温 赤訥 孛^勛周 古出 幹^克速
子 你的 做着 氣力 與我

Činggis qahān soyurqa'āsu altan
büse-yin gorgid-ača al de'el-ün
hürtesün-eče olu'āsu tabdu'ār

kö'ün činu bolju küčü ögsü
チンギス皇帝がお許しくだされば、黄金の
帯の輪環から、真紅の衣服の
一片から得るならば、あなたの五番目の
子となって力を与えよう。

若得恩賜呵。願做第五子。
もし恩恵を与えられるならば、第五子となることを願わ
ん。

※仮定義×2。総訳では336は「若～呵」使用、337は
対応部分なし。

338. § 238 (10-13R)

亦都兀^楊 亦^兒列秃^該 客額周 亦列別速
人名 來者 説着 去呵

亦都兀^楊
人名

Idu'ūd iretügej ke'čju ilebēsü
Idu'ūd

イドウウドが来るように、と言って遣ると、
イドウウドは

対応部分なし

※時間義。

339. § 239 (10-14L)

秃^兒綿 乞^兒吉速^楊 突^兒 古^兒魯額^速
萬 種 行 到呵

乞^兒吉速^勛敦 那牙^楊 也迪 亦納^勛
種的 官人每名 名 名

tümen Kirgisūd-dür kürü'ēsü
Kirgisūd-ün noyad Yedi Inal

万のキルギス族に到ると、
キルギス族の長官達イエディ、イナル…は

至萬乞兒吉思種處。其官人也迪亦納_勳等。
万のキルギス族の所に到ると、その長官イエデイ、イナ
ルらは、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

340. § 240 (10-17L)

歹都_中忽_勳莎_中豁_勳【里】兀窟額速 額篋
人名 行 死了呵 妻
亦訥 孛脫_中灰塔_勳兒_中渾 禿馬_楊 亦_勳兒格泥
他的 婦人名 種 百姓行
篋迭周 阿主兀
管着 有来

Dajduqul-soqor-i ükü'ēsü eme
inu Botoquj-targun Tumad irgen-i
medejü aju'ü
ダイドゥクル・ソコルが死んで、彼の妻
ボトクイ・タルグンがトゥマドの民を
治めていた。

歹都禿_勳已死。其妻孛脫_中灰塔兒渾管着百姓。
ダイドゥクルはすでに死に、その妻ボトクイ・タルグン
が民を治めていた。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

341. § 240 (10-18L)

幹額孫 秣_勳驪闌 禿兀_勳兒必阿速
自己 上馬 要做呵
孛_勳兒出 木_中合黎 豁_勳牙_勳兒
人名 人名 兩箇

ō'ēsün morilan tu'ürbi'āsu
Bo'örču Muqali qoyar
自分で出馬しようとする
ボオルチュ、ムカリの二人は

欲親征。孛_勳兒出木哈里
自ら征伐しようとする、ボオルチュ、ムカリは

※時間義。総訳は「呵」不使用。

342. § 240 (10-19R)

只_勳魯格 牙荅阿速 你失_中忽牙 額_勳列突_勳兒
心 不能*呵 打的行 男子行
哈_勳兒班 木速_楊 兀_勳兒格兀_勳勒周
十 條子 教背着

(*原文は旁が「去」)

yada'āsu nišiqiq-a ere-dür
harban müsüd ürge'üljü

心臆せば、打つべく男子に
十本の細条を背負わせて

恐軍人畏懼不行。令人各背條子十根。
もし軍人が恐れて行かなければ、それぞれ細条を十本背
負わせよ。

※仮定義。総訳は「恐～」使用。

343. § 240 (10-19L)

阿峯刺 迭額_勳列 合_勳魯阿速
山 上 上 呵
a'ūla de'ere Garu'āsu

山上に出ると

行至山頂。下視…
山頂に到ると、下に…を見た。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

344-345. § 241 (10-21L)

成吉思_中合罕 篋迭周 槐因 亦_勳兒格訥
皇帝 知着 林的 百姓的
迓步荅_勳 中忽都_中合 篋迭木者 客額周
行動 人名 知有也者 說着
亦列額速 中忽都_中合別乞 巴撒
教去呵 人名 再

把_勳里_勳荅主兀 禿馬_楊 亦_勳兒格泥
被拿了有 種 百姓行
幹_勳羅兀倫巴_勳刺阿速 孛_勳羅_勳忽_勳倫
教入了呵 人名的

牙速訥禿_勳刺 札温 禿馬的 幹_勳罷
骨頭の上頭 百 種 行 與了
Činggis qahān medejü hoi-yin irgen-ü
yabudal Quduga medemü-je ke'ējü
ile'ēsü Quduga-beki basa
barigdaju'ü Tumad irgen-i
oro'ülun bara'āsu Borogul-un
yasun-u tula ja'ün Tumad-i ögbe

チンギス皇帝は知って、森の民の
ことはクドゥカが知っているぞ、と言って
遣ると、クドゥカ・ベキも
捕えられたのだ。トゥマド族の民を
降伏せしめ終えると、ボログルの
屍のために百のトゥマド族を与えた。

太祖得知。因_中忽都_中合別乞知林木中百姓動靜。所以使
將他去。也被他拿了。既收捕了禿馬_楊後。賞與了孛_勳羅
兀_勳勒一百禿馬_楊的百姓。

太祖は知って、クドゥカ・ベキが森の民の様子を知っているのを、彼を遣ったところ、また捕えられた。トゥマドを平定した後、ポログルに百のトゥマドの民を賞与した。

※時間義×2。344 は総訳「呵」不使用。345 は総訳「後」使用。

346. § 242 (10-23L)

額赤^中格牙^中 客額^中別速^中 孛斡^中兒出^中 木^中合黎^中
減 咱 說 呵 人名 人名

失吉^中忽禿^中忽^中 忽^中兒班^中 鳴話^中列^中論^中
人名 三 說

ečidgeye ke'ēbesü Bo'örčü Muqali

Šigi-qutuqu gurban ügülerün

処刑しよう、と言うと、ボオルチュ、ムカリ、シギ・クトゥク三人が言うには

太祖欲要廢他。孛斡兒出等三人對太祖說。

太祖が彼を廢そうとすると、ボオルチュら三人が太祖に言うには、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

347. § 244 (10-27R)

成吉思^中合阿納^中 莎歌^中都額速^中 成吉思^中合罕^中
皇帝行 跪告呵 太祖 皇帝

不速^中途^中兒^中 乞靈^中刺周^中 阿^中灰敦^中荅^中
別的每行 怒着 有中間

Činggis qa'an-a sögödü'ēsü Činggis qahān

busud-tur qilinglaǰu aqı dunda

チンギス皇帝に跪くと、チンギス皇帝は別のことに怒っている最中に

来告太祖。太祖正因他事怒間。

太祖に告げに来ると、太祖は正に他の事に怒っている最中に

※時間義。総訳は「呵」不使用。

348. § 244 (10-28R)

中合撒^中里^中 額薛^中 撚迭^中額速^中 箴迭^中額^中 兀該^中 備者^中
名行 不 掩襲呵 知 無 有也者

Qasar-i ese nende'ēsü mede'ē ügeǰ büj-je

カサルを襲わないならば、知見のないことである。

若不^中將^中合撒^中兒^中去了。事未可知。

もしカサルを排除しないなら、事はまだわからない。

※仮定義。総訳は「若〜」使用。

349. § 244 (10-28R)

中合撒^中里^中 把^中里^中刺^中 斡都^中阿速^中 古出^中
名行 拿 去呵 人名

闊闊出^中 豁牙^中 兒^中

人名 兩箇

Qasar-i barira odu'āsu Küčü

Kököčü qoyar

カサルを捕えに行くと、クチュ、ココチュの二人は

去拿^中合撒^中兒^中有古出等。

カサルを捕えに行くと、クチュ等は、

※時間義。総訳は「呵」不使用。

350. § 244 (10-28L)

雪泥迭^中 都鄰^中 約^中兒赤^中周^中 納闌^中
夜行 兼行 去着日

兀^中兒^中忽^中灰魯阿^中 古^中魯額速^中
纒出呵 到呵

söni-de dūlin yorčiǰu naran

urguquǰ-lu'ā kürü'ēsü

夜を徹して行って太陽が

登るとともに至ると、

連夜起行。日出時到中合撒^中兒^中處。正見太祖…

夜通し行って、日の出の時にカサルの所に着くと、太祖が…のを正に見た。

※時間義。総訳は「呵」不使用。

351. § 245 (10-34R)

莎^中 豁^中兒^中 額^中赤顏^中 亦列^中額速^中 阿失吉周^中
人名 使臣自的 行 教来呵 打着

迓^中步^中罕^中 亦列^中主兀^中

步行 教来了

Soqor elči-yēn ile'ēsü ašigǰu

yabugan ileǰü'ū

ソコル使者を遣わすと、打ち

歩いて帰りよこした。

対応部分なし

※時間義。

352. § 245 (10-34L)

不^平魯兀^平孛額速 納蠻赤闌 莎葛^揚
不是有呵 悔過 跪

buru'ū bō'ēsū namančilan sōgōd
過ちであるならば、悔悟して跪け

既不是。當伏罪。

過ちであるならば、罪を認めよ。

※仮定義。総訳は「既～」使用。

353. § 245 (10-35L)

必 幹額孫 中忽亦^平刺 幹都阿速 朶羅安
我 自己 索 去呵 七箇

[中] 見^中豁塔納 額^你迭徹 田迭徹 中合阿周
種 行 自這裏 自那裏 圍着

納蠻 赤刺兀^勳周
教 悔過着

bi ö'ēsün ɣuyira odu'āsu dolo'ān
Qongqotan-a ende-če tende-če qa'āju
namančila'ūlju

私が自分で求めに行くと、七人の
コンコタンにここからそこから囲み
悔悟させられて

対応部分なし

※時間義。

354. § 245 (10-36L)

抹那^中豁亦納 捏兀列^箴圖 別耶 赤訥
久 後 古樹 般 身 你的

捏古思 幹都阿速
倒 做呵

mōnō qoyina ne'üle metü beye činu
negüs odu'āsu

今後老大樹のようなお前の体が
倒れ行けば

対応部分なし

※仮定義。

355. § 245 (10-37R)

秃魯^箴圖 別耶 赤訥 秃^勳八思 幹都阿速
柱脚 般 身 你的 倒 去呵

tulu metü beye činu tulbas odu'āsu
大黒柱のようなお前の体が倒れ行けば

対応部分なし

※仮定義。

356. § 245 (10-38R)

客^平見巴 委亦列^揚都額速 赤 箴迭
怎也 做 呵 你 知

ker ba üjyiledü'ēsü čī mede

どのようにすれば（よいか）はお前が知れ

対応部分なし

※仮定義。

357-358. § 245 (10-39L, 10-40R)

莎^平鄰^勳都牙 客額速 兀禄 孛^平倫
共 試 咱 說呵 不 肯

阿^平見^中合刺周 格^下帖木 察^黑圖
使 見 識 着 卧 有 酌 中 有 的

那可^平見 阿主兀 客額速 蒙力^克
伴當 有來 說呵 人名

額赤格 兀^中合周 你^勳不速 阿^勳荅阿^揚
父 覺着 淚 墮了

鳴訥列^平論
說

sori(n)lduya ke'ēsü ülü bolun
argalaǰu kebtēmü čaɣtu
nökör aǰu'ū ke'ēsü Münglig
ečige uqaju nilbusu alda'ād
ügülerün

勝負しよう、と言っても承知せず、
わざと横になっている。つまりぬ
僚友である、と言うとムンリグ
父は覚って涙をこぼして
言うのに

今日纔與他比試。却卧着了。推辭不肯起。元來也是平等
的伴當。其父蒙力克覺了垂淚說。

今日ようやく彼と腕比べをしようとしたが横になり拒否
して起きようとしな。もとより普通の僚友である。そ
の父ムンリグは覚って涙を流して言うのに、

※ 357 = 讓歩、358 = 時間義。総訳ではともに「呵」不使用。

359. § 246 (10-43R)

哈^平刺 撒乞兀^平魯阿速 中忽秃阿^平見 雪泥
人 教 守 呵 第三 夜

兀都^平見 失^平刺荅
日 黄 行

hara saqi'ūlu'āsu gutu'ār söni
üdüür šira-da

人に守らせると、第三の夜
日の明ける頃

令人看守。至第三日**将晚**。
人に番をさせた。三日目の終わる頃に至り、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

360. § 246 (10-43R)

字^勅合**阿速** 馬【^中合】^傷帖^ト 亦訥
審 呵 實 巫名 他的

田迭 字^勅合**黑**苔罷
那裏 審 實了

bolgā'āsu maḡad Teb inu
tende bolgāgdaba
調べると、確かにテブは
そこに調べられた。

審視果然。

調べてみると案の定であった。

※時間義。総訳は「呵」不使用。

361. § 246 (10-44R)

塔訥 帖亦木 阿不^舌里 兀^中合^黑三 字^勅額速
您的 那般有的 德性 省了 有呵

tan-u teyimü aburi uqaḡsan bö'ēsü
汝のそのような性情をわかっておれば

若早知**您**這等德性。

もし早くに汝のそのような性情を知っていれば、

※仮定義。総訳は「若～」使用。

362-363. § 246 (10-44R, 10-44L)

馬納^中合^舌魯 鳴訥^列薛泥 兀迭石^石
早晨 說了的行 晚夕

忽^舌苔^魯阿速 兀迭因 鳴訥^列薛泥
解拆呵 晚夕的 說了的行

馬納^中合^舌兒 忽^舌苔^魯阿速 希^舌扯^列
明早 解拆呵 羞耻

馬^中合 客額^克迭古 額列
莫不 被說有麼 但

manaḡaru ügüleḡsen-i üdeši
hudaru'āsu üde-yin ügüleḡsen-i
manaḡar hudaru'āsu hičer-ē
maga ke'ēgdekü ele
朝言ったことを夕方
破られれば、夕方言ったことを

翌朝破られれば、恥すべきこと
ではないか、と言われるぞ

若早間說的話。**晚夕**改了。**晚間**說的話。早晨改了。莫不
被人言說呵羞耻。

もし朝に言った話を晩に変え、晩に言った話を朝に変え
れば、人に「恥ずかしい」と言われるぞ。

※仮定義×2。総訳では一括して「若～」使用。

364. § 246 (10-44L)

阿魯思 阿不^舌里顏 塔塔^黑三 字^勅額速
隔越 德性 自的 行 縮了 有呵

alus aburi-yān tataḡsan bö'ēsü
度を超える自分の性情を押さえたならば

対応部分なし

※仮定義。

卷十一 (48例)

365-366. § 248 (11-4L)

巴撒 扯^舌里【兀】^傷 札撒周^中合^舌兒^中合^舌阿速
再 軍 每 整治着 出去 呵

巴撒 忙^中豁刺 苔^舌魯^黑苔^魯阿速
再 達達行 被勝了呵

basa čeri'üd ĵasaĵu ḡarḡa'āsu
basa Mongḡol-a daruḡda'āsu
また軍勢を整えて出陣して、
再度モンゴル人に圧せられれば

若再與他廝殺不勝呵。

もしまた彼と戦って勝たなければ、

※ 365 = 時間義、総訳では「呵」不使用。366 = 仮定義、
総訳では「若～呵」使用。

367. § 248 (11-5R)

必苔納^中合^舌兒 忽^舌刺兀^舌魯阿速 兀祿^舌字^勅侖…
咱行 收 呵 不肯

兀祿那可扯坤
不肯做伴

bidan-a qura'ūlu'āsu ülü bolun ...
ülü nököčekün
我々が撤収しても、肯んぜず…
伴にならないだろう。

対応部分なし

※仮定譲歩。

368. § 248 (11-5R)
中合泥 莎余^{〔音〕}児^中合阿速
皇帝 恩賜 呵
qan-i soyurqa'āsu
皇帝がお許し下さるなら

対応部分なし

※仮定義。

369. § 248 (11-5R)
忙^中豁里亦出阿速 亦出^中合^黑撒訥 ^中豁亦納
達達行 退 呵 退 了 的 後 行
巴撒 不速 薛^楊乞^勦 必荅 田迭
再 別 想 咱每 那裏
額耶^勦禿^都者
商量 也者

Monggol-i ičü'āsu ičügagsan-u qoyina
basa busu sedkil bida tende
eyetüldüd-je
モンゴル人が退けば、退いた後に
また別の考えを我らはそこで
はかり合うのだ。

若退了軍時。咱那時再做商量也者。
もし軍が退いたなら、我らはその時またはかり合うのだ。

※仮定義。総訳は「若～時」使用。

370. § 248 (11-6R)
客延 都^{〔音〕}刺^楊中合阿速
麼道 提說 呵
keyēn duradqa'āsu
と提言すると

対応部分なし

※時間義。

371. § 249 (11-8R)
勺^{〔音〕}里周 古^{〔音〕}魯額速
指着 到 呵
joriju kürü'ēsü
目指して到ると

対応部分なし

※時間義。

372. § 249 (11-9R)
莎余^{〔音〕}児^中合阿速
恩賜 呵
soyurqa'āsu
お許し下さるなら

蒙恩賜時。
お許し頂けるなら

※仮定義。総訳は「時」使用。

373. § 251 (11-12L)
潼関阿馬撒^{〔音〕}刺 古^{〔音〕}魯額速 乞塔敦 扯^{〔音〕}里兀^楊
口子行 到 呵 契丹的 軍每
中合札^{〔音〕}児 客延 荅阿周 亦^{〔音〕}列罷^{原作伯}
地 麼道 當着 來了

Tunggvan amasar-a kürü'ēsü Qitad-un čeri'ūd
gajar keyēn da'āju irebe
潼関の口に至ると、金の軍勢が
「この地こそは」と言って耐えて来た。

成吉思至関。見金兵大至。
チンギスが関に到ると、金の兵が到るのを見た。

※時間義。総訳は「呵」不使用。

374-375. § 253 (11-18L)
主^{〔音〕}児扯敦 夫^中合訥宜 荅阿^{〔音〕}鄰 斡^楊抽
女真的 人名 行 經過 去着
夫^中合訥不^勦中合 薛^楊乞額速 哈兀魯^中渾
人名 反 想 呵 勦捕 您
額^勦薛額速
歸附 呵

Jürčed-ün Buqanu-yi da'arin odču
Buqanu bulga sedki'ēsü ha'üludqun
else'ēsü
女真のブカヌを經由して行き
ブカヌが敵対を考えるならば攻撃せよ、
帰順するならば

經過女真。若便歸附。
女真を經過し、もし帰順するならば、

※仮定義×2。総訳では374は対応部分なし、375は「若～」使用。

376-377. § 254 (11-21R)

捏兀列 箴圖 別耶 赤訥 捏古思 幹都阿速
大木 般 身 你的 傾 去 呵

捏楊客勒 箴圖 兀魯昔顏 客捏 格木 禿魯
麻穰 般 百姓 自的 誰 行 委 有 柱 脚

箴圖 別耶 赤訥 禿魯 巴思 幹都阿速 禿牙
般 身 你的 倒 去 呵 雀 羣

箴圖 兀魯昔顏 客捏 格木 脫^先列^克
般 百姓 自的 誰 行 委 有 生 了 的

朶^見邊 曲魯兀^楊 可兀都延 客泥 亦訥
四 箇 俊 傑 每 兒 子 每 自 的 誰 行 他 的

客額木
說 有

ne'üle metü beye činu negüs odu'āsu
nedkel metü ulus-iyān ken-e gēmü tulu
metü beye činu tulbas odu'āsu tuyal
metü ulus-iyān kene gēmü töregsen
dörben külü'üd kö'üd-ü'ēn ken-i inu
ke'ēmü

大木のようなお前の体が傾き行けば、
絡み草のような民を誰に委ねるか。柱
のようなお前の体が倒れ行けば、群雀
のような民を誰に委ねるか。生まれた
四人の俊馬の王子たちの、その誰を
と言うのか。

若一日倘有不諱。四子内命誰為主。
もしある日、仮に死が訪れれば、四子から誰を主に命じ
るのか。

※仮定義×2。総訳では一括して「倘～」使用。

378-379. § 254 (11-21L)

札^見里^黑 箴迭禿該 客延 幹赤額速
聖 旨 知 者 慶 道 奏 呵

成吉思^中合罕 札^見里^黑 孛魯^先命
太 祖 皇 帝 聖 旨 做

中合敦 別^見兒 古温 孛額速 也遂因
娘 子 也 人 有 呵 婦 人 名 的

兀格 拙別【徹】 勺^ト
言 語 是 上 是

jarlig medetügej keyēn öči'ēsü
Činggis qahān jarlig bolurun
qatun ber kü'ün bö'ēsü Yesüj-yin
üge jöb-eče jöb

お言葉が知るよう（勅を賜りますよう）と奏すると
チンギス皇帝が勅するのに、
女人であってもイエスイの
言葉は正しい上に正しい。

也遂婦人説。…可令眾人先知。太祖説。也遂説的是。
眾人にまず知らせるべきです、とイエスイ婦人は言った。
太祖が言うのに、イエスイの言葉は正しい。

※ 378 = 時間義、379 = 讓歩。総訳では 378 は「呵」不
使用、379 は対応部分なし。

380-381. § 254 (11-23R)

桓禿察周 赤馬荅 中合^先兒荅阿速 赫^先列該顏
賽 遠 射 着 你 行 被 勝 呵 大 拇 指 自 的 行

豁^黑脫^勒周 幹幹^先兒速^中孩 阿把^勒都周
割 断 着 丢 我 相 搏 着

赤馬荅 亦刺^黑荅阿速 兀納^黑三
你 行 被 勝 呵 倒 了 的

中合札^先刺察 不孛思速^中孩
地 行 休 起 者

hontučaju čimada garda'āsu heregej-yēn
hogtoljū o'ōrsugaj abaldujū
čimada ilagda'āsu unagsan
gajar-ača bū bossugaj

遠射してお前に劣れば、自分の親指を
切って捨てよう、組み合って
お前に負ければ、倒れた地から起き上がるまい。

我與你賽射遠。你若勝我時。便將我大指剝去。我與你賽
相搏。你若勝我時。倒了處再不起。
私がお前と遠射を競い、お前がもし私に勝てば、我が親
指を切り捨てよう。私がお前と組み合って、お前がもし
私に勝てば、倒れた地から再び起きるまい。

※仮定義×2。総訳ではともに「若～時」使用。

382-385. § 254 (11-25R)

主^先魯格捏徹 脫^先列^克先 額客余延
心 行 生 了 的 母 自 的 行

赤馬^楊中合阿速 赤納^先兒 亦訥 者乞^先兒抽
教 恠 呵 情 他 的 冷 着

札里^先刺兀^勒魯阿速 兀祿 孛里 客額里迭徹
教 息 呵 不 中 肚 皮 行

脫^先列^克先 額客余延 格木^先里兀^先魯額速
生 了 的 母 自 的 行 教 怨 呵

格訥額^先兒 亦訥 格思格額速 兀祿 孛里
怨 悔 他 的 消 呵 不 中

jürügen-eče töregsen eke-yüyēn
čimadqa'āsu činar inu jekirčü
jalira'ūllu'āsu ülü boli ke'ēli-deče
töregsen eke-yüyēn gemüri'ülü'ēsü
genü'er inu gesge'ēsü ülü boli
心から生まれた自分の母を

苛ませれば、彼女の心は冷えて、
和らげさせてもできない。腹から
生まれた自分の母を悲しませれば
彼女の悲嘆を消そうとしてもできない。

対応部分なし

※ 382、384 = 仮定義。383、385 = 仮定譲歩。

386-387. § 255 (11-28L)

阿馬阿[Ⓜ]兒 阿刺^黒三 阿赤阿速 兀禄
口 教 殺了的 馱*呵 不

李里 兀格額[Ⓜ]兒 兀窟兀魯^克先 兀^ト赤額速
中 言語教 死了的 剥 呵

兀禄 李里
不 中

(*原文では「大」が「犬」)

ama'ār alagsan ači'āsu ülü

boli üge'er ükü'ülügsen übči'ēsü

ülü boli

口で殺したものを積もうとしても
できない。言葉で死なせたものを剥ごうとしても
できない。

対応部分なし

※ 仮定譲歩 × 2。

388. § 255 (11-29L)

巴[Ⓜ]刺阿 也客 馬^中合来因 保里牙
形影 大 皮帽的 教訓

塔你兀魯阿速 李魯者
教認呵 中也者

bara'a yeke maqalaı-yin baqlıya

tani'ülu'āsu bolu-je

形の大きい冠の訓えを
わからせればよいでしょう。

可奉教訓。

教え論せばよい。

※ 仮定義。総訳では「呵」不使用。

389. § 255 (11-31R)

莎余[Ⓜ]兒^中合周 兀話列 客額^克迭額速
恩賜着 說 被說呵

牙兀班 鳴話列古 必 兀禄 赤荅^中忽
甚麼自的 行 說 我 不 能

客延 客[Ⓜ]兒 鳴話列古
麼道 怎 說

soyurqaju ügüle ke'ēgde'ēsü

ya'u-bān ügülekü bi ülü čidaqu

keyēn ker ügülekü

嘉して「申せ」と言われるならば、
何を言いましょうか、私は。「できません」
とどうして言いましょうか。

恩賜教説。我難説自己不能。

嘉して言わせるなら、私は「できない」と言い難い。

※ 仮定義。総訳では「呵」不使用。

390-392. § 255 (11-31L)

幹郎突[Ⓜ]兒 中忽赤阿速 忽客[Ⓜ]列 兀禄
青草裏 包裹呵 牛行 不

亦啞^克啞古 額兀坤 突[Ⓜ]兒 ^[中] 忽赤阿速
被 喫 脂膏 裏 包裹呵

那^中合牙 兀禄 亦啞^克啞古 脫[Ⓜ]列額速
狗行 不 被 喫 生 呵

öleng-dür quči'āsu hūker-e ülü

idegdekü e'ükün-dür quči'āsu

noqaj-a ülü idegdekü töre'ēsü

青草に包んでも牛に食べられ
ない、脂肉に包んでも
犬に食べられない(者)が生まれれば

対応部分なし

※ 390、391 = 仮定譲歩。392 = 仮定義。

393. § 255 (11-32R)

幹歌歹 額亦門 兀格思 鳴話列古
人名 這般每 言語每 說的

李額速 李魯者
有呵 中也者

Ögödej eyimün üges ügülekü

bö'ēsü bolu-je

オゴデイがこのような言葉を言う
ならば、結構であるぞ。

既如此説。中也者。

このように言うならば、結構であるぞ、

※ 仮定義。総訳では「既～」使用。

394. § 255 (11-32L)

者^舌見格迭徹 兀禄 捌刺亦壇 兀^舌見秃
 次序行 不 空 缺 長

察兀^舌見 察兀^舌刺周 幹^中豁^舌見 孛^中合
 征進 征進 着 短 斲殺

孛^中合周 幹^中速客延 鳴話列額速
 斲殺着 與我 麼道 說 呵

成吉思^中合罕 勺^下失顔
 太祖 皇帝 道是

ǰerge-deče ülü čolayitan urtu
 ča'ür ča'ūraǰu oqor bolga
 bolgaǰu ögsü keyēn ügüle'ēsü
 Činggis qahān jöbšiyēn

列から間を空けず、長い
 戦いを戦って、短い闘いを
 闘ってやろう、と言うと、
 チングス皇帝は是として

差去征戦時。即行。太祖説是。

戦いに赴く時はすぐに行く。太祖は是とし、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

395. § 255 (11-33R)

米訥 札^舌 見里^黒 不速 兀禄 孛^中罕
 我的 聖旨 別 不 做

額薛 忽塔^舌魯阿速
 不 毀了呵

minu ǰarlig busu ülü bolgan
 ese hutaru'āsu

我が勅を他とせず
 破らなければ

我言語不差。

我が言葉を違えるな。

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

396-398. § 255 (11-33L)

幹郎突^舌 見^中 忽赤阿速 忽客^舌列 兀禄
 青草 裏 包裹 呵 牛 行 不

亦啞^舌啞古 額兀坤突^舌 見^中 忽赤阿速
 被 喫 脂 膏 裏 包裹 呵

那^中合牙 兀禄 亦啞^舌啞古 脫^舌列額速
 狗 行 不 被 喫 生 呵

öleng-dür quči'āsu hūker-e ülü

idegdekü e'ükün-dür quči'āsu
 noqaj-a ülü idegdekü töre'ēsü

青草に包んでも牛に食べられ

ない、脂肉に包んでも

犬に食べられない(無能の者)が生まれれば

若幹歌歹子孫每都不才呵。
 もしオゴデイの子孫達が皆不才なら、

※ 396、397 = 假定譲歩、総訳では「呵」使用せず。398 = 假定、総訳では「若～呵」使用。

399. § 256 (11-35R)

巴^舌刺温^中合^舌見 孛^中合 秣^舌驪刺客額周
 右 手 做 上馬 説着

亦列額速 不^舌見^中 罕泥
 去 呵 人名 行

bara'ün gar bolun morila ke'eǰü
 ile'ēsü Burqan-ni

右手となって出陣せよ、と言って
 遣わすと、ブルカンが

做右手。不見罕

右手となれ。ブルカンが

※時間義。総訳では「呵」不使用。

400. § 256 (11-36R)

安都^舌兒 孛^中額^楊 客^中別思 勺^舌里周 亦列額速
 他 每行 便 翻 着 指着 去 呵

牙温 别^舌兒客秃 不列埃
 甚 難 有的 有来

andur bö'ēd kelbes ǰoriǰu ile'ēsü
 ya'ün berketü büle'eǰi

彼らに対しぞ逸れて目指し遣わせば
 何の難しいことがあろう。

徑去征他。也有何難。

ただちに彼を征伐に行くのにどんな難しいことがあろう。

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

401-402. § 256 (11-36R)

蒙客 騰格^舌理迭 翊協額^舌迭額速 阿^中壇
 長生 天 行 被 護 助 呵 金

只羅阿 巴秃荅 塔塔周 亦^舌列額速
 牽 胸* 堅固行 扯着 来 呵

(* 原文は上に「匈」、下に「月」)

müngke tenggeri-de ihe'ēgde'ēsü altan

ǰilo'a batuda tataǰu ire'ēsü

とこしえなる天に加護されれば、金の
 手綱を強く引いて来れば

若天祐護。回回處回来時。
もし天が加護されれば、サルタウルの地より戻ってくる時、

※仮定義×2。401 は総訳「若～」使用、402 は対応部分なし。

403. § 258 (11-42R)

客訥延 兀格額^兒 迓步^渾 巴 客延
誰的自的 言語依着 行 俺 麼道
幹赤周 亦列額速 成吉思^{合罕}
奏着 来 呵 太祖 皇帝

ken-ü-yēn üge'er yabuqun ba keyēn
öcǰü ile'esü Činggis qahān
誰の言葉に依って行くべきか我々は、と
奏して遣わせると、チンギス皇帝が

説…聴誰調遣。太祖
誰に従い派遣するか、と言うと、太祖は

※時間義。総訳では「呵」不使用。

404. § 259 (11-43R)

赤 必丹突^兒 捏亦列 客額周
你 俺 行 相合 説着
亦列額速 拖雷
去了 人名

či bidan-dur neyile ke'eǰü
ile'esü Toluǰ
お前は我々に合流せよ、と言って
遣わせると、トルイは

説…可来與我相合。此時拖雷
私に合流しに来るように、と言うと、この時トルイは

※時間義。傍訳、総訳とも「呵」不使用。

405. § 259 (11-43L)

額^勅臣 額捏 客連 古^兒格額速 拖雷
使臣 這 話 送到 呵 人名

elč'in ene kelen kürge'esü Toluǰ
使者がこの言葉を届けると、トルイは

対応部分なし

※時間義。

406. § 260 (11-44L)

保兀周 亦^兒列額速 成吉思^{合罕}
下着 来了 呵 太祖 皇帝
baṅ'ūju ire'esü Činggis qahān
下りて来ると、チンギス皇帝は

及回。太祖
帰ると、太祖は

※時間義。総訳は「呵」不使用。

407-409. § 260 (11-45L)

莎余^兒 合阿速 阿兀^勅札兀魯阿速 孛^勅忽由
恩 賜 呵 教 拜 見 呵 中有 麼

客延 幹赤額速 成吉思^{合罕}
麼道 奏 呵 太祖 皇帝
soyurqa'asu a'ulǰa'ulu'asu bolquǰ-ü
keyēn öcǰi'esü Činggis qahān

お許し下されば、謁見させればどうでしょう
と奏すると、チンギス皇帝は

説…可以着他来見。太祖
…彼に来させて会えばいかがでしょう、と言うと、太祖は

※ 407、408 = 仮定義。409 = 時間義。総訳ではいずれも「呵」不使用。

410. § 260 (11-47R)

馬泥 脫孛都^勅 那^勅豁的顏 秃^兒乞^兒抽
俺行 西番每 狗每自的行 唆 着

亦列額速
教去 呵

man-i töbödūd noqod-iyān tuqirčü
ile'esü
我々を、チベット犬（獵犬）どもをけしかけて
遣わせれば

将俺如西蕃狗般使去。
我らをチベット犬のように遣わせれば、

※仮定義。総訳では「呵」不使用。

411. § 260 (11-47R)

阿里 亦^兒堅 客額額速
那箇 百姓 説 呵

ali irgen ke'e'esü
どの人々を、と言うならば

対応部分なし

※仮定義。

412. § 260 (11-47L)

帖温突^舌兒 巴 阿牙刺速^中孩 客延
 那的每行 俺 征進咱 麼道
 幹赤額速^中合罕 莎幹^舌刺周
 奏呵 皇帝 解*釋着

(*原文は「角+羊」)

te'ün-dür ba ayalasugaĭ keyēn
 öči'ēsü qahān so'ōraĭu
 それに我々は征戦したい、と
 奏すると、皇帝はわかって

 說…可命俺那裏出征。太祖道是。
 …我々に命じそこに出征すべきである、と言うと、太祖
 は是とし、

※時間義。総訳は「呵」使用せず。

卷十二 (64例)

413. § 265 (12-1L)

兀不^勅 阿^舌兒不^中合因 幹樂^中忽刺的
 冬 地名 的 多 野馬行
 阿把刺阿速 成吉思^中合罕
 圍獵呵 太祖 皇帝

übül Arbuqa-yin olon qulad-i
 abala'asu Činggis qahān
 冬にアルプカの多くの野生馬を
 卷狩りすると、チンギス皇帝は

 冬間於阿兒不^中合地面圍獵。成吉思
 冬にアルプカの地で卷狩りすると、チンギスは

※時間義。総訳は「呵」不使用。

414-415. § 265 (12-1L)

中忽刺^楊 荅阿^舌里周 亦^舌列額速
 野馬每 經過 着 來 呵
 勺莎禿 [馬+孛]^舌 [馬+羅] 兀^舌兒古周
 馬名 驚 着

成吉思^中合罕泥 秣^舌驪納察 兀納阿速
 太祖 皇帝 行 馬 行 倒了呵

馬里牙班 馬石 額別^抽
 肌膚自的行 好生 疼着

qulad da'ariĭju ire'ēsü
 Ĵosotu-boro ürgüĵü
 Činggis qahān-ni morin-ača una'asu
 mariya-bān maši ebedčü

野生馬が近づいて来ると
 ジョソトゥ・ボロは驚いて
 チンギス皇帝は馬から落ちると
 自分の肌を大変痛めて

 為野馬所驚。成吉思墜馬跌傷。
 野馬に驚かされ、チンギスは馬から落ちて傷を負った。

※時間義×2。414は総訳に対応部分なし。415は総訳
 では「呵」不使用。

416. § 265 (12-1L)

中豁那阿速 馬納^中合^舌兒 也遂^中合敦
 宿呵 明早 名 娘子

qono'asu managar Yesüĭ qatun
 宿ると、翌朝イエスイ妃が

 下營。次日也遂夫人
 下營すると、翌日イエスイ妃が

※時間義。総訳は「呵」不使用。

417. § 265 (12-2R)

田迭 可兀^楊 那牙^楊 中忽^舌刺阿速
 那裏 大王每 官人每 衆 呵
 中晃^中豁塔歹 脫倫^舌扯^舌兒必
 種名 人名

都^舌刺^楊 中罕鳴^舌詰^舌列^舌論
 提 說

tende kö'üd noyad qura'asu
 Qongqotadaĭ Tolun-čerbi
 duradqan ügüleriin
 そこで子ら長官らが集まると
 コンコタン族のトルン・チェルビが
 提言して言うには

 於是大王并衆官人聚會。其中有脫倫議說。
 そこで王と長官達が集まった。その中でトルンが議して
 言うには、

※時間義。総訳では「呵」不使用。

418-420. § 265 (12-2L)

中合罕訥 馬^舌刺阿 薛^舌里兀都額速 巴撒
 皇帝的 肌膚 凉了呵 再

只池 秣^舌驪刺^楊者 必荅 客額額速
 却 上馬 也者 咱 說 呵

不^舌鄰可兀^楊 那牙^楊 額捏 兀格
 衆 大王每 官人每 這 言語

勺_ト失耶周 成吉思^中合罕納 斡赤額速
道 是 着 太祖 皇帝行 奏 呵

成吉思^中合罕 鳴訥列^舌論
太祖 皇帝 説

qahān-nu mara'ā seri'ūdū'ēsü basa

jiči morilad-je bida ke'e'ēsü

bürin kö'üd noyad ene üge

jöbšiyējü Činggis qahān-na öči'ēsü

Činggis qahān ügülerün

皇帝の肌が冷めたならば、また
更に出馬するのだ我々は、と言うと、
全ての子ら長官らはこの言葉を
是として、チンギス皇帝に奏すると、
チンギス皇帝が言うのに

説…待皇帝安了時。再来攻取。衆官人皆以為是。奏知成
吉思。成吉思説。

…皇帝が落ち着いたら再び攻め取りに来よう、と言うと、
長官達は皆是とし、チンギスに上奏した。チンギスが言
うには

※ 418 = 仮定義、総訳では「時」使用。419、420 = 時間義。
総訳では「呵」不使用。

421. § 265 (12-3R)

兀格 阿訥 兀^中合周 亦出阿速 孛魯者
言語 他的 省着 退 呵 中也者

üge anu uqaǰu ičü'āsu bolu-je

彼らの言葉を吟味して退けばよいだろう。

対応部分なし

※ 仮定義。

422. § 265 (12-3L)

秣^舌驪刺速 客延 ^中忽余周 亦列額速
上馬我 麼道 索着 去 呵

morilasü keyēn Guyūǰu ile'ēsü

出馬しよう、と頼みに行くと、

対応部分なし

※ 時間義。

423. § 265 (12-4R)

不^舌兒罕 突^舌兒 兀格 斡魯^勸察速 客延
人名 行 言語 折證 我 麼道

阿亦賽 客額周 亦列額速 不^舌兒罕

来也 説着 去 呵 人名

鳴訥列^舌論
説

Burqan-dur üge olulçasu keyēn

ayisaj ke'e'jü ile'ēsü Burqan

ügülerün

ブルカンに「言葉を確かめ合おう」と

来た、と言って遣わせると、ブルカンが

言うのに

対応部分なし

(我與你折證前言。不見罕説。

私はお前と前言を突き合わせよう。ブルカンが言うの
に、)

※ 時間義。

424-425. § 265 (12-4L)

額朶額 別^舌兒 孛額速 塔 忙^中豁^勸
如今 也 有 呵 您 達達

^中合^楊 ^中忽^勸都阿 速^舌兒抽 ^中合^楊 ^中忽^勸都速
斃殺 慣着 斃殺 我

客額額速

説 呵

edö'e ber bö'ēsü ta Monggol

qadquldu'ā surču qadquldusu

ke'e'ēsü

今であつてもお前達モンゴル人が

戦いに慣れ、戦おう

と言うならば

要與我斃殺時。

私と戦おうとするならば、

※ 424 は讓歩で総訳に対応部分なし、425 は仮定義で総
訳は「時」使用。

426. § 265 (12-5R)

阿^勸壇 蒙昆 阿兀^舌刺孫 塔巴^舌兒 客^舌列^光禿
金 銀 段 疋 財物 可用的

孛額速 額^舌里^中合牙 額^舌里折兀宜 勺^舌里^中渾
有 呵 寧夏 西涼 行 指着 您

altan münggün a'ūrasun tabar keregütü

bö'ēsü Eri-qaya Eri-je'ū-yi joridqun

金、銀、緞子、財物に用がある

ならば、エリ・カヤ、エリ・ジェウを目指せ

要金銀段疋時。你往西涼来取。

金、銀、緞子が要るならば、西涼に取りに來い。

※仮定義。総訳では「時」使用。

427. § 265 (12-5R)

額捏 兀格宜 成吉思^中合罕納 古^舌児格額速
 這 言語行 太祖 皇帝行 送到 呵

成吉思^中合罕 馬^舌里牙 ^中合刺温 阿^舌侖
 太祖 皇帝 肌膚 熱 有時

鳴詒列^舌論
 說

ene üge-yi Činggis qahān-na kürge'ēsü
 Činggis qahān mariya qala'un arun
 ügülerün

この言葉をチンギス皇帝に届けると
 チンギス皇帝は肌が熱くある時に
 言うのに

将前言説與成吉思。成吉思説。

前の言葉をチンギスに言うと、チンギスが言うのに

※時間義。総訳は「呵」不使用。

428. § 267 (12-10L)

亦魯^中忽宜 ^中合^舌児荅周 不帖額罷^{原作} 客延
 人名 行 下手着 完備了 麼道

幹赤額速 成吉思^中合罕
 奏 呵 太祖 皇帝

Iluqu-yi gardaju büte'ēbe keyēn
 öči'ēsü Činggis qahān

イルクに手を下し終えた、と
 奏すると、チンギス皇帝が

対応部分なし

※時間義。

429. § 267 (12-11R)

阿^舌児不^中合^舌回 ^中忽刺^楊 阿把刺阿速
 地名 的 野馬 圍獵 呵

額別都^克先 馬^舌里牙
 疼了的 肌膚

Arbuqa-yin qulad abala'āsu
 ebedügsen mariya

アルブカの野生馬を巻狩りした時
 痛んだ肌が

因圍獵墜馬。

巻狩りによって馬から落ちた。

※時間義。総訳では「呵」不使用。

430. § 270 (12-17R)

幹樂古温 虔別^舌児 孛額速 可兀都延
 多 人 誰 也 有 呵 兒子自的

阿^中合宜 阿牙刺兀^勤禿^中孩
 長 行 教 征 進 者

olon kü'ün ken ber bö'ēsü kö'üd-ü-yēn
 aqa-yi ayala'ültugai

多くの人は誰であっても自分の子らの
 兄を長征させよ。

都教長子出征。

みな長子を出征させよ。

※讓歩。総訳は「呵」不使用。

431-432. § 270 (12-17L)

可兀敦阿^中合 阿牙刺阿速 扯^舌里^克 阿^舌児賓
 兒子的 長 征進 呵 軍 廣盛

^中合^舌児^中忽 扯^舌里^克 幹樂 孛魯阿速 赤^舌来
 出去的 軍 多 做 呵 顏色

迭額^舌列 古出帖耶 逐歩由
 高 氣力有的 行 有

kö'üd-ün aqa ayala'āsu čerig arbin
 garqu čerig olon bolu'āsu čirai

de'ere küčütej-e yabuyu

子らの兄が長征すれば、兵が多く
 出陣するだろう、兵が多くなれば、士気が
 高まり力強く進むだろう。

長子出征呵。則人馬衆多。威勢盛大。

長子が出征すれば、人馬が多く意気が盛んになる。

※仮定義×2。総訳では431は「呵」で訳、432は対応部分なし。

433. § 270 (12-18R)

帖迭 乞^舌零刺阿速 幹額^舌侖 蔑薛都^舌里顏
 那的每 怒了 呵 自己 器械裏自的行

兀窟坤 亦^舌児堅
 死的每 百姓

tede kilingla'āsu ö'er-ün mese-dür-iyēn
 ükükün irgen

彼らは怒れば自分の刀にて
 死ぬ人々である。

対応部分なし

※仮定義。

434. § 271 (12-19L)

察阿歹阿^中合宜 勺_ト失耶額速
 人名 兄 行 道 是 呵
 Ča'adaǰ aqa-yi jǒbšiye'ēsü
 チャアダイ兄が是とされるならば

 対応部分なし

※仮定義。

435. § 271 (12-20R)

額耶禿周 亦列額速 察阿歹阿^中合 勺_ト失耶周
 商量着 去 呵 人名 兄 道 是 着
 eyetjü ile'ēsü Ča'adaǰ aqa jǒbšiyeǰü
 相談しに遣るとチャアダイ兄は是として

 対応部分なし

※時間義。

436. § 272 (12-21R)

脫_勅格赤捏 脫_勅格列兀魯額速 乞塔_楊
 ト人行 教 ト 呵 契丹
 亦^[1] 見格訥 中合札^見 兀速訥 額者_楊 中罕_楊
 百姓的 地 水的 主 每 帝每
 tölgeč'in-e tölgele'ülü'ēsü Qitad
 irgen-ü Gaǰar usun-u eǰed qa(n)d
 占い師に占わせると、「金国の
 人々の地、水の主ら、神らが…」

 命師巫ト之。言乃金國山川之神。
 占い師に占うよう命じると、言うのに、「金国の山川の
 神が…」

※時間義。総訳は「呵」不使用。

437-438. § 272 (12-21L)

客延 阿必_楊刺阿速 兀禄塔_勅必^見關 都列_楊
 廢道 ト 呵 不 放 愈
 禿^見兒古捏 阿荅刺梅 兀^見魯^中渾古兀捏徹
 緊 行 作 崇 有 親 的 人 行
 孛_勅 中忽由 客延 阿必_楊刺阿速 中合罕
 中廢有 廢道 ト 呵 皇帝
 你敦延 捏額周 兀孫 中忽余周 兀兀周
 眼自的行 聞着 水 索着 飲着
 keyēn abidla'āsu ülü talbiran düled
 türgün-e adalamuǰ urug-un kü'ün-eče
 bolquǰ-ü keyēn abidla'āsu qahān
 nidün-yēn ne'eǰü usun Guyuǰu u'ūǰu

と占っても、和らぐず、ますます
 厳しく崇っている。「親族の人からが
 よかろうか」と占うと、皇帝は
 目を開いて水を求めて飲んで

ト之不從。其病愈重。惟以親人代之則可。疾少間。忽開
 眼索水飲。

占っても従わず、その病はますます重くなった。「親族
 を以て代えればよかろう。」少しするとにわかに目を開
 け水を求めて飲み、

※ 437 = 讓歩、438 = 時間義。総訳ではともに「呵」不使用。

439-442. § 272 (12-22R, 12-22L × 3)

不速 牙温 別^見兒 勺里阿 幹古耶 客延
 別 甚 也 替身 與 咱 廢道
 阿必_楊刺阿速 都列_楊禿^見兒格捏 只兀^見兒篋迭梅
 ト 呵 愈 緊 行 愈 甚 有
 兀^見魯^中渾 古兀捏徹 孛_勅 中忽由 客額額速
 親 的 人 行 中 廢 有 說 呵
 塔_勅必^見刺梅 額朶額 札^見兒里_黑 篋迭木 者
 放 慢 有 如 今 聖 旨 知 有 也 者
 客延 幹赤額速 札^見兒里_黑 孛_勅魯^見倫 迭^見兒格迭
 廢道 奏 呵 聖 旨 做 根 前
 可兀迭徹 虔備 客額速 拖雷 可温
 大 王 處 誰 有 說 呵 人 名 大 王
 迭^見兒格迭 不列額 鳴詰列^見論
 根 前 有 來 說

busu ya'un ber joli'a ögüye keyēn
 abidla'āsu düled türgen-e j'i'ürmegdemüǰ
 urug-un kü'ün-eče bolquǰ-ü ke'e'ēsü
 talbiramuǰ edö'e jarlig medemü-ǰe
 keyēn öči'ēsü jarlig bolurun dergede
 kö'üd-eče ken büǰ ke'e'ēsü Toluǰ kö'ün
 dergede büle'e ügülerün

他の何かを替わりに与えたい、と
 占うと、更に厳しくひどくなる。
 親族からならよかろう、と言うと
 鎮まった。今お言葉が知るのみ、
 と上奏すると、お言葉があるに、傍らに
 王子のうち誰がいるか、と言うと、トルイ王子が
 傍らにいた。言うのに、

許以諸物禳之皆不從。只要親人代之。幹歌歹說如今我根
 前有誰。當有大王拖雷說。

諸物を捧げてお祓いしたが従わず、ただ親族だけがこれ
 に代わった。オゴデイが「今我が傍らに誰がいるか。」
 と言うと、そこにいたトルイ王子が言うのに、

※時間義×4。総訳ではいずれも「呵」不使用。

443. § 272 (12-23L)

額朶額 中合罕阿中合顔 赤馬宜
 如今 皇帝 兄自的行 你行

阿荅阿速 必
 失了呵 我

edö'ē qahān aqa-yān čimayi

alda'āsu bi

今皇帝なる兄を、汝を
 失えば、私は

如今若失了皇帝哥哥呵。我

いまもし皇帝なる兄を失えば、私は

※仮定義。総訳は「若～呵」使用。

444. § 272 (12-23L)

中合罕阿中合 米訥 勺 額薛 李魯阿速
 皇帝兄 【我】的 是 不 做 呵

qahān aqa minu jōb ese bolu'āsu

皇帝なる兄がお亡くなりになれば

対応部分なし

※仮定義。

445. § 272 (12-24R)

李額思 主格^見額速 主格^見堅 兀速
 師公 誚 呵 誚 水

拖雷 可温 兀兀罷^{原作伯}

人名 大王 飲了

bö'es jüger'ēsü jügergen usu

Toluĭ kō'ün u'ūba

神巫が呪うと、呪った水を
 トルイ王子は飲んだ。

師巫取水呪説了。拖雷飲畢。

神巫が水を取って呪うと、トルイは飲んだ。

※時間義。総訳は「呵」不使用。

446. § 276 (12-32L)

不^見里宜 不^見侖 客額額速 巴禿荅 鳴詰列
 人名 行 有呵 説 呵 人名 行 説

Būri-yi būrūn ke'e'ēsü Batu-da ügüle

プリをば、と言え、バトに言え。

対応部分なし

※仮定義。

447-449. § 277 (12-33L × 2, 12-34R)

中合罕泥 莎余^見 中合阿速 中合罕 古余^途 途^見 見
 皇帝行 恩賜 呵 皇帝 人名 行

乞^零刺周 阿木 客額^侖 委亦列備由
 怒 着 有 野外的 事 有

巴禿荅 土失周 亦列額速 孛^勅 忽由 客延
 人名 行 委付着 去 呵 中 麼 有 麼 道

幹赤額速

奏 呵

qahān-ni soyrqa'āsu qahān Güyüg-tür

qilinglaĭu amu ke'er-ün üjyile büyü

Batu-da tüšijü ile'ēsü bolquĭ-u keyēn

öči'ēsü

皇帝がお許し下されば、皇帝はグユクに
 怒っているが、外のことである。

バトゥに任せて遣ればいいのではないか、と
 上奏すると、

対応部分なし

※ 447、448 = 仮定義。449 = 時間義。

450. § 278 (12-38R)

雪泥 牙阿^勑 勑 客列圖 古温 亦^見列額速
 夜 忙 言語有的 人 来 呵

sōni ya'āral keletü kü'ün ire'ēsü

夜いそぎの話がある人が来れば

対応部分なし

※仮定義。なお第 278 節は、10 葉にわたるモンゴル語
 本文部分に対し、総訳は 2 行しかない。

451. § 278 (12-40R)

必荅訥 別耶 扯^里 里^克 額薛 中合^魯 魯阿速
 咱 的 身 軍 不 曾 出 呵

bidan-u beye čerig ese garu'āsu

我々の身が軍に出なければ

対応部分なし

※仮定義。

452. § 278 (12-44R)

客失^克 幹^羅 中灰突^見 豁阿^勑 刺阿速
 班 入 的 時 脱 了 呵

kešig oroquĭ-dur ho'āra'āsu

当直に当たる時に怠れば

対応部分なし

※仮定義。

453. § 278 (12-44R)

那闊額帖 客失_克 豁阿_舌刺阿速

第二次 班 脱了呵

nökö'ete kešig ho'ara'asu

二回目当直を怠れば

対応部分なし

※仮定義。

454. § 278 (12-44R)

中忽塔阿_舌兒塔 客失_克 豁阿_舌刺阿速

第三次 班 脱了呵

guta'arta kešig ho'ara'asu

三回目当直を怠れば

対応部分なし

※仮定義。

455. § 278 (12-44L)

不古_揚刊 客失_克 豁阿_舌刺阿速

點視 班 脱了呵

bügüdken kešig ho'ara'asu

点検せず当直を怠れば

対応部分なし

※仮定義。

456. § 278 (12-45R)

客失_克田 客失_克 豁阿_舌刺阿速

護衛 班 脱了呵

kešigten kešig ho'ara'asu

輪番兵が当直を怠れば

対応部分なし

※仮定義。

457. § 278 (12-45R)

客失_克帖捏 額薛 莎那思_中合阿速

護衛行 不曾 教聽呵

kešigten-e ese sonosqa'asu

輪番兵に聞かせなかったならば

対応部分なし

※仮定義。

458-460. § 278 (12-45L)

札撒_黑 欵帖額速 必荅納 札阿禿_中孩

法度 動呵 咱每行 告者

兀窟兀_勒迭古 約速禿 孛額速 必荅

可教死的 理有的 有呵 咱每

抹闊_舌里兀魯_揚者 客薛額_克迭古 約速禿

斬 也者 可懲戒的 理有的

孛額速 必荅 雪余_揚者

有呵 咱每 教導也者

jasag kunte'esü bidan-a ja'atugaj

ükü'üldekü yosutu bö'esü bida

mököri'ülüd-je kese'egdekü yosutu

bö'esü bida söyüd-je

法に触れれば我々に告げるよう、

死なせる理をもつ者がいれば我々が

斬らしめるぞ、懲戒されるべき理をもつ者が

いれば我々が教え諭すぞ。

対応部分なし

※仮定義×3。

461. § 278 (12-46R)

中合_舌兒闊_勒 古_舌兒格額速

手脚 到呵

gar köl kürge'esü

手足を到らせれば

対応部分なし

※仮定義。

462. § 278 (12-46L)

米訥 客失_克田突_舌兒 客_舌列_勒都額速

我的 護衛行 闕殿呵

minu kešigten-dür kereldü'esü

我が輪番兵に殴りかかれば

対応部分なし

※仮定義。

463. § 279 (12-47L)

阿^中合 迭兀 斡^斡額^斡列 阿^黑駟^{*}
兄 弟 【多】 軍 馬

客^失克^田 赤兀魯阿速 温丹 帖^斡列
護衛 聚 呵 飲 那

土屯 亦^斡兒格捏徹 客^斡兒 忽^中下赤^黑蒼^中灰
每 百姓 處 怎生 可科斡

(* 原文は「戸」が「日」)

aqɑ de'ū olon ere aɡta
keʂigten či'ūlu'āsu undan tere
tutun irgen-eče ker ɡubčigdaquj
兄弟、多くの軍、馬、
輪番兵が集まる時、飲物はその
たびに人々からどうして徴發できようか。

諸王駟馬等聚會時。每每於百姓處科斡不便當。
諸王や駟馬等が集まる時、その都度人々から徴發するの
はよろしくない。

※時間義。総訳は「時」使用。

464. § 279 (12-48R)

巴撒 阿^中合 迭兀 赤兀魯阿速 斡^斡里格
再 兄 弟 聚 呵 賞

莎余^斡兒^中合斡^斡幹古耶
賜 與 咱

basa aqa de'ū čiči'ūlu'āsu öglige
soyurqal ögüye
また兄弟が集まれば、施物
賜物を与えよう。

対応部分なし

※仮定義。

465. § 279 (12-48L)

敏^中合斡^斡 敏^中合蒼察 嫩^斡兀臣 亦^斡合周
千 每 千 每 行 管 營盤的 選揀着

中^中合斡^斡兒^中合阿速 斡^斡忽由
出 呵 中 廢 有

mingad mingad-ača nuntu'ūčün ilqaju
garga'āsu bolquj-ū
千戸、千戸より居當地番を選び
出せばよいであろう。

可於各千戸内選人教做。
各千戸より人を選んでやらせればよいだろう。

※仮定義。総訳は「呵」不使用。

466-467. § 279 (12-49R, 12-49L)

兀魯昔牙^斡兒 兀禄 必秃不倫 札米牙^斡兒
百姓 依着 不 教 沿 着 站 依着

哈兀^斡中^中合阿速 斡^斡忽由 額迭 委亦列昔
教 呵 中 廢 有 這 事 每 行

察乃 斡^斡合蒼^斡兒 斡^斡豁牙^斡兒 兀^中合周
人名 人名 兩箇 省 着

必蒼納 都^斡刺^斡中^中合阿速 勺^斡阿^中忽由
俺 行 提說 呵 是 有 廢

客延 薛^斡乞周
廢道 想着

ulus-iyār ülü bitü'ülün jam-iyār
ha'ülga'āsu bolquj-ū ede üiyiles-i
Čanai Bolgadar qoyar uqaǰu
bidan-a duradqa'āsu jöb aquj-ū
keyen sedkiǰü

民衆の所に立ち寄らせず、駅を経て
奔らせればよいだろう。これらの諸事を
チャナイ、ボルガダル2人が省察して
我々に提言したので、よいだろうか
と

須要乘坐站馬。不許沿百姓處經過。這幾件事因察乃斡
中^中合蒼兒對我提說。我想來也可行。

必ず駅馬に乗り、民衆の所を經過することは認めない。
これらの事をチャナイ、ボルガダルが私に提言したので、
私はよいだろうと考えて、

※ 466 = 仮定義、467 = 時間義。総訳ではともに「呵」
不使用。

468-470. § 279 (12-49L)

勺^斡斡^斡灰 斡^斡額速 勺^斡失耶額速 察阿歹
宜 有 呵 道 是 呵 人名

阿^中合察 斡^斡秃^斡孩 客額周 亦列額速
兄 行 做 者 說 着 教 去 呵

察阿歹阿^中合
人名 兄

joqiqui bö'esü jöbšiy'e'sü Ča'adaǰ
aqa-ča boltugaǰ ke'eǰü ile'e'sü
Ča'adaǰ aqa

適切であるならば、是とされるなら、チャアダイ
兄より宜しく做せ、と言って遣ると
チャアダイ兄は

対応部分なし

※ 468、469 = 仮定義。470 = 時間義。

471. § 280 (12-52L)

速^舌魯昆 你刊 失列古 亦^舌見格
群的 一箇 二歳 羯羊

中^合見^中合^阿速 牙温備
出 呵 甚有

sürüg-ün niken šilegü irge

garga'āsu ya'ün büj

一群(から)の一頭の二歳の去勢雄羊を
出せば、いかがであるか。

対応部分なし

※仮定義。

472. § 280 (12-52L)

站 塔^勒必兀^勒周 札木臣 兀刺阿臣
站 教放 着 站戸 馬夫

中^合見^中合^阿速 斡^斡 兀魯撒
出 呵 多 百姓行

jam talbi'ülju jamūcin ula'ācin

garga'āsu olon ulus-a

駅を置いて駅番、駅馬番を
出せば、多くの民衆に…

対応部分なし

※仮定義。

473. § 280 (12-52L)

迓^中步^忽牙 亦魯^ト帖 備 客額額速
行的行 順便 有 説 呵

不^舌里耶^舌見 額列 勺^ト失耶主為
衆 但 道是 了

yabuquj-a ilübte büj ke'e'ēsü

büri-yēr ele jöbšiyejü'üj

往來に便がある、と言うと

皆が是としたのだ。

対応部分なし

※時間義。

474-475. § 280 (12-54R)

斡^中豁^舌見 不吉 都塔兀魯阿速
短 繩 缺少了 呵

斡^舌見^中豁里牙^舌見 中^合中^合思 阿^勒荅^勒壇
腦項 教 劈破 斷没

字^勒禿^中孩 中^合不^中合 客客孫
教做者 匙般 車輻

都塔兀魯阿速 中^合巴^舌見 中^合中^合思
缺少了 呵 鼻子 劈破

阿^勒荅^勒壇 字^勒禿^中孩
斷没 教做者

oqor bugi duta'ūlu'āsu

ör Gol-iyār qaGas aldaltan

boltugaĭ qalbuga kekesün

duta'ūlu'āsu qabar qaGas

aldaltan boltugaĭ

短い頸木を欠かせれば、

(身の) 中心を裂き分けて罰ある者に

なるよう、匙、車輻を

欠かせれば、鼻を裂き分けて

罰ある者になるよう。

如有短少者。家財一半没官。

もし欠けているものがあれば、家財の半分を官に没収す
る。

※仮定義×2。総訳では一括して「如～」使用。

476. § 281 (12-56L)

客^舌見 不^舌魯兀 客額速
怎生 不是 説 呵

ker buru'ū ke'ēsü

どうして過ちであるか、と言うと

対応部分なし

※時間義。